技術基準適合認定品
G3-〈12〉〈T240〉-FAX

取扱説明書

NTTFAX T-240

第1章 ご使用の前に

第2章 基本的な使いかた

第3章 便利な使いかた

第4章 各種登録・設定のしかた

第5章 こんなときには

このたびは、**NTTFAX T-240** をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

●お読みになったあとも、本機のそばなどいつも手元においてお使いください。

はじめに

このたびはNTTFAX T-240をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠ **危険**：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠ **警告**：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意**：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP **お願い**：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本機の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

ワンポイント：この表示は、本機を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しております。

●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、NTT窓口等へお申しつけください。
●操作ガイドを使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解した上でお使いください。
●本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。
●本機の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対おやめください。

NTTFAX T-240の特長

詳しくは本文を参照してください。

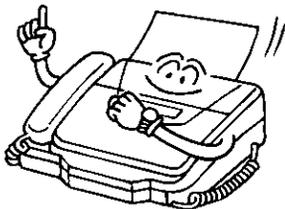
留守番電話

留守中にかかってきた電話の相手のメッセージを録音します。⇨（P.55）
留守中に録音された用件は、外出先の電話機で聞くことができます。また、ファクシミリもリモート操作で取り出すことができます。⇨（P.64）

ハンズフリー通話

受話器を持たずに話をすることができます。
⇨（P.49）

高速14.4 kbit/s通信

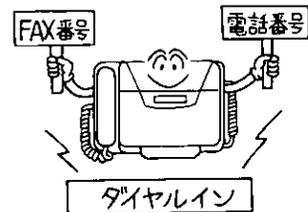
A 4 サイズ700字程度の原稿を約 6 秒（ECM・メモリ送信時）で送信することができます。⇨巻末

メモリ代行受信

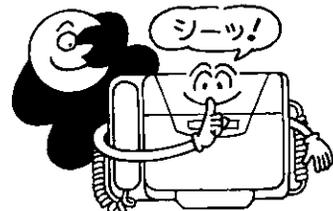
おやすみモードのときや記録紙がなくなったときに受信文書をメモリに記憶しておいてあとでプリントできます。⇨（P.71、102）

ハンドスキャナ

本や厚い原稿でもコピーをとったりファクシミリで送ったりすることができます。⇨（P.72）

ダイヤルインサービス対応

1 本の電話回線でファクシミリ用と電話用の電話番号を使い分けられる、ダイヤルインサービスをご利用いただけます。⇨（P.89）
（ダイヤルインサービスのご契約が必要です。）

おやすみモード

ベルを鳴らなくします。かかってきた電話の相手のメッセージは録音します。受信した文書はメモリに記憶します。⇨（P.71）

FAX情報取出アシスト機能

FAX情報ボタンを使って、各種のファクシミリ情報サービスを簡単な操作で利用できます。⇨（P.80）

●この取扱説明書は、本機の利用のしかたを説明したものです。
●この取扱説明書をお手元におき、常に本機を最良の状態でご使用いただくための手引書としてご利用ください。
●本書を紛失または損傷したときはNTT窓口等でお求めください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は、お買い求めいただいたときには、国内の相手と通信することを前提とした設定になっています。
海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認をしてください。
正常に通信できないときは、本機の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所にご相談ください。

⚠ 注意

火災・感電を避けるために

雷のときの注意

●近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから、電話機コードを回線端子から抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

火気のそばへの設置禁止

●本機や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長期不在時の注意

●長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

温度の高い場所への設置禁止

●直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

●調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

プラグコンセントにたまったほこりが起因となる火災の防止

●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因となります。

けがを避けるために

高温部等への接触禁止

●記録紙交換などでカバーを開けるときは接触禁止、高温注意マークのラベルが貼ってある部分には、触らないように注意してください。

不安定な場所への設置禁止

●ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

物的損害を避けるために

高温での変色に注意

●漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。

底面部をふさぐような場所への設置禁止

●本機の底面部は温度が上昇しますので、カーペットやソファーなどの上に置かないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

●本機底面にはゴム製の滑り止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

対処のしかたについて

発煙への対処

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

破損時の対処

●万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

水が装置内部に入った場合の対処

●万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異物が装置内部に入った場合の対処

●本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

火災・感電を避けるために

改造・分解の禁止

●本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

装置上に水、薬品を置かない旨の注意

●本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

湿度の高い場所への設置禁止

●ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

アース線の取り付け

●万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

商用電源以外の禁止

●ＡＣ 100 Ｖの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

電源コードの取扱注意

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

濡れた手での操作禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

プラグの取扱注意

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線の禁止

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源仕様の注意

●本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

目次

第1章　ご使用の前に

第2章　基本的な使いかた

索引（P.120）もあわせてご利用ください。

第３章　便利な使いかた

第４章　各種登録・設定のしかた

第５章　こんなときには

索引（P.120）もあわせてご利用ください。

使用上のご注意

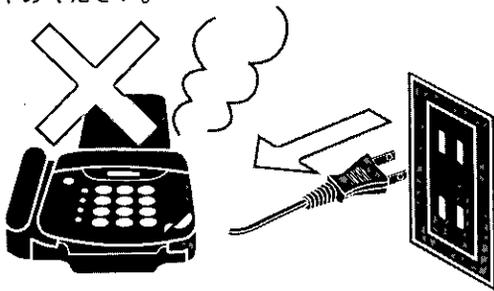
いつも快適な状態で本機をお使いいただくために、以下の点にご注意ください。

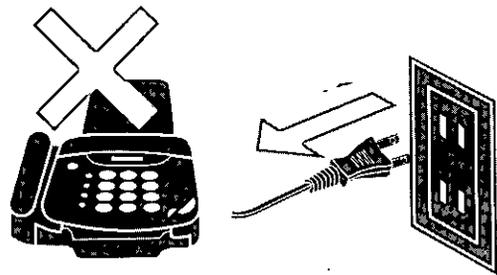
装置について

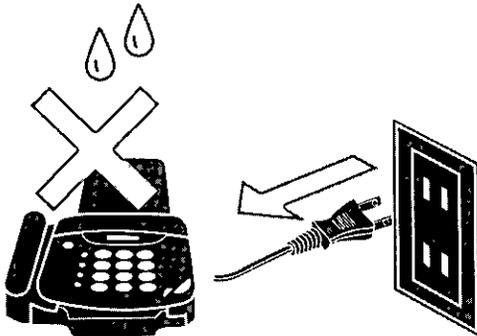
こんなときは

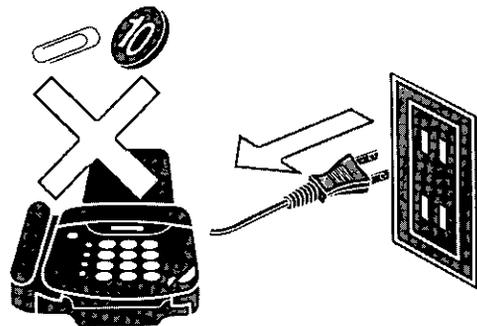
⚠ 警告

発煙への対処

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

破損時の対処

●万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

水が装置内部に入ったときの対処

●万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

異物が装置内部に入った場合の対処

●本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

こんなことはしないでください

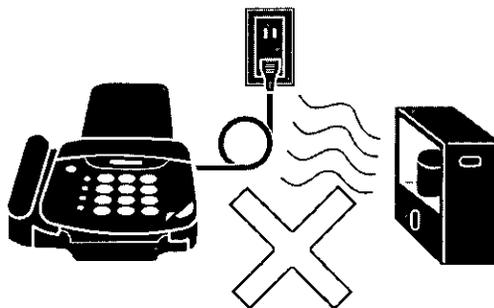
⚠ 警告

改造・分解の禁止

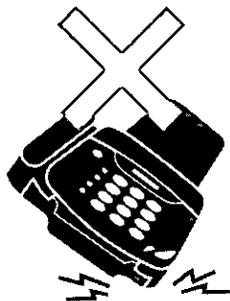
●本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。

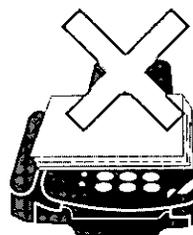
⚠ 注意

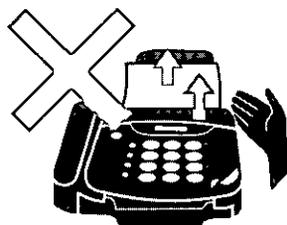
火気のそばへの設置禁止

●本機や電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

お願い

落下、衝撃の禁止

●落としたり、強い衝撃を与えないでください。本機の故障の原因となります。

機器上に重いものを置くことの禁止

●本機の上に重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。本機の破損、故障の原因となります。

動作中の電源断の禁止

●通信やコピー等の動作中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。

記録紙について

お願い

記録紙の保存方法
●青焼紙等と重ねて保管しないでください。記録紙が変色します。

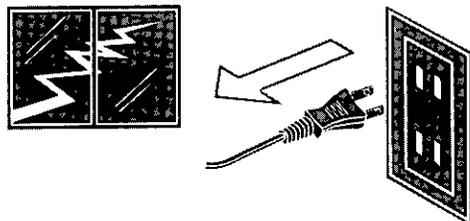
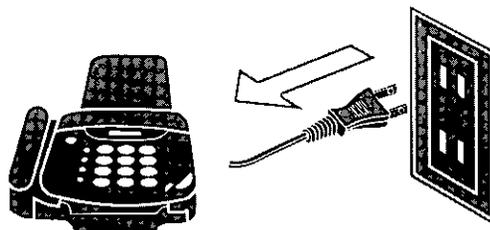
指定紙以外の紙の使用禁止
●記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定のNTTFAX T-240用記録紙のご使用をお奨めします。

こんなことにもご注意を

⚠ 警告

装置上に水、薬品を置かない旨の注意
●本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

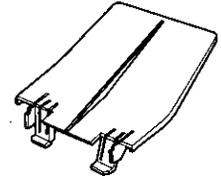
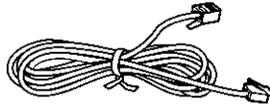
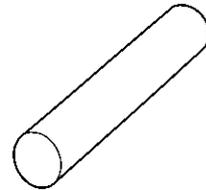
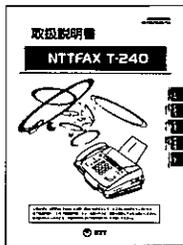
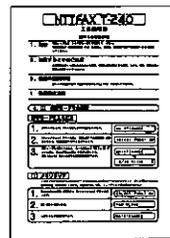
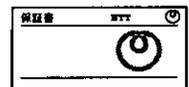
雷のときの注意
●近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから、電話機コードを回線端子から抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

長期不在時の注意
●長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

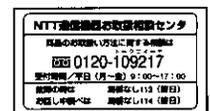
本機を設置する場所がNTTの支店・営業所から遠距離の場合は、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所にご相談ください。

商品の構成

次のものがそろっているか確かめてください。セットに足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、ＮＴＴ窓口等にご連絡ください。

本機　１台

受話器　１個

記録紙スタッカ　１個

電話機コード（３ｍ）１本

感熱記録紙
(B4 サイズ 10 m) 1 巻

取扱説明書（本書）　１冊

工事説明書　１枚

保証書　１枚

商品アンケート
ハガキ　１枚

「ＮＴＴ通信機器お取扱相談センタ」
のシール　１枚

機器の設置にあたって

このようなところには置かないで

⚠ 警告

湿度の高い場所への設置禁止

●ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

アース線の取り付け

●万一漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

●アース線が取り付けられるところは次の部分です。

・電源コンセントのアース端子

・銅片などを 65 cm以上、地中に埋めたもの

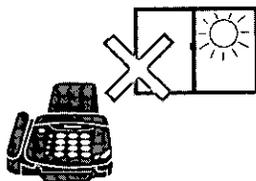
・接地工事（第 3 種）が行われている接地端子

●次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。

・ガス管・電話専用アース線・避雷針・水道管や蛇口

⚠ 注意

温度の高い場所への設置禁止

●直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒーターなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

●調理台のそばなど油飛びや湯気が直接当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所への設置禁止

●ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

高温での変色に注意

●漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。

底面部をふさぐような場所への設置禁止

●本機の底面部は温度が上昇しますので、カーペットやソファーなどの上に設置しないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

●本機底面にはゴム製の滑り止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

お願い

その他の設置禁止場所

本機を正常にまた安全に使用していただくために、次のような場所への設置は避けてください。

低温環境

●製氷倉庫など特に温度が下がるところ。本機が正常に動作しないことがあります。

磁気や電磁波が発生する場所

●テレビ、スピーカボックスの近く、こたつの上など、磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところ。本機が正常に動作しないことがあります。

温度が急激に変化する場所

●冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本機の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となります。

高温、多湿、低温の場所

●いつも良い条件でお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度　5～35℃

湿度　45～85％

●温度が35℃のときは湿度70％以下、湿度が85％のときは温度30℃以下で使用してください。

その他

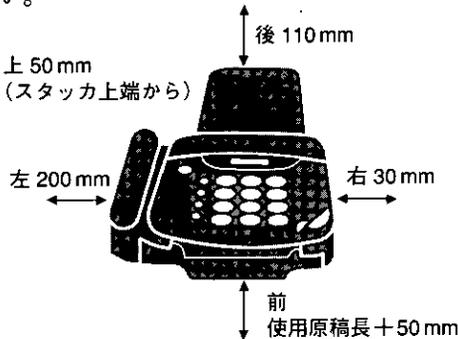
●クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所

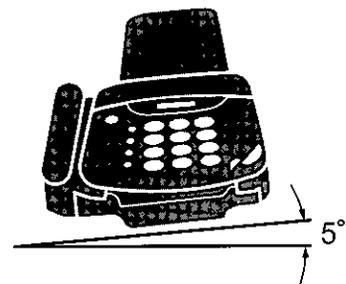
●ほこりや振動が多い場所

●換気の悪い場所

●揮発性可燃物やカーテンに近い場所

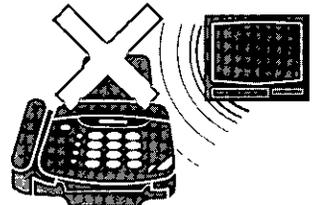
設置スペースの確保

●本機の操作、消耗品類の交換、日常点検など、本機を正しく使用し性能を維持する作業を行うために、下図のような設置スペースを確保してください。

機器の傾きの限界

●本機は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。

電波障害時の対処

●本機の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。
このような現象が本機の影響によると思われましたら、本機の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

・本機をテレビ等から遠ざける

・本機またはテレビ等の向きを変える

「ＮＴＴ通信機器お取扱相談センタ」のシールについて

●「ＮＴＴ通信機器お取扱相談センタ」のシールは、本機または本機そばの見やすいところに貼ってください。

電源について

⚠ 警告

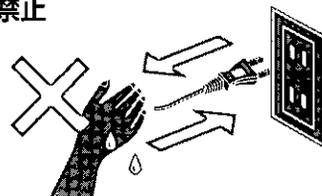
電源コードの取扱注意

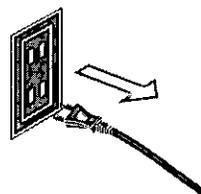
●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

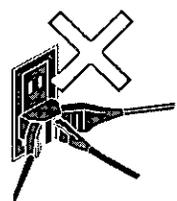
商用電源以外の禁止

●AC 100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

濡れた手での操作禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

プラグの取扱注意

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線の禁止

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電源仕様の注意

●本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

⚠ 注意

プラグコンセントにたまったほこりが起因となる火災の防止

●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因となります。

機器の接続のしかた

設置工事は担当者(工事担任者資格を有する者)におまかせください。
本機をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となった場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」**は不要となります。詳しくは、**局番なしの116番**(無料)へお問い合わせください。

お願い
- ■お使いになる電話回線に、すでに何台かの電話機等が接続されている場合は、本機がご使用になれない場合があります。この場合は他の電話機等を外してください。
- ■お使いの電話回線がモジュラジャック式でないときは、NTT窓口等にご相談ください。接続工事には、工事担任者資格が必要です。

電話コンセントが遠いとき

付属の電話機コードの長さは約3 mです。本機の設置場所と電話コンセントが離れていて、電話機コードが届かないときは、NTT窓口等にご相談ください。

①受話器の取り付け

1 本機と受話器を接続します。

本機のカールコードを、受話器の接続端子に接続します。

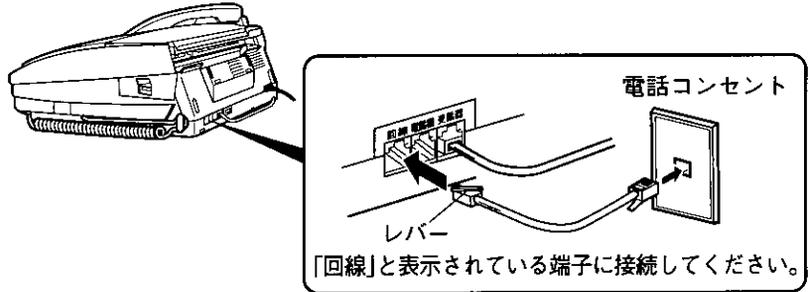
お願い
- ■カチッと音がするまで差し込んでください。
- ■カールコードを抜くときは、モジュラプラグのレバーを押さえながら引き抜いてください。

②電話回線の接続

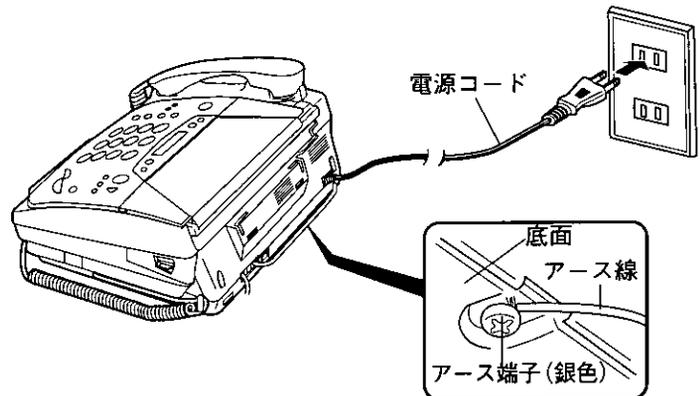
1 本機と電話コンセントを電話機コードで接続します。

付属の電話機コードの一方を、本機背面の回線接続端子(「回線」と表示されている端子)に接続し、もう一方を電話コンセント(モジュラジャック)に接続します。

「回線」と表示されている端子に接続してください。

お願い

■カチッと音がするまで差し込んでください。
■電話機コードを抜くときは、モジュラプラグのレバーを押さえながら引き抜いてください。

③電源の接続

電源プラグをAC 100 Vの電源コンセントに差し込んでください。本機には電源スイッチはありません。電源プラグを差し込むと電源が入ります。
電源を入れると、ディスプレイに「カバー/キロクシ　カクニン」と表示され、アラームランプ(赤色)が点灯します。
本機の底面にアース端子(銀色)があります。他の色のネジは外さないように注意してください。アース線は付属しておりません。
アース線をご用意のうえ接続してください。

お願い

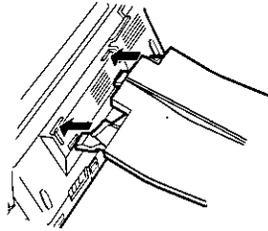
■テレビやステレオなどとは、別のコンセントに接続してください。
■アース線は本機底面後方にあるアース端子に接続してください。

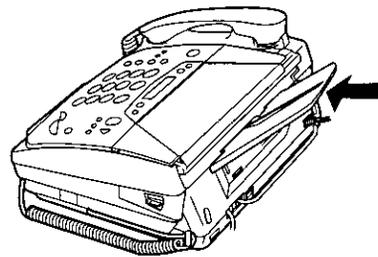
⚠ 警告

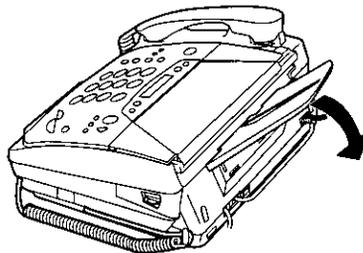
●万一漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
アース線が取り付けられるところは次の部分です。
・電源コンセントのアース端子
・銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
・接地工事(第3種)が行われている接地端子
次のようなところは絶対にアース線を取り付けないでください。
・ガス管　・電話専用アース線　・避雷針　・水道管や蛇口
●金属部に触ったり、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

④記録紙スタッカの取り付け

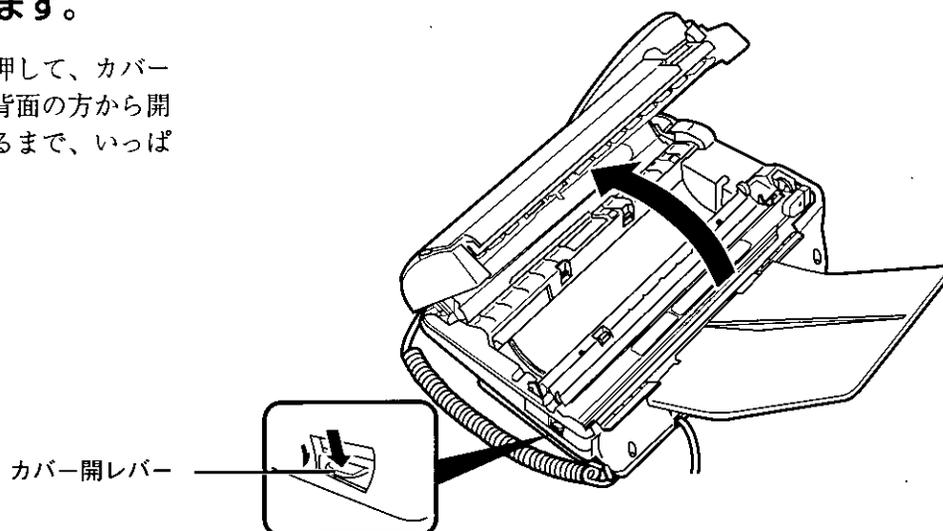
1 記録紙スタッカを本機の穴に合わせます。

記録紙スタッカの下側の位置決めを本体の穴に合わせたあと、上側のフックを本体の穴に合わせます。

2 記録紙スタッカを本機に押し込みます。

カチッと音がするまで記録紙スタッカを押し込みます。

▶記録紙スタッカを外すとき

記録紙スタッカを外すときは、カチッと音がして外れるまで、記録紙スタッカの根本を押さえて、下向きに押し下げてください。

⑤記録紙のセット

1 カバーを開けます。

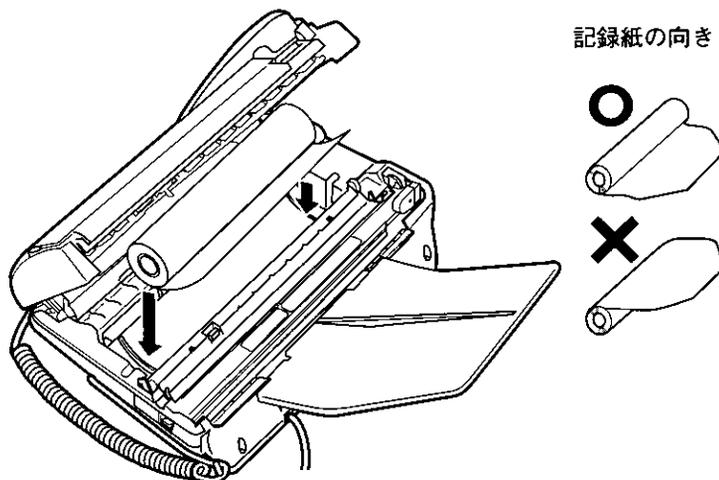
カバー開レバーを下に押して、カバーを開けます。カバーは背面の方から開きます。カバーは止まるまで、いっぱいに開けてください。

⚠ 注意

●このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

2 記録紙を入れます。

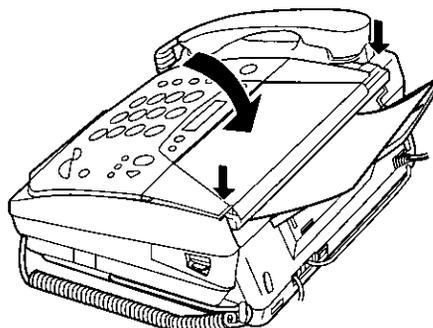
付属の記録紙を包装紙から出し、本機の中に入れます。
記録紙の先端を本機より 10 cm位引き出します。

お願い

記録紙の向きを間違えないように注意してください。向きを間違えると、プリントされずに白紙が出てきます。

3 カバーを閉めます。

記録紙をはさむように、カバーを閉めます。カバーの両端を押して、確実に閉めてください。カバーを閉めると、アラームランプが消灯します。

ｷﾛｸｼﾊ? 1:B4 2:A4

第1章 機器の接続のしかた

4 [セット]ボタンを押します。

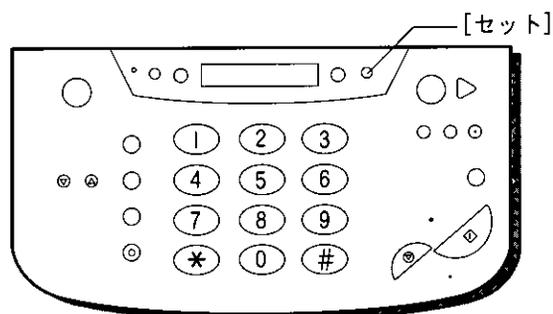
しばらくすると(約5秒)、自動的に
記録紙をカットします。

ｷﾛｸｼｻｲｽﾞB4 ﾆｼﾏｼﾀ

▼

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

▼

ｼﾞｺｸｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

お願い

記録紙をセットしたらコピーをとって正しくセットできたか確認してください。「コピーのしかた」⇨ (P.45)

ワンポイント

◎お買い求めいただいたときは、「B4」に設定されています。そのまま[セット]ボタンを押してください。
◎[セット]ボタンを押さなくても、約30秒経つと「キロクシサイズB4　ニシマシタ」と表示されます。
◎「キロクシサイズB4　ニシマシタ」と表示されている間に、もう一度[セット]ボタンを押すと、すぐに記録紙をカットします。
◎付属以外の記録紙をセットするときや記録紙を交換するときは、「記録紙を交換するとき」(P.102)をご覧ください。

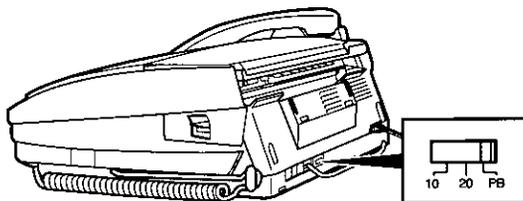
記録紙の交換時期

記録紙がなくなると、ディスプレイに「カバー／キロクシ　カクニン」と表示され、アラームランプ(赤色)が点灯します。新しい記録紙と交換してください。記録紙を交換するときは、「記録紙を交換するとき」(P.102)をご覧ください。

⑥ 回線種別の設定

電話回線には、ダイヤル回線（DP）とプッシュ回線（PB）の２つの種類があります。また、ダイヤル回線には、10 PPS（10）と20 PPS（20）の２つのダイヤルスピードがあります。お使いの電話回線の種類と装置の設定が合っていないと電話をかけることができません。現在お使いの電話機で、電話回線の種類を確認して回線種別を設定します。

1 回線種別設定スイッチをお使いの回線種別に合わせます。

ボールペンの先などで操作してください。

お使いの回線種別がわからないときは
次の方法で回線種別を確認してください。

スタート

↓

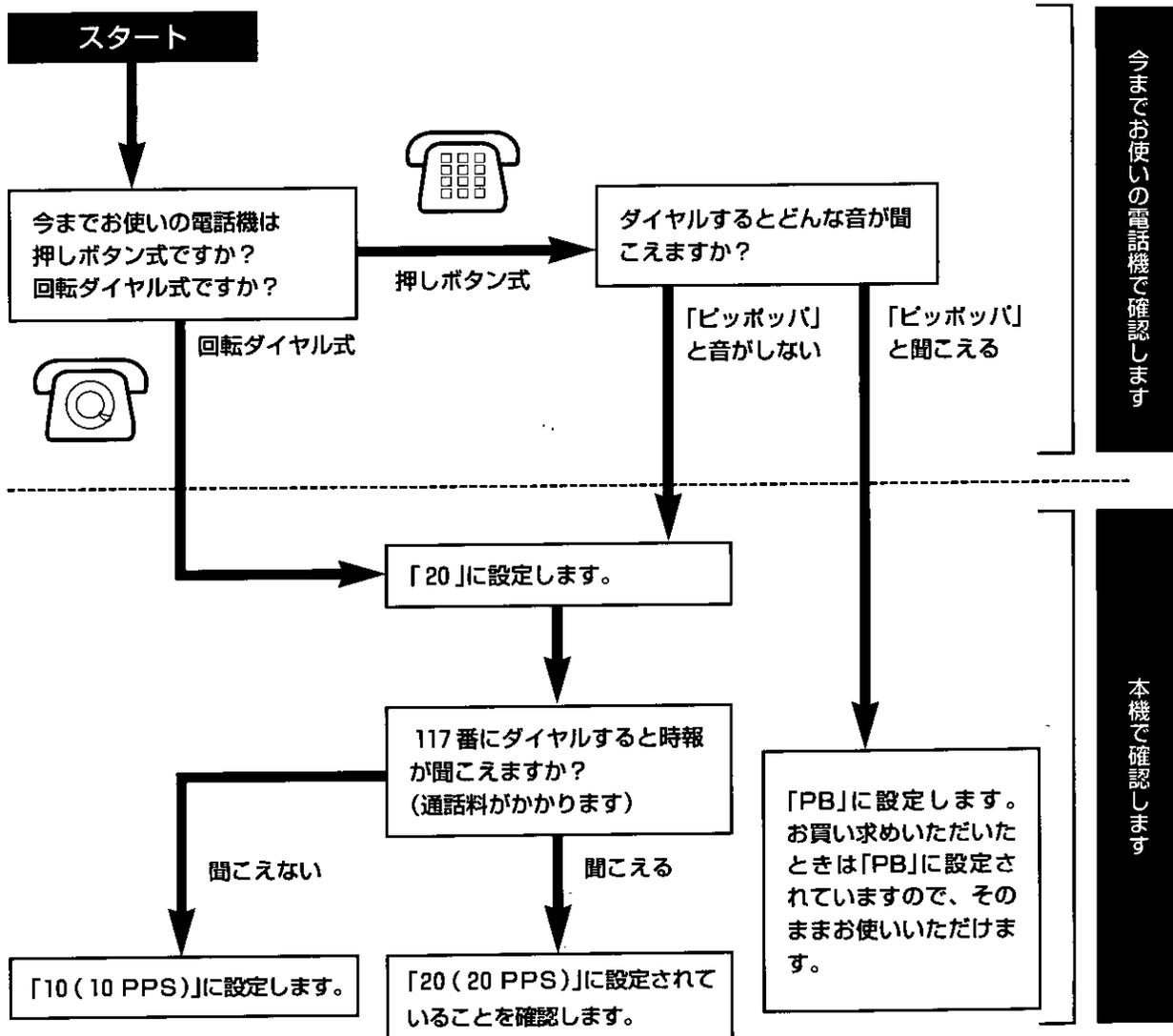
今までお使いの電話機は押しボタン式ですか？回転ダイヤル式ですか？

- 押しボタン式 → ダイヤルするとどんな音が聞こえますか？
  - 「ピッポッパ」と音がしない → 「20」に設定します。
  - 「ピッポッパ」と聞こえる → 「PB」に設定します。お買い求めいただいたときは「PB」に設定されていますので、そのままお使いいただけます。
- 回転ダイヤル式 → 「20」に設定します。

「20」に設定します。 → 117番にダイヤルすると時報が聞こえますか？（通話料がかかります）

- 聞こえない → 「10（10 PPS）」に設定します。
- 聞こえる → 「20（20 PPS）」に設定されていることを確認します。

今までお使いの電話機で確認します

本機で確認します

上記の方法でご使用の回線種別がわからないときは、NTT窓口等にお問い合わせください。

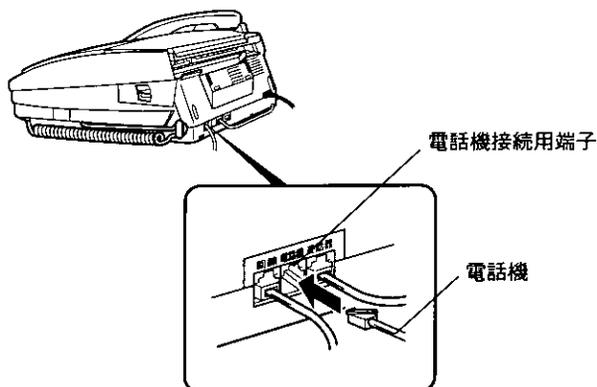
⑦今までお使いの電話機との接続

今までお使いになっていた電話機を、本機の外付け電話機接続用の端子に接続して、外付け電話機として活用できます。

ワンポイント

◎外付け電話機の使用中は本機のディスプレイに「デンワ　シヨウチュウ」と表示され、本機の使用はできません。
◎外付け電話機と本機の間で話をすることはできません。外付け電話機の使用中に本機の受話器をとると、何も聞こえません。また、本機の使用中に外付け電話機の受話器をとったときも、何も聞こえません。

外付け電話機の接続

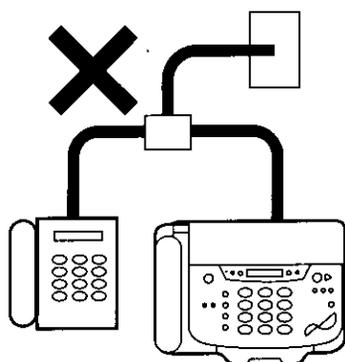
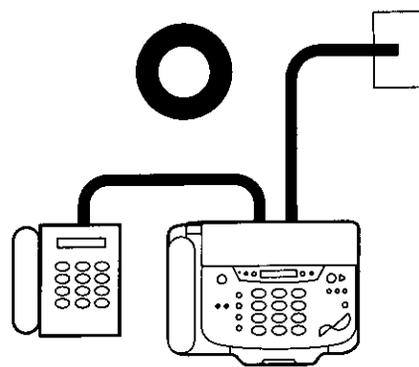
電話機の回線接続コードを、本機の電話機接続用端子（「電話機」と表示されている端子）に接続します。

ワンポイント

◎接続できる外付け電話機は1台だけです。

▶ ブランチ式（並列）接続はしないでください

ブランチ式接続（図1のような接続）をすると、次のようになり、正常に動作できなくなります。
・電話が入ってもベルが鳴らなくなります。
・ファクシミリを送ったり受けたりしているときに、電話機の受話器をとると、ファクシミリの画像に異常が起きます。
・外付け電話機からのリモート受信（P.79）ができなくなります。

お願い

■外付け電話機は図2のように接続してください。
■お使いになる電話線に、すでに何台かの電話機などが接続されているときは、本機または外付け電話機がご使用になれない場合があります。このときは他の電話機などを外してください。

（図1）　　（図2）

本機から外付け電話機へ電話を転送するとき

1　本機で通話をします。
2　外付け電話機の受話器をとります。
3　本機の受話器を戻します。
4　外付け電話機で通話ができます。

外付け電話機から本機へ電話を転送するとき

1　外付け電話機で通話をします。
2　［ハンズフリー］ボタンを押します。
3　外付け電話機の受話器を戻します。
4　本機でハンズフリー通話（P.49）ができます。
　受話器をとって話をすることもできます。

留守番電話機を接続するとき

留守番電話機の種類によっては接続できないものや留守番電話機の一部の機能（留守転送、ポケットベル呼び出し、外出先からの遠隔操作等）が使えなくなる場合があります（普通の電話機能は使用できます）。留守番電話が必要なときは、本機の留守番電話機能をご利用ください。

ホームテレホンやビジネスホンを接続するとき

交換機などの付加装置をご利用の場合は、接続工事が必要になることがあります。ホームテレホンやビジネスホンをお買い求めになったお店にご相談ください。

お願い
本機のご使用中は、ホームテレホン、ビジネスホンはご使用になれません。

⑧最初に必要な登録

装置の設置が終わったら、次の登録を行ってください。

・日付／時刻⇨（P.92）
　現在の日付と時刻を登録しておくと、ディスプレイに表示されます。また、留守番電話の用件を録音した時刻を記録するために必要です。

ワンポイント
◎長い間使っていると、時刻がずれてくることがあります。時刻がずれたときも同じ手順で修正できます。
◎時計表示はあくまでも目安としてご利用ください。なお誤差が生じた場合は設定をしなおしてください。
（時間精度：平均月差±60秒以内）

・電話番号⇨（P.90）
　自分の電話番号を登録しておくと、相手先のファクシミリによってはディスプレイや通信管理レポートなどに、こちらの電話番号が表示されます。

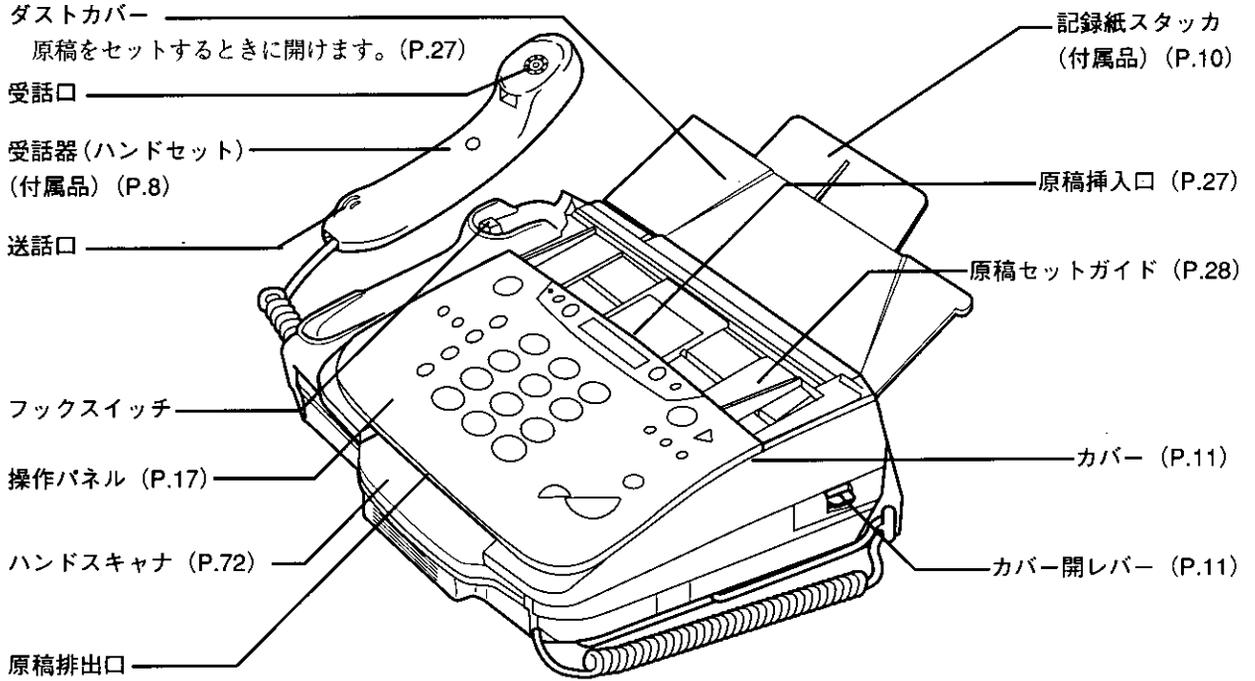
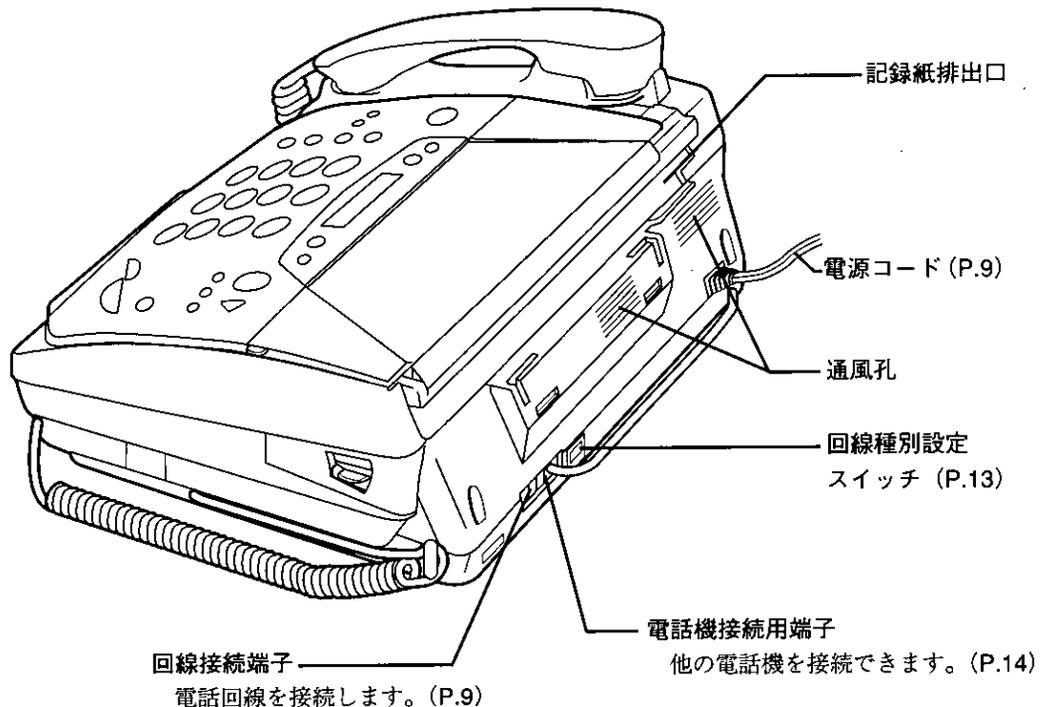
・名前（発信元登録）⇨（P.90）
　自分の名前を登録しておくと、原稿を送信したときに相手先の記録紙に、こちらの名前（カタカナ、数字、アルファベット、記号で40文字まで）が自動的にプリントされます。
　自分の電話番号も相手先の記録紙にプリントしたいときは、発信元登録の中に、名前と一緒に電話番号も登録してください。
　また、こちらの名前を相手先の記録紙にプリントされないようにするには、「発信元記録をつけない」に設定します。⇨（P.94）

発信元記録のプリント例

日付／時刻を登録しておくと、こちらの名前と一緒に日付／時刻が相手先の記録紙にプリントされます。

FROM エイギョウ　　1997. 4. 30 12:01　　P. 1

各部の名称とはたらき

外観図（前面）

外観図（背面）

上図は、付属品を取り付けた状態です。

操作パネル

メモリランプ
保存原稿があるときや、原稿を蓄積中のときに緑色に点灯します。

[マイネーム]ボタン
マイネーム送信をするときに押します。(P.54)

[画質]ボタン
画質モードを選ぶときに押します。(P.24)

液晶ディスプレイ
入力する内容(16文字まで)や、設定のガイドを表示します。通常は、日付、時刻、留守番電話の用件件数が表示されています。

```
4/30 12:00     1
```

日付　時刻　留守番電話の用件件数

[ファンクション]ボタン
いろいろな機能を選ぶときに押します。

[セット]ボタン
いろいろな設定をするときに押します。

[留守]ボタン
留守設定にするとき(P.56)、通話録音するとき(P.63)に押します。

[再生/マイクオフ]ボタン
留守番電話に録音された用件を再生するとき(P.60)ハンズフリー通話中にこちらの会話を聞かれたくないとき(P.50)に押します。

ワンタッチボタン
ワンタッチダイヤルするときに押します。(P.35、47)

[|◀◀](戻し)、[ワンタッチ1]ボタン
再生中の用件をもう一度聞くときや、ひとつ前の用件を聞くとき(P.60)、カーソルを左方向に進めるときに押します。

[▶▶|](送り)、[ワンタッチ2]ボタン
次の用件の再生に進めるとき(P.60)、カーソルを右方向に進めるときに押します。

[消去]、[ワンタッチ3]ボタン
留守番電話に録音された用件を消去するときに押します。(P.61)

[おやすみ]ボタン
おやすみモードにするときに押します。電話やファクシミリがかかってくると緑色に点滅します。(P.71)

[音量]ボタン
ベルの音量(P.42)、受話音量(P.46)、モニタスピーカの音量(P.29、50)を調節するときに押します。

[PB]ボタン
ダイヤル回線を使用している場合に、プッシュホンサービスを利用するときなどに使います。(P.53)

ダイヤルボタン
ダイヤルするときに押します。
[*]、[#]ボタンは通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能ボタンです。

[FAX情報]ボタン
FAX情報取出アシスト機能を利用するときに押します。(P.80)

通信/アラームランプ
ファクシミリの送受信時には緑色に、本機に異常が起きたときは赤色に点灯します。

[スタート]ボタン(緑色)
ファクシミリの送受信時、コピーをとるときなどに押します。

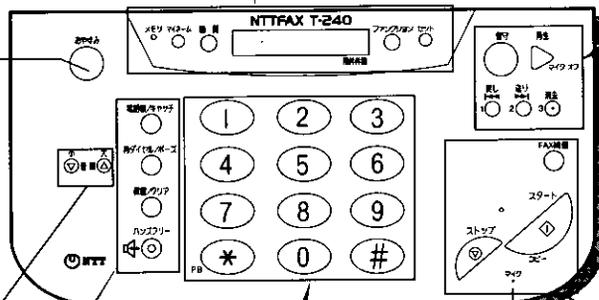
[ストップ]ボタン(赤色)
操作を途中でやめるときに押します。

[電話帳/キャッチ]ボタン
電子電話帳を使ってダイヤルするとき(P.36、48)、キャッチホンが入ったとき(P.52)に押します。

[保留/クリア]ボタン
通話中に相手に待ってもらうとき(P.51)、入力を間違えたときに押します。

[再ダイヤル/ポーズ]ボタン
最後にかけた相手にもう一度かけるとき(P.49)、ダイヤル中に空白時間(約3秒)を入れるとき(P.91)に押します。

[ハンズフリー]ボタン
受話器を持たずに電話をするときに押します。(P.49)

マイク
留守番電話の応答メッセージを録音するとき(P.58)、ハンズフリー通話をするとき(P.49)に使います。

日頃のお手入れ

快適にお使いいただくために、本機をいつもきれいにしておいてください。

お願い
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは、絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

本機の清掃

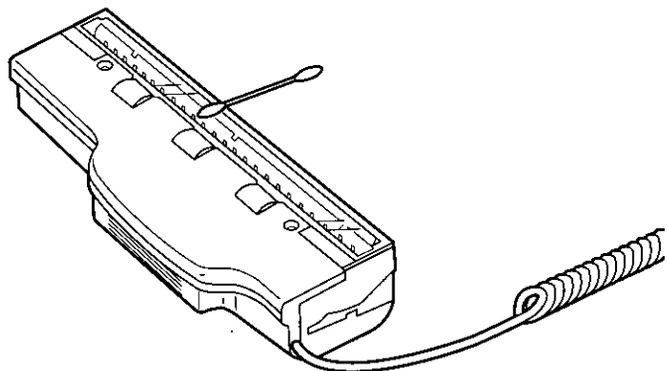
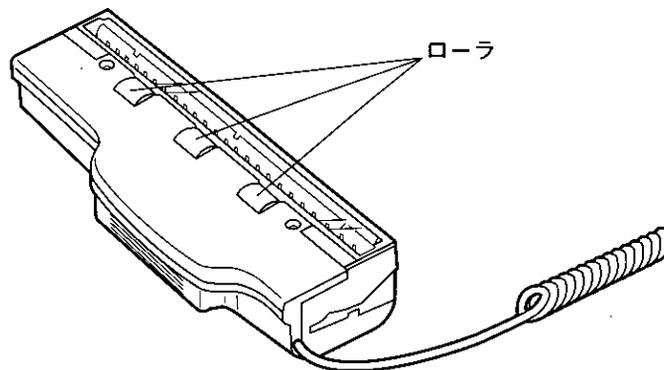
装置表面のホコリや汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、薄めた台所用中性洗剤にひたした布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。

ハンドスキャナ(原稿読み取り部とローラ)の清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーしたときや、相手先のファクシミリの記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り部は定期的に(月に1回程度)清掃し、いつもきれいにしておきましょう。

1 ハンドスキャナを外します。

「ハンドスキャナを外す、戻す」⇨ (P.72)

2 ハンドスキャナのガラス面を綿棒で拭きます。

3 水にひたした布を固く絞り、ローラを拭きます。

4 ハンドスキャナを戻します。

カチッと音がするまで押し込んでください。「ハンドスキャナを外す、戻す」⇨ (P.72)

お願い
ハンドスキャナを本機に戻すときは、ハンドスキャナのコードをはさまないように注意してください。

ローラの清掃

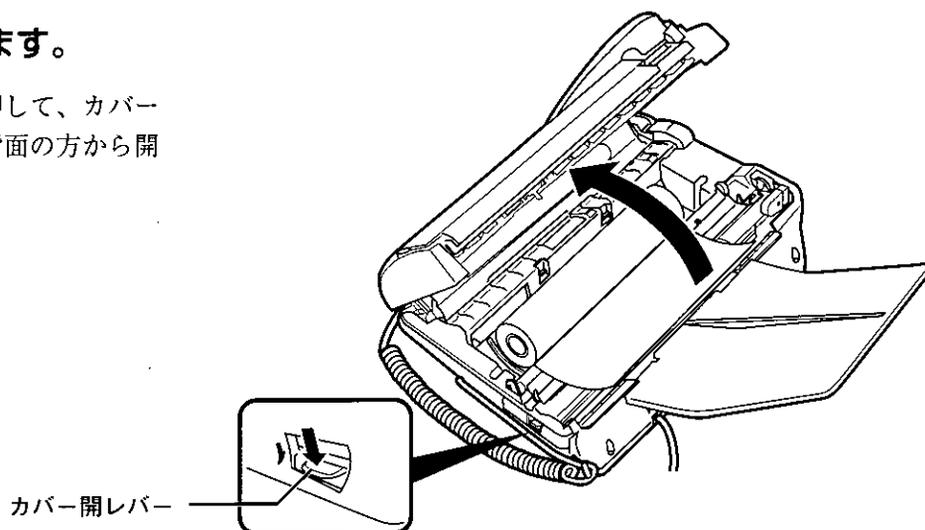
ローラが汚れると、原稿づまりの原因となります。原稿読み取り部の清掃といっしょにローラも清掃してください。

1 電源プラグを抜きます。

メモリランプが点灯していないことを確認してから、電源プラグを抜いてください。

お願い
メモリランプが点灯していないことを確認してから、電源プラグを抜いてください。長時間、電源プラグを抜いたままにしないでください。

2 カバーを開けます。

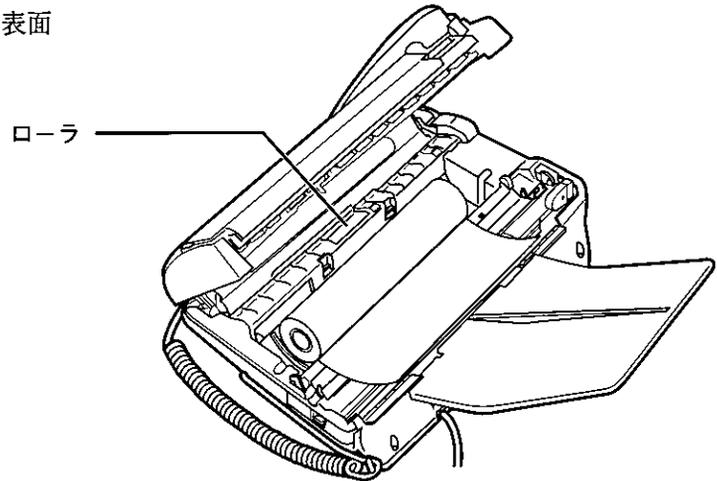
カバー開レバーを下に押して、カバーを開けます。カバーは背面の方から開きます。

⚠ 注意

●このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

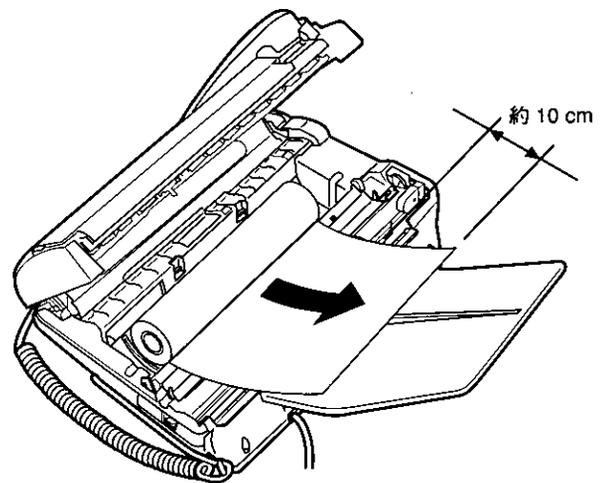
●サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

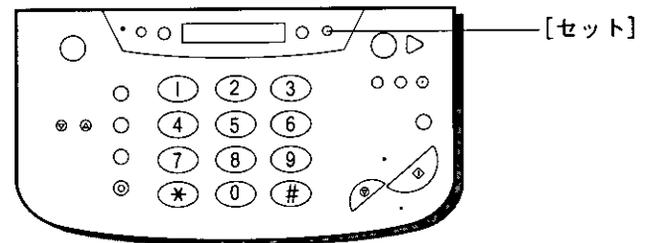
お願い
記録紙スタッカに記録紙が残っているときは、記録紙を取り除いてから、カバーを開けてください。

3 水にひたした布を固く絞り、ローラを拭きます。

ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭いてください。

4 電源プラグを差し込みます。

5 記録紙を引き出します。

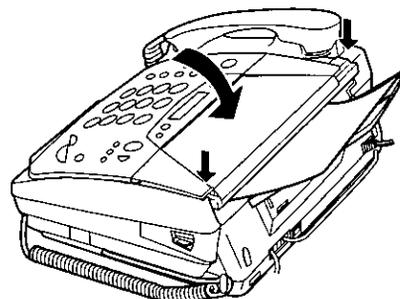
記録紙の先端を本機より 10 cm位引き出します。

6 カバーを閉め、[セット]ボタンを押します。

記録紙をはさむように、カバーを閉めます。カバーの両端を押して、確実に閉めてください。
しばらくすると(約5秒)、自動的に記録紙がカットされます。

ワンポイント

◎「キロクシサイズB4　ニシマシタ」と表示されている間に、もう一度［セット］ボタンを押すと、すぐに記録紙をカットします。

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

▼

4/30 12:00 　 0

保守サービスのご案内

●保証について
保証期間（1年間）中の故障につきましては無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて
保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
NTTでは、安心してご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月決められた料金をお支払いいただくことで、定期点検、故障時の修理など、性能維持に必要な保守サービスを行いますので、本商品を安心してご利用いただけます。
実費保守サービス	●故障時の修理等に要した費用をその都度いただきます。 • お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術費用・部品代をいただきます。 • 故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご承知願います。 ●NTT窓口等まで本商品をお持ちの場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

●故障した場合のお問い合わせは
局番なしの113番へご連絡ください。

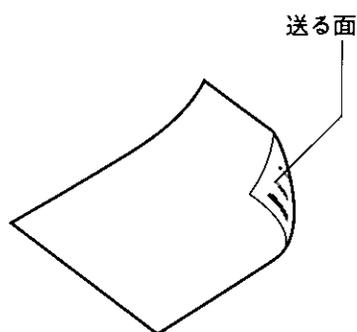
●お話し中調べ
局番なしの114番へご連絡ください。

●その他
定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

〈NTT通信機器お取扱相談センタ：フリーダイヤル 0120-109217（トークニイーナ）〉

●補修用部品の保有期間について
本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、最低7年間保有しております。

原稿について

原稿のセット方法、送信できる原稿の制限について、以下の点を守って操作してください。

原稿は、送る面を裏にしてセットします。

▶ 原稿は一度に 10 枚以内

一度に10枚までの原稿をセットして、1回の操作で連続して送信できます(同じ紙質、同じ大きさの場合)。11枚以上送りたいときは、何回かに分けて送信してください。

▶ 原稿の先端をそろえてからセット

複数枚の原稿をセットするときは、先端をそろえてください。

▶ 用紙の幅や厚さをそろえる

紙の厚さが異なる原稿を重ねてセットすると、送信もれが発生することがあります。また、幅の異なる原稿は同時にセットしないでください。原稿がつまる原因となることがあります。このような場合は、1枚ずつ送信してください。

原稿のサイズおよび厚さ

原稿のサイズおよび厚さには以下の制限があります。

	1枚だけ送る場合	複数枚の原稿をセットして送る場合
最大	257 × 1 000 mm	257 × 364 mm (B4 サイズ)
最小	128 × 100 mm	148 × 105 mm (A6 サイズ)
厚さ	0.05 ～ 0.15 mm	0.065 ～ 0.10 mm

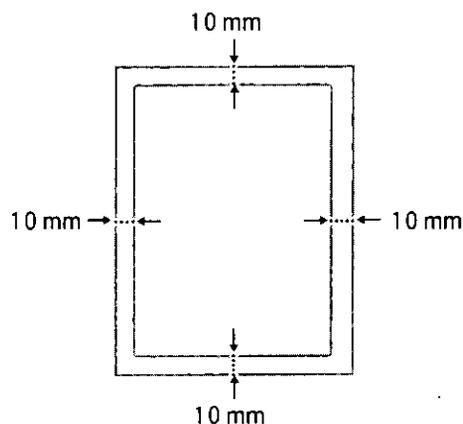
ワンポイント

◎相手機がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると、自動的にA4サイズに縮小して送信されます。

◎取扱説明書の表紙の厚さが 0.14 mm、本ページの厚さが 0.075 mm、官製はがきの厚さが 0.22 mmですので、原稿の厚さの目安としてください。

◎本機の感熱記録紙 (厚さ0.065 mm)、ハイグレード感熱記録紙 (厚さ0.083 mm) は原稿としてセットできません。ハンドスキャナまたはキャリアシートを使って送信してください。

読み取り可能範囲

原稿の縁から10 mm以内の範囲は、読み取れない場合があります。右記のグレーの部分に文字や図がかかっていると、その部分は消えた状態で送信されたりコピーされたりすることがあります。

そのままでは送れない原稿

次のような原稿は、複写機でコピーするか、ハンドスキャナまたは別売のキャリアシートを使って送信してください。ハンドスキャナの使いかたは、「ハンドスキャナを使う」(P.72)をご覧ください。

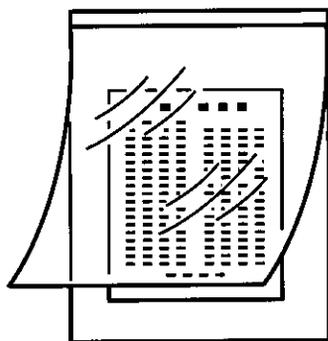
	ハンドスキャナ	キャリアシート
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの	○*	○
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙	○	○
感圧紙、裏カーボン紙など、化学処理した紙	○	○
はがきより小さい紙（128×100 mm未満）	○*	○
薄すぎる紙（0.05 mm未満）	○*	○
厚すぎる紙（0.15 mmを超える）	○	×
のりやテープで貼り合わせた紙	×	×

*白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。

お願い

■クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。付けたまま送信すると、故障の原因となることがあります。

■インクや修正液、のりなどが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。

キャリアシートの使いかた(別売品)

●キャリアシートは、当社指定のものをご使用ください。

●キャリアシートは、原稿の表が透明フィルム側に向くようにはさみ、透明フィルム側を下に向けてとじしろの部分からセットします。

●2枚以上のキャリアシートを同時にセットすることはできません。1枚ずつ送信してください。

原稿の色にご注意

ファクシミリは、青色のボールペンやサインペンなどで書かれた原稿は、鮮明に読み取れないことがあります（ブルーブラックのインクや紺色に近い青の場合は問題ありません）。薄い鉛筆や、蛍光マーカーで書かれた文字も鮮明に読み取れません。

赤は、黒と同様に鮮明に読み取ることができます。その代わり、赤などの濃い地色の紙に黒で書かれた原稿は、地色と文字色がいずれも黒くなってしまうため、鮮明に送信できません。

文字の小さな原稿や写真の入った原稿は、画質モードを設定することで鮮明なファクシミリを送信することができます。「写真や小さい文字の原稿を送る」(P.24)をご覧ください。

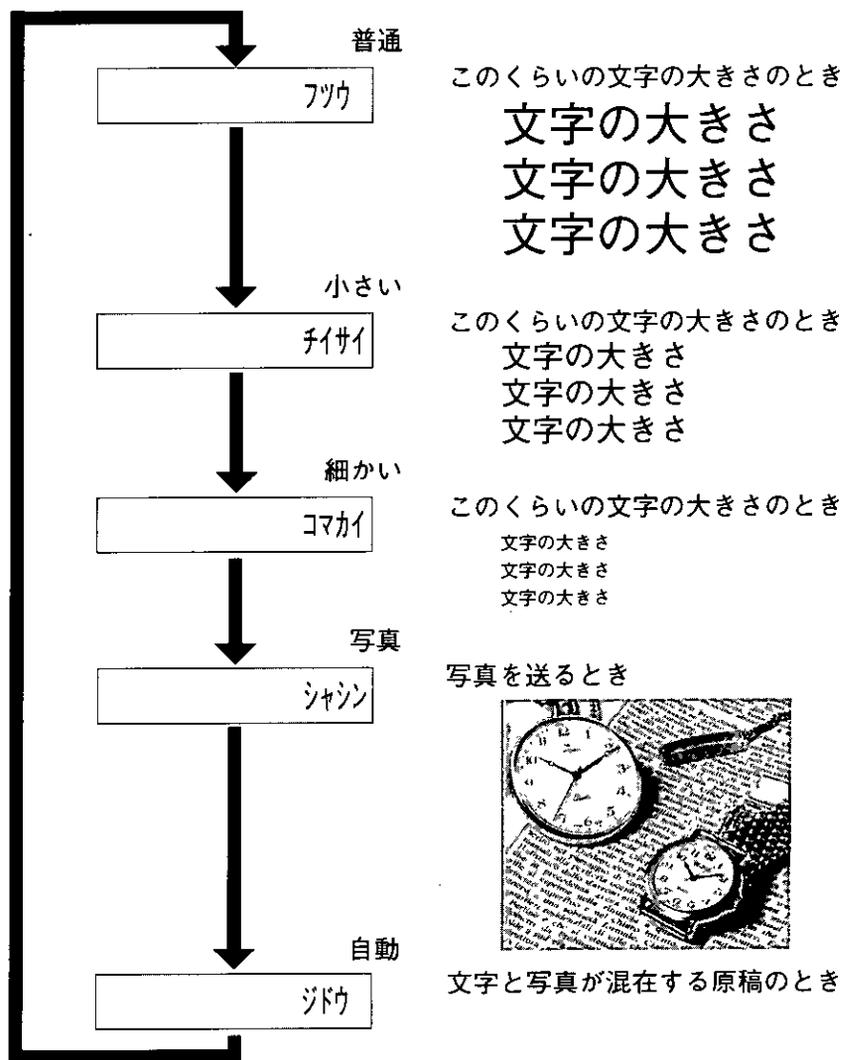
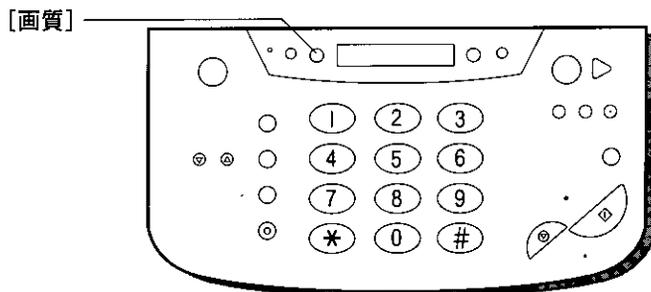
送信の準備

ファクシミリを送る前に知っておいていただきたい、原稿を鮮明に送るための設定と原稿のセットのしかたについて説明します。

写真や小さい文字の原稿を送る

文字の小さい原稿や写真のように濃淡のある原稿でも鮮明に送ったり、コピーをとったりすることができます。送信やコピーをする前に送る原稿の文字の大きさに合わせて[画質]ボタンで調節してください。

1 [画質]ボタンを押します。

現在の画質の設定が表示され、[画質] ボタンを押すごとにディスプレイの表示が変わります。2秒経つと、待機画面「4/30 12:00 0」(例)に戻ります。

ワンポイント

◎お買い求めいただいたときは「フツウ」に設定されています。
◎「コマカイ」に設定した場合、相手機によっては「チイサイ」で送信することがあります。
◎コピーのときは、「チイサイ」、「ジドウ」、「コマカイ」、「シャシン」の中から選んでください。「フツウ」に設定した場合は「チイサイ」でコピーします。
◎ハンドスキャナを使って送信するときやコピーするときは、「チイサイ」、「ジドウ」、「シャシン」の中から選んでください。
◎写真や濃淡のある原稿を送信するときやコピーをするときは、「シャシン」に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。
◎写真と文字がいっしょになっている原稿を送信するときやコピーするときは、「ジドウ」に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。
◎「ジドウ」、「シャシン」に設定した場合に、原稿によっては原稿の白い部分にゴマ模様の記録が出る場合があります。その場合には、読み取り濃度を「薄くプリント」または「より薄くプリント」に設定してください。⇨（P.26）

ファクシミリの基本的なご注意

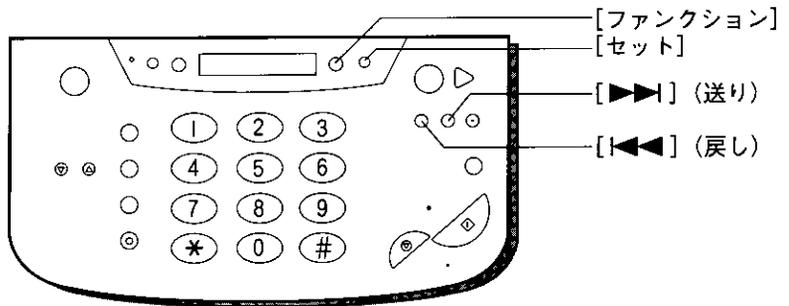
 原稿の読み取りは、ハンドスキャナの原稿読み取り部で行います。読み取り部が汚れていると、その汚れは黒い縦線となって送信されてしまいます。読み取り部は月に一度くらい定期的に清掃をして常にきれいな状態にしておきましょう。清掃のしかたは、「ハンドスキャナ（原稿読み取り部とローラ）の清掃」（P.18）をご覧ください。

 ファクシミリは、同じ大きさの原稿でも、黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある原稿では送信に時間がかかります。

色のついた原稿や薄い文字の原稿を送る

キャリアシートを使うときや、用紙に色がついているとき、原稿の文字が薄いときなどは、相手が読みやすいように読み取り濃度を調節することができます。送信やコピーをする前に調節してください。

▶読み取り濃度の目安

コピーや黒ペン書きの原稿……………………………………………「■■■」
カラー紙等の色地原稿や新聞紙などの濃い原稿……………………「■■」
鉛筆書きなどの薄い原稿やキャリアシートを使っている原稿……「■■■■」

1 [ファンクション]ボタンを押します。

ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

お願い
ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。

2 [3]ボタンを押します。

ｾｯﾃｲ ﾓｰﾄﾞ

設定モードになります。

3 [セット]ボタンを押します。

ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ■■■

4 読み取り濃度を[|◀◀]ボタン、[▶▶|]ボタンで調節します。

5段階の調節ができます。[|◀◀]ボタンを押すごとに薄くなり（濃い原稿を読み取るとき）、[▶▶|]ボタンを押すごとに濃くなります（薄い原稿を読み取るとき）。

表示	説明
ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ■	より薄くプリントされます。
▲ [▶▶|]を押す / [|◀◀]を押す ▼	
ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ■■	薄くプリントされます。
▲ [▶▶|]を押す / [|◀◀]を押す ▼	
ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ■■■	普通にプリントされます。
▲ [▶▶|]を押す / [|◀◀]を押す ▼	
ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ■■■■	濃くプリントされます。
▲ [▶▶|]を押す / [|◀◀]を押す ▼	
ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ■■■■■	より濃くプリントされます。

5 [セット]ボタンを押します。

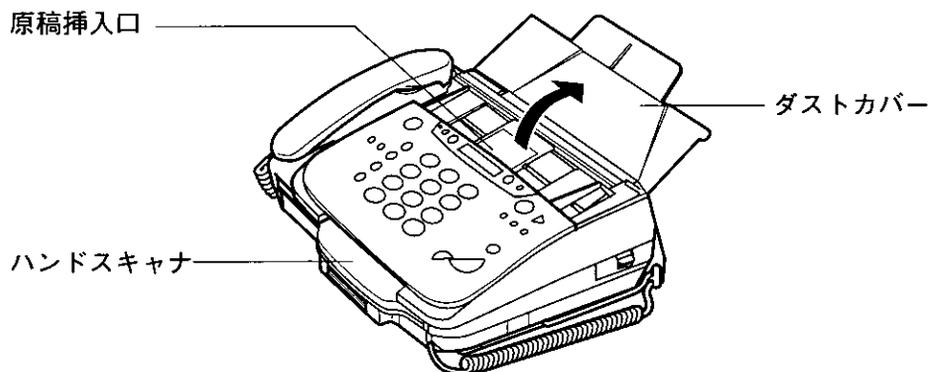
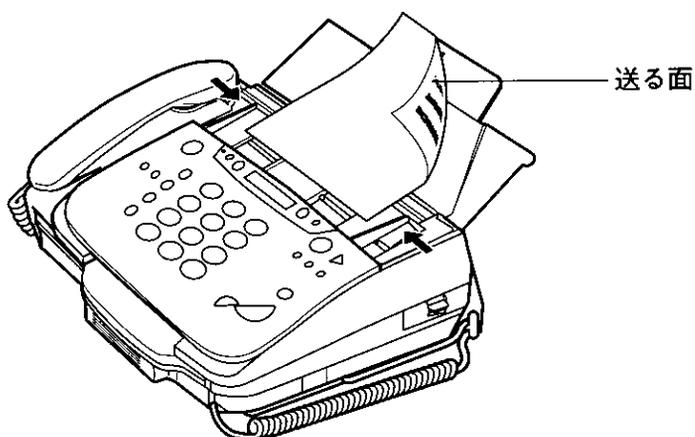
これで設定の操作は終わりです。

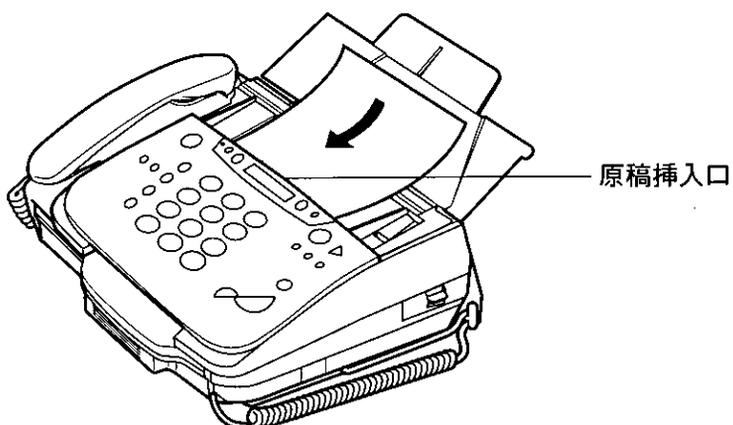
ワンポイント

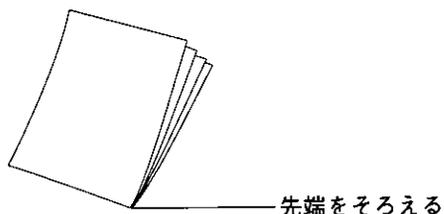
◎設定した状態は次に変更するまで変わりません。送信やコピーが終わったら「普通(■■■)」に設定を戻してください。
◎読み取りの具合を確認したいときは、コピーをとって確認してください。
◎途中で設定をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

原稿セットのしかた

1 ダストカバーを開けます。

ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。

2 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせます。

3 送る面を下に向けて、原稿の上の方から原稿挿入口に差し込みます。

原稿が自動的に引き込まれるまで、軽く差し込んでください。複数枚セットしたときは、下から順に送られます。

ワンポイント

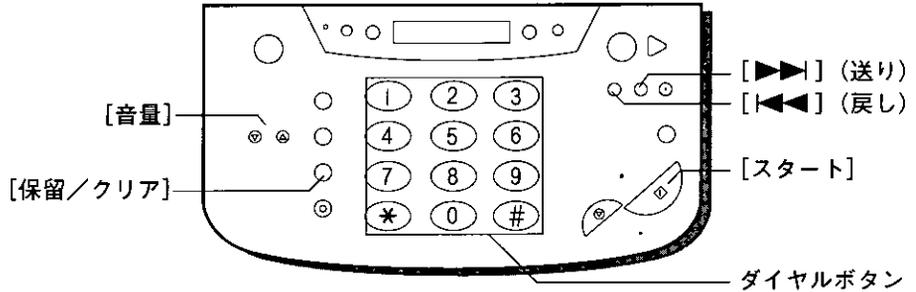
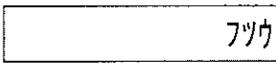
◎原稿は一度に10枚までセットできます。複数枚セットするときは、先端をそろえてください。

◎11枚以上の原稿を送ったり、コピーをするときは、何回かに分けて送信またはコピーをしてください。途中で原稿を追加することはできません。
◎幅や厚さの異なる原稿を同時にセットしないでください。
◎差し込んだ原稿を取り除きたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

送信のしかた

受話器をとらずに送ったり、電話で話をしてから送ったりできます。

ファクシミリを送る(自動送信)

1 原稿をセットします。

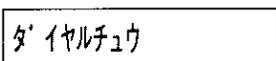
フツウ

「原稿セットのしかた」⇨ (P.27)
現在の画質の設定 (P.24) が表示されます。

2 相手先の電話(ファクシミリ)番号をダイヤルします。

0335095538_

受話器を置いたまま、ダイヤルボタンでダイヤルします。
番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確かめたうえで送信できます。

▶番号を押し間違えたら

最初から入れなおしたいときは、[保留／クリア]ボタンまたは [ストップ] ボタンを押します。間違えたところだけをなおしたいときは、[|◀◀]ボタン、[▶▶|]ボタンでカーソルを動かしてください。

3 [スタート]ボタンを押します。

ダイヤルチュウ

▲▼

アイテ:0335095538

▼

0335095538

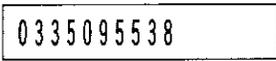
▼

0335095538　P01

▼

4/30 12:00　0

送信が始まります。
送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

お願い
原稿は、自動的に排出されます。一時的に排出が止まり、排出されるまでに時間がかかることがありますが、無理に引き抜かないでください。

▶モニタ音量の調節

モニタスピーカから聞こえる呼び出し中の音は [音量] ボタンで調節できます。[△] (大) ボタンを押すと音が大きくなります。[▽] (小) ボタンを押すと音が小さくなります。さらに [▽] (小) ボタンを押すと音を鳴らさなくすることもできます。モニタ音量の設定は、送信が終わってももとに戻りません。

モニタ音量は、次のように表示されます。

モニタ音量「切」

オンリョウ:- □□□□□□ +

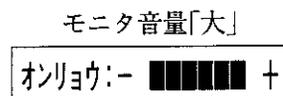
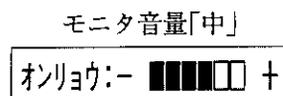
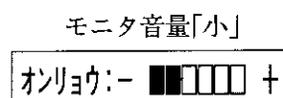
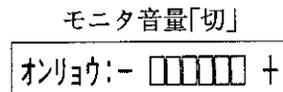
モニタ音量「小」

オンリョウ:- ■■□□□□ +

モニタ音量「中」

オンリョウ:- ■■■■■□ +

モニタ音量「大」

オンリョウ:- ■■■■■■ +

ワンポイント

◎ワンタッチダイヤル（P.35）、電子電話帳（短縮ダイヤル）（P.36）、再ダイヤル（P.49）も使えます。
◎相手機種によっては、ディスプレイに相手先の名前（ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録した場合）や電話番号が表示されます。ディスプレイには、12文字まで表示できます。13文字以上のときは後ろの部分を表示します。
◎電話がつながると、まず通信ランプ（緑色）が点滅します。送信を開始すると、通信ランプ（緑色）が点灯します。
◎送信が終わったら、ダストカバーを閉じてください。
◎途中で送信をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。送信終了後、残った原稿を排出するときは、もう一度[ストップ]ボタンを押すと、「ハイシュツチュウ」と表示し、原稿が排出されます。

▶相手先が話中のときは

サイハッコ マチ　　1カイメ

ディスプレイに「サイハッコ　マチ　　1カイメ」（再発呼待ち　1回目）と表示されたときは、相手先が話中であることを示します。
この場合、3分間隔で2回まで、自動的にダイヤルしなおしますので、そのままお待ちください。2回ダイヤルしなおしても送信できないときは、不達レポートがプリントされます。しばらくしてから、もう一度送りなおしてください。
3分待たずに、すぐかけなおしたいときは、[再ダイヤル]ボタンを押してください。
原稿を取り出すときは、[ストップ]ボタンを2回押してください。

送信できなかったとき

ファクシミリが正常に送れなかったときは、不達レポートがプリントされます。

（例）

フタツ　レホ゜ート

1997. 4. 30 12:18

スズ゛キ

ツウシン カイシ ニチジ゛	ツウシン ジ゛カン	ア イ テ サ キ	モード゛	マイスウ	ツウシン ケッカ
4. 30 12:17		0335095538	G3	0	ハナシチュウ

「ツウシン　ケッカ」欄の見かた
ツウシンケッカ欄には、送信できなかった理由を次の様に表示します。

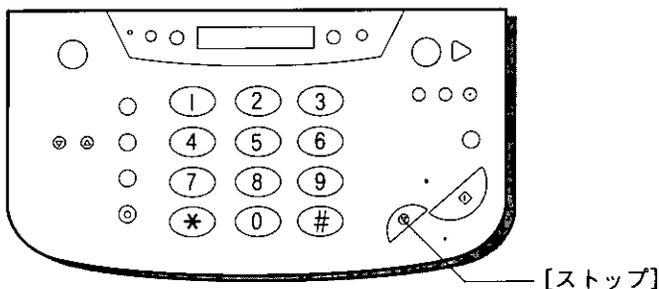
「ムオウトウ」…………・相手先のファクシミリが受信できない状態になっています。
・相手先が電話にお出になりません。
・電話回線が正しく接続されていないか、断線しているおそれがあります。

「ハナシチュウ」…………次のいずれかの場合に表示します。
・相手先が話中です。
・回線が混み合っています。

「ヨビダシ」………………相手先から通話予約などで呼び出しを受けています。

「××」（2桁の数字）…「主なエラー番号」（P.115）をご覧ください。

送信の中断

相手先をうっかり間違えてしまったり、送り始めてから原稿の間違いに気づいた場合など、送信を中断したいときは、[ストップ] ボタンを押します。

海外へ送るときは

海外へファクシミリを送るときは、海外通信の設定をしてください。設定のしかたはP.96をご覧ください。

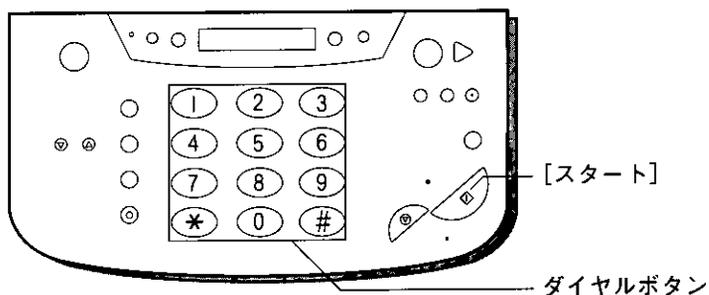
話をしてから送る(手動送信)

相手先に電話をかけて、話をしてからそのままファクシミリを送ることができます。

ワンポイント

◎相手から電話がかかってきた場合でも、話をしたあとにそのままこちらからファクシミリを送ることもできます。

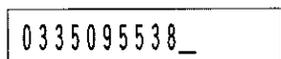
1 原稿をセットします。

フツウ

「原稿セットのしかた」⇨ (P.27)
現在の画質の設定 (P.24) が表示されます。

2 受話器をとります。

「ツー」という音が聞こえます。

3 相手先の電話(ファクシミリ)番号をダイヤルします。

0335095538_

相手先を呼び出します。番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確認できます。

▶番号を押し間違えたら

一度受話器を戻し、もう一度ダイヤルしなおしてください。

4 話をします。

ﾂｳﾜｼﾞｶﾝ　0′20″

▶「ピーヒョロヒョロ」という音がしたときや何も音がしなくなったときは

相手先が自動受信（ファクシミリだけを受信する状態）になっています。[スタート]ボタンを押してください。

5 相手に受信の操作をしてもらいます。

準備ができると「ピー」という音がしたり、何も音がしなくなります。

ワンポイント

◎こちらが先に[スタート]ボタンを押してから、相手に受信の操作をしてもらっても送信できます。

6 [スタート]ボタンを押し、受話器を戻します。

ｿｳｼﾝﾁｭｳ

▼

0335095538　P01

▼

4/30 12:00　0

送信が始まります。

受話器を戻しても、ファクシミリを送り終わるまで電話は切れません。

送信が終わると「ピーッ」という音がします。

お願い

原稿は自動的に排出されます。一時的に排出が止まり、排出されるまでに時間がかかることがありますが、無理に引き抜かないでください。

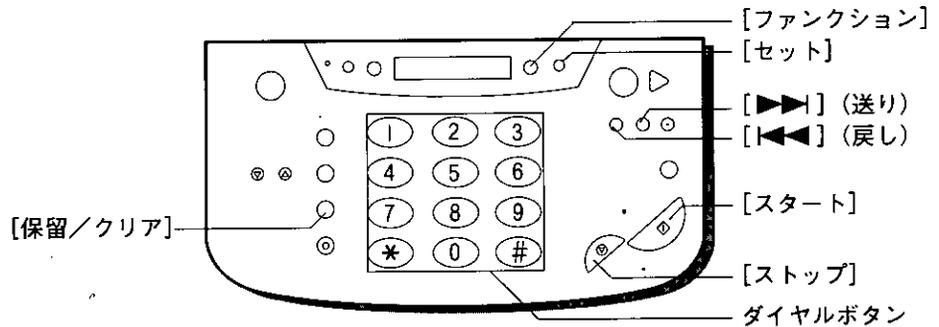
ワンポイント

◎ワンタッチダイヤル（P.47）、電子電話帳（短縮ダイヤル）（P.48）、再ダイヤル（P.49）も使えます。

◎送信が終わったら、ダストカバーを閉じてください。

◎途中で送信をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

原稿をメモリに読み込んでから送る（メモリ送信）

原稿をいったんメモリに読み取ってから、ファクシミリを送ることができます。ダイレクト送信に比べて原稿を読み取る速度が早く、送信が完了するまで待つ必要がありません。
メモリ送信をする前に、メモリ送信選択の設定をする必要があります。

メモリ送信選択の設定をする

1 [ファンクション] ボタンを2回押します。

キノウセンタク シテクダサイ

▼

メモリソウシン　○X

メモリ送信選択になります。

2 [|◀◀] ボタン、[▶▶|] ボタンを押して、メモリ送信をする（○）を選び、[セット] ボタンを押します。

メモリソウシン　○X

▼

カンリョウ

▼

4/30 12:00　0

ワンポイント

◎ダイレクト送信をするときは、「メモリ送信をしない」（×）に設定します。
◎メモリ送信選択の設定は、一度メモリ送信を行うと解除されます。メモリ送信をよく使う場合は、送信ホームポジションを「メモリ送信」に設定しておくと、送信のたびにメモリ送信選択の設定をする手間が省けます。⇨（P.96）
お買い求めいただいたときは、「ダイレクト送信」に設定されています。

メモリ送信をする

1 原稿をセットします。

フツウ

「原稿セットのしかた」⇨（P .27）
現在の画質の設定（P.24）が表示されます。

お願い
メモリ送信選択の設定をしてから送信してください。

2 相手先の電話（ファクシミリ）番号をダイヤルします。

0335095538_

受話器を置いたまま、ダイヤルボタンでダイヤルします。
番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確認できます。

▶番号を押し間違えたら

最初から入れなおしたいときは、[保留／クリア] ボタンを押します。間違えたところだけをなおしたいときは、[|◀◀] ボタン、[▶▶|] ボタンでカーソルを動かしてください。

3 [スタート] ボタンを押します。

ｹﾞﾝｺｳﾖﾐﾄﾘﾁｭｳ P01

▼

ﾊｯｺﾏﾁ

▼

ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ

▲▼

ｱｲﾃ:0335095538

▼

0335095538

▼

0335095538 P01

▼

4/30 12:00 0

原稿の読み取りが始まります。
原稿の読み取りが終わると、送信が始まります。
送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

ワンポイント

◎メモリには、「フツウ」モード（P.24）で、A4判に700字程度の文字が書かれた原稿を最大20枚程度記憶することができます。
◎ワンタッチダイヤル（P.35）、電子電話帳（短縮ダイヤル）（P.36）も使えます。
◎相手機種によっては、ディスプレイに相手先の名前（ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録した場合）や電話番号が表示されます。ディスプレイには、12文字まで表示できます。13文字以上のときは後ろの部分を表示します。
◎原稿の読み取りが始まると、まずメモリランプ（緑色）が点灯します。送信を開始すると、通信ランプ（緑色）が点灯します。
◎原稿の読み取りが終わったら、ダストカバーを閉じてください。
◎途中で原稿の読み取りや送信をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。
◎相手先が話中のときは、3分間隔で2回まで自動的にダイヤルしなおします。
⇨（P.30）
◎送信できなかったときは、不達レポートがプリントされます。⇨（P.30）
◎メモリ送信をよく使うときは、送信ホームポジションで「メモリ送信」に設定しておきます。送信ホームポジションを設定しておく（P.96）と、メモリ送信をするときに、「メモリ送信選択の設定をする」の手順1～2の操作（P.33）をする手間が省けます。

原稿の読み取り中にメモリがいっぱいになったとき

ﾒﾓﾘ ﾌﾙ P05

▼（5秒後）

04ﾍﾟｰｼﾞ ｿｳｼﾝｼﾏｽ

「ピーピーピーピーピー」という音がしてアラームランプ（赤色）が点灯し、何ページ目の読み取り中にメモリがいっぱいになったかをディスプレイに表示します。

5秒後に、メモリに読み取った原稿のみを送信するかどうかの選択画面が表示されます。（[ストップ] ボタンを押すと、すぐに表示されます。）

・読み取った原稿のみを送信するとき
　[スタート] ボタンを押すと、メモリに読み取ったページまでが送信されます。メモリフルが発生したページ（左記のディスプレイ表示例では5ページ目）は送信されません。
　60秒間何も操作せずにいると、自動的に送信が始まります。

ｹﾞﾝｺｳｦ ﾄｯﾃｸﾀﾞｻｲ

・読み取った原稿も含めて送信をやめるとき
　[ストップ] ボタンを押します。
　もう一度 [ストップ] ボタンを押して、原稿を排出してください。

ワンポイント

◎1ページ目の読み取り中にメモリがいっぱいになったときは、[ストップ] ボタンを押すと「ゲンコウヲ　トッテクダサイ」とディスプレイに表示されます。
もう一度 [ストップ] ボタンを押して、原稿を排出してください。
◎送信できなかった原稿があるときは、メモリが空くのを待って送信しなおすか、ダイレクト送信で送信してください。⇨（P.29、31）

ワンタッチダイヤルでファクシミリを送る

ワンタッチダイヤルに登録してある相手先に、ワンタッチボタンを押すだけでファクシミリを送ることができます。

お願い
ファクシミリを送る前にワンタッチダイヤルの登録が必要です。ワンタッチダイヤルの登録のしかたはP.90をご覧ください。

1 原稿をセットします。

フツウ

「原稿セットのしかた」⇨（P.27）
現在の画質の設定（P.24）が表示されます。

2 ワンタッチボタンを押します。

ｱｲﾃ:ｴｲｷﾞｮｳ

〈例〉[ワンタッチ１]ボタンでかける場合
[ワンタッチ１]ボタンを押します。

ファクシミリを送りたい相手先を登録したワンタッチボタンを押します。ディスプレイに登録した相手先の名前が表示されるので、間違いがないか確かめたうえで送信できます。

▶ ワンタッチボタンを押し間違えたら
[保留／クリア]ボタンを押してから、ワンタッチボタンを押しなおしてください。

▶ ワンタッチダイヤルが登録されていないときは
ワンタッチダイヤルが登録されていないワンタッチボタンを押すと、ディスプレイに「デンワバンゴウミトウロク」と表示され、送信できません。ワンタッチダイヤルを登録してから送りなおしてください。

3 [スタート]ボタンを押します。

ワンポイント
◎[スタート]ボタンを押さなくても、7秒後にダイヤルを始めます。
◎途中で送信をやめたいときは[ストップ]ボタンを押してください。

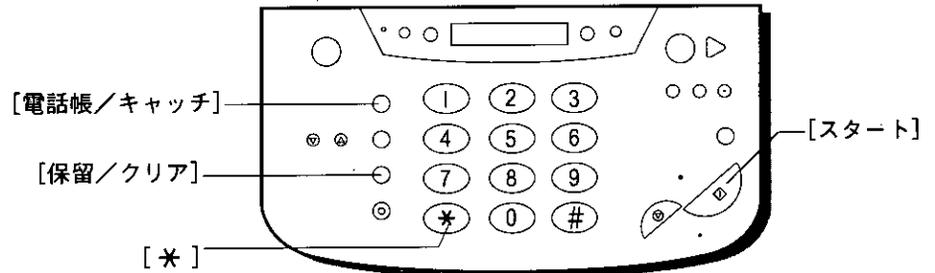
お願い
電話番号とファクシミリ番号を別にしている相手先にファクシミリを送るときは、ワンタッチボタンにどちらの番号を登録しているか注意してください。

電子電話帳（短縮ダイヤル）でファクシミリを送る

電子電話帳（短縮ダイヤル）に登録してある相手先の名前を検索して、ファクシミリを送ることができます。また、短縮番号をダイヤルボタンで入れて、相手先を指定することもできます。

お願い
ファクシミリを送る前に電子電話帳（短縮ダイヤル）の登録が必要です。電子電話帳（短縮ダイヤル）の登録のしかたはP.90をご覧ください。

1 原稿をセットします。

フツウ

「原稿セットのしかた」⇨（P.27）
現在の画質の設定（P.24）が表示されます。

2 [電話帳／キャッチ] ボタンを押します。

アイテ：エイギョウ

最も若い短縮番号に登録してある相手先の名前が表示されます。

3 ファクシミリを送りたい相手先を [電話帳／キャッチ] ボタン、[＊] ボタンを押して表示させます。

アイテ：ソウム

[電話帳／キャッチ] ボタンを繰り返して押すと短縮番号順に相手先が表示され、[＊] ボタンを押すとひとつ前の相手先が表示されます。

ワンポイント
◎短縮番号（01～10）をダイヤルボタンで入れて相手先を指定することもできます。01～10以外の番号を入れると、ディスプレイに「シテイ　デキマセン」と表示され、送信できません。また、相手先を登録していない短縮番号を入れると、ディスプレイに「デンワバンゴウミトウロク」と表示され、送信できません。短縮番号を入れたときは、7秒後に自動的にダイヤルされます。短縮番号を間違えたときは、[保留／クリア] ボタンを押してからダイヤルしなおしてください。
〈例〉短縮番号04にかける場合
[0]、[4] ボタンを押します。

タンシュク 04

お願い
電話番号とファクシミリ番号を別にしている相手先にファクシミリを送るときは、短縮ダイヤルにどちらの番号を登録しているか注意してください。

4 [スタート]ボタンを押します。

ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ

▲▼

ｱｲﾃ:ｿｳﾑ

▼

ｿｳﾑ

▼

ｿｳﾑ　　　　P01

▼

4/30 12:00　　0

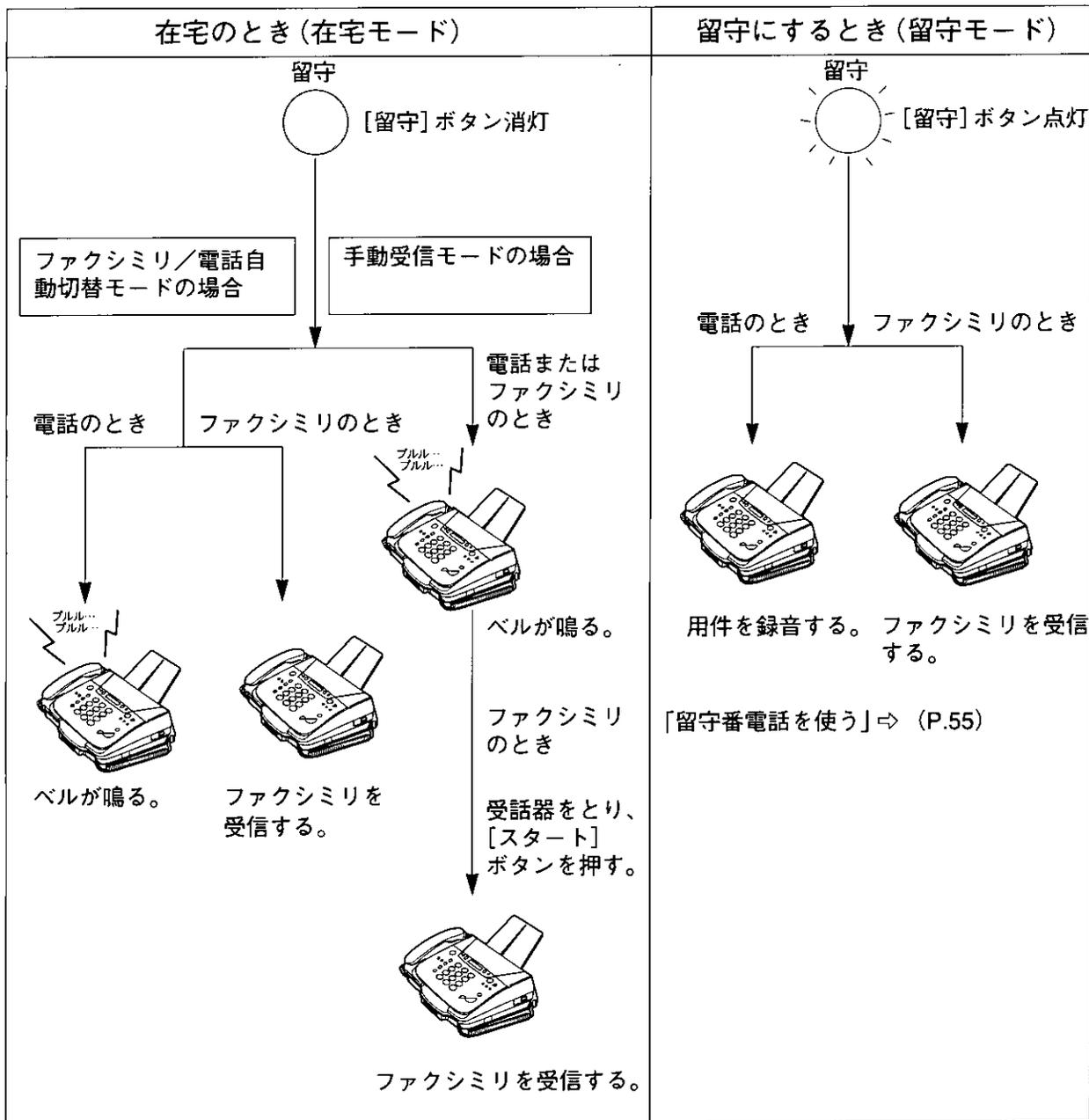
ワンポイント

◎短縮番号を入れたときは、[スタート] ボタンを押さなくても7秒後にダイヤルを始めます。

◎途中で送信をやめたいときは [ストップ] ボタンを押してください。

受信のしかた

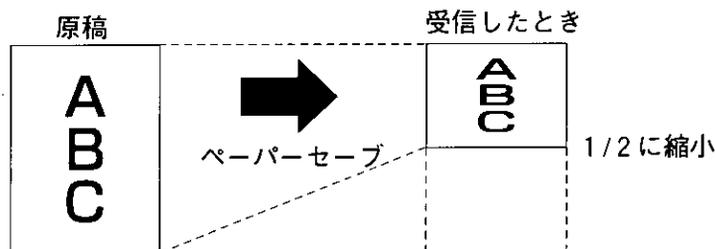
受信モードについて

本機は、在宅のときと留守にするときとで受信モードを切り替えて使用できます。

在宅モードには、「手動受信モード」と「ファクシミリ／電話自動切替モード」があります。
「手動受信モード」では、電話とファクシミリのどちらがかかってきても、ファクシミリを受信するときは手動受信の操作を行ってファクシミリを受信します。
「ファクシミリ／電話自動切替モード」では、電話とファクシミリのどちらがかかってきたかを本機が判断して、ファクシミリのときは自動的にファクシミリを受信します。

ワンポイント

◎ファクシミリの受信中に記録紙がなくなったときは受信を中断し、次に受信した文書からは自動的にメモリに記憶されます。メモリには、「フツウ」モードで送られてきた、A4判に700字程度の文字が書かれた原稿で、最大20枚程度記憶することができます。新しい記録紙を入れると、受信文書が自動的にプリントされます。⇨ (P.102)

◎記録紙を節約して受信すること（ペーパーセーブ受信）ができます。ペーパーセーブ受信の設定をしておくと、ファクシミリを受けるときに縦方向に1/2に縮小してプリントされます。⇨ (P.94)
相手が「普通」の文字の大きさで送ってきたときだけペーパーセーブ受信がはたらきます。「自動」、「小さい」、「細かい」、「写真」で送信してきたときはペーパーセーブ受信することはできません。
お買い求めいただいたときは、ペーパーセーブ受信の設定はされていません。

ペーパーセーブ受信したときのプリント例

◎受信したファクシミリのページ間を切断したくないときは、手動カットモードを設定します。⇨ (P.96)
手動カットモードでは、ページ間と最後のページの終わりに破線がプリントされます。
お買い求めいただいたときは、自動カットモードになっています。

お願い

ファクシミリを受信すると、原稿読み取り部のランプが点灯します。光源自体は無害ですが強い光が出ますので、ハンドスキャナを外しているときは光源を見ないようにご注意ください。

電話を優先した使いかた(手動受信モード)

ファクシミリを受ける回数が少ないため、ファクシミリを自動的に受信する必要がない場合や、なるべく相手に料金を負担させないようにしたい場合は、着信ベルの回数を無制限に設定することで「ファクシミリ／電話自動切替」しないようにすることができます(手動受信モード)。手動受信モードにすると、電話のときもファクシミリのときも普通の電話機と同じようにベルが鳴り続け、こちらが受話器をとったところから相手先に通話料金がかかります。手動受信モードは、着信ベル回数で設定してください。⇨ (P.94)

お願い

- 手動受信モードに設定すると、ファクシミリを自動的に受信することはできません。受話器をとって受信の操作をしてください。⇨ (P.43)
- 手動受信モードにしていても、留守番電話を留守設定にしたときはファクシミリを自動的に受信します。
- 相手が自動送信のファクシミリの場合、ベルが10回以上鳴ると受信できないことがあります。
早めに受話器をとるようにしてください。
- 無鳴動着信(P.94)をするに設定しているときは、手動受信モードの設定が無効になります。
- 在宅モードを手動受信モードに設定している場合、留守番電話のセットを忘れて外出したときなどは外から本機をリモート操作することはできません。外から本機をリモート操作する場合は留守番電話を忘れずにセットするか、在宅モードをファクシミリ／電話自動切替モードにしておいてください（着信ベル回数を無制限以外に設定してください)。

ファクシミリ／電話自動切替のしくみ

かかってきた電話にだれも出ないと

電話がかかったときにだれも電話に出ないと、本機は電話をつないで、相手がファクシミリか普通の電話かを自動的に判断します（ファクシミリ／電話自動切替）。ファクシミリの場合には自動的に受信します。電話の場合はあらかじめ設定した回数だけベルを鳴らし、その間にだれも電話をとらないと電話を切ります。

電話の場合　　ファクシミリの場合

↓　↓

ベルが6回鳴ります。　＊1
ここまでは普通の電話機と同じです。

↓　↓

ファクシミリか電話かを判断します。　＊2
「お呼び出しいたしますのでしばらくお待ちください。」という音声メッセージを流します。

ここから通話料金がかかります。

↓ 電話の場合：

引き続きベルが10回鳴ります。　＊3
相手に聞こえる音が少し高くなります。

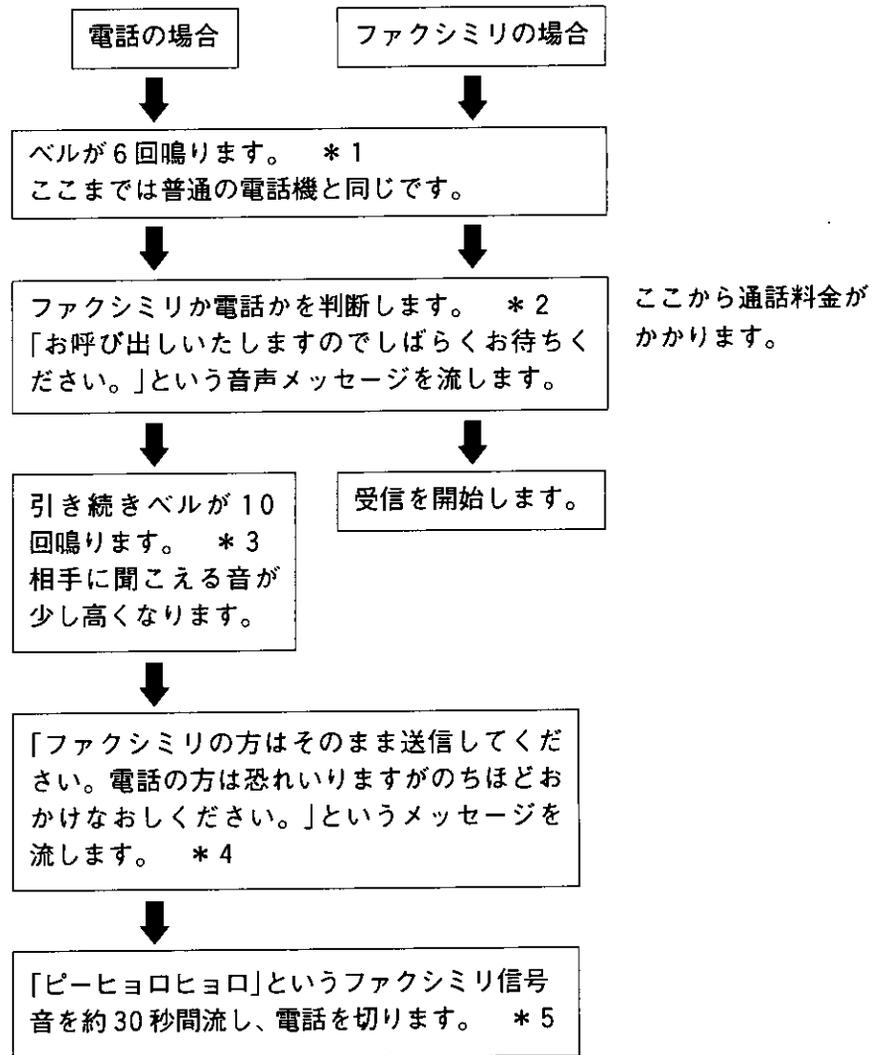
↓ ファクシミリの場合：

受信を開始します。

↓

「ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れいりますがのちほどおかけなおしください。」というメッセージを流します。　＊4

↓

「ピーヒョロヒョロ」というファクシミリ信号音を約30秒間流し、電話を切ります。　＊5

＊1　着信ベル回数は、1回～19回または、無制限（手動受信モード）に設定できます。⇨（P.94）
0回にしたいときは「無鳴動着信」を設定します。⇨（P.94）

＊2　音声メッセージを流さないようにすることもできます。⇨（P.94）

＊3　呼出ベル回数は、1回～19回まで設定できます。⇨（P.94）

＊4　メッセージを流し終わる前に受話器をとれば、話をすることができます。

＊5　ベルが止まったあと相手に「ピーヒョロヒョロ」というファクシミリ信号音を約30秒流します。この間に相手がファクシミリの送信操作を行うと受信を開始します。

ワンポイント

◎着信ベル回数と呼出ベル回数については、「呼び出し回数について」（P.41）をご覧ください。

◎留守番電話をセットしたときは、ベルの鳴りかたや動作のしかたが異なります。詳しくは、「留守番電話を使う」（P.55）をご覧ください。

呼び出し回数について

電話がかかってきたときに、相手に聞こえる呼出音の回数は、次のようになります。

着信ベルと呼出ベルの鳴る回数は、それぞれ変更することができます。ご自分の使いかたに合わせて設定してください。⇨（P.94）

▶ 手動受信の場合

着信ベルの回数を無制限（手動受信モード）にします。

▶ 電話を主に使うがファクシミリのときは自動的に受信したい場合の設定例

お買い求めいただいたときの状態でお使いください。

着信ベル＝　6回
呼出ベル＝　10回

お願い

着信ベルを１０回以上に設定した場合、相手が自動送信で送ってきたときに受信できないことがあります。

▶ ファクシミリを主に使う場合の設定例

無鳴動着信に設定し、すぐに「ファクシミリ／電話自動切替」するようにします。

着信ベル＝無鳴動着信
呼出ベル＝　10回

ワンポイント

◎無鳴動着信に設定すると、着信してから５秒程度は、相手が電話であってもベルが鳴りません。

電話を受ける

電話がかかってくるとベルが鳴り、[おやすみ]ボタンが点滅します。受話器をとって話をしてください。

ワンポイント

◎本機の受話器は、補聴器をお使いの方に通話が聞き取りやすい「補聴器対応受話器」(ヒヤリングエイド対応)です。
(お使いいただけるのは、誘導コイルタイプの補聴器の場合です。)

呼出ベルの音量の調節

ベルの音量は[音量]ボタンで調節できます。待機中(電話もファクシミリも使用していないとき)に、[△](大)ボタンを押すと音が大きくなります。[▽](小)ボタンを押すと音が小さくなります。さらに[▽](小)ボタンを押すと呼出音を鳴らさなくすることもできます。
ベルの音量は、次のように表示されます。

ベル音量「切」

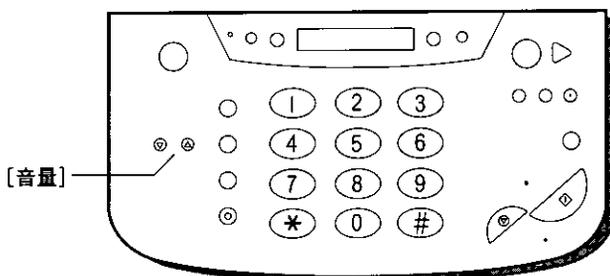
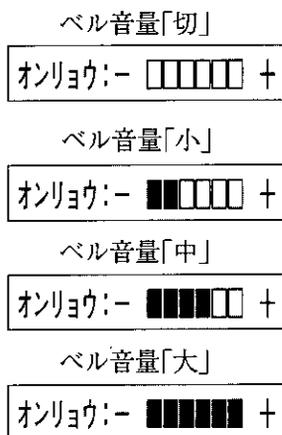
ベル音量「小」

ｵﾝﾘｮｳ:- ■■□□□□ +

ベル音量「中」

ｵﾝﾘｮｳ:- ■■■■□□ +

ベル音量「大」

ｵﾝﾘｮｳ:- ■■■■■■ +

ワンポイント

◎[音量]ボタンを押すごとに、設定した大きさで呼出ベルが1回鳴ります。呼出ベルの音量を確認してください。

話をしてからファクシミリを受ける

電話で話をしたあとに、そのまま電話を切らずにファクシミリの受信をすることができます。

1 相手と話をします。

ワンポイント

◎どちらから電話をかけた場合でも、ファクシミリを受けることができます。

▶受話器から「ポー・ポー・ポー…」という音がしたときは

相手が自動送信のファクシミリです。[スタート]ボタンを押してください。

2 相手に送信の操作をしてもらいます。

「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえます。

▶何も音が聞こえないときは

相手機によっては何も音が聞こえないことがあります。呼びかけて応答がないことを確認してから、[スタート]ボタンを押してください。

3 [スタート]ボタンを押します。

受信を開始し、受信した文書がプリントされます。

ワンポイント

◎先にこちらで[スタート]ボタンを押してから相手に送信の操作をしてもらっても、受信することができます。

◎「ジュシンチュウ」と表示されているとき以外は、[ストップ]ボタンを押しても、途中で受信をやめることはできません。

◎こちらと相手先の両方で受話器を上げたままでいると、ファクシミリを受信したあとにもう一度話をすることができます。

◎親切受信を「する」に設定すると、相手から「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえれば、[スタート]ボタンを押さずに受話器を戻すだけで受信させることができます。
⇨（P.44）

お願い

■記録紙スタッカに、受信した記録紙をためすぎないようにしてください。11枚以上ためると記録紙づまりの原因となることがあります。

■相手が話をしないで送ろうとしているファクシミリ（自動送信）の場合は、受話器をとらなくても、ベルが6回鳴ると自動的にファクシミリの受信を始めます。詳しくは、「ファクシミリ／電話自動切替のしくみ」（P.40）をご覧ください。

■ファクシミリが入ったときはすぐに受信するようにしたいときは、ベルの鳴る回数を少なく設定してください。詳しくは、「呼び出し回数について」（P.41）をご覧ください。

ファクシミリを受ける(親切受信)

電話をとったときに相手がファクシミリであることがわかったら(「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたあと「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」と聞こえたら)、そのまま受話器を戻すだけでファクシミリの受信を開始させることができます。
「親切受信」の設定 (P.96) を「する」にしてください。

お願い

親切受信を「する」に設定していると、外付け電話機で通話中にキャッチホンが入り、相手がファクシミリだった場合(「ポー・ポー・ポー…」と聞こえた場合)、自動的にファクシミリに切り替わってしまいます。外付け電話機を接続し、キャッチホンサービスをご利用になる場合は、親切受信は「しない」に設定してください。

1 ベルが鳴ったら受話器をとります。

「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたあと、「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」と聞こえます。

2 受話器を戻します。

受信を開始します。
受話器を戻しても、ファクシミリを受け終わるまで電話は切れません。
全部受信し終わると、「ピーッ」という音がします。

ワンポイント

◎「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージが聞こえ始めたら、メッセージの途中で受話器を戻しても受信を開始します。
◎「ジュシンチュウ」と表示されているとき以外は、[ストップ]ボタンを押しても、途中で受信をやめることはできません。

▶受話器から声が聞こえたときは

受話器をとって人の声がしたときは普通の電話です。そのまま話をしてください。

▶何も音が聞こえないときは

相手がファクシミリの場合、何も音が聞こえないことがあります。
呼びかけて応答がないことを確認してから、[スタート]ボタンを押してください。

お願い

■キャッチホンが入った場合等で[電話帳/キャッチ]ボタンをご使用になった場合は、親切受信はできません。ファクシミリの受信を行う場合は、[スタート]ボタンを押してください。
■親切受信をしないに設定したときは、[スタート]ボタンを押してから受話器を戻してください。
■相手の電話から入る声質や音により、誤ってファクシミリの受信状態になることがあります。このような場合は、親切受信しないに設定してください。
■周囲の騒音等により「ポー・ポー・ポー…」という音がしても、メッセージが流れないことがあります。このような場合は [スタート]ボタンを押して受信してください。
■コピー中や登録・設定中にファクシミリが入ったときは、親切受信できません。このような場合は、コピーや登録・設定を中断すると、受信します。

コピーのしかた

本機を使って、簡単にコピーをとることができます。本機でとったコピーで、相手に送るファクシミリの状態を確認することができます。

ワンポイント

◎本などをコピーしたいときは、ハンドスキャナを使ってコピーします。詳しくは、「ハンドスキャナを使う」(P.72)をご覧ください。

お願い

法律によりコピーが禁じられているものもあります。以下のようなもののコピーには注意してください。

- 法律で禁止されているもの(絶対にコピーしないでください)
  貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙等(以上外国で発行されたものを含む)
- 著作権のあるもの
  書籍、楽譜、絵画、版画、地図、図面、映画、写真等
- その他注意を要するもの
  民間発行の有価証券、パスポート、免許証、身分証明書、食券、定期券、回数券等

1 原稿をセットします。

「原稿セットのしかた」⇨ (P.27)

2 [スタート]ボタンを押します。

ｺﾋﾟｰﾁｭｳ P01

コピーを始めます。
コピーした文書は、1枚ずつカットされ記録紙スタッカにページ順に重ねられます。
すべてコピーが終わると、「ピーッ」という音がします。これでコピーは終わりです。

お願い

■原稿は自動的に排出されます。無理に引き抜かないでください。
■記録紙スタッカに、コピーした記録紙をためすぎないようにしてください。11枚以上ためると記録紙づまりの原因となることがあります。
■白紙が出たときは、記録紙の向きを確認してください。⇨ (P.11)

ワンポイント

◎コピーが終わったら、ダストカバーを閉じてください。
◎途中でコピーをやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

電話のかけかた

電話をかける

1 受話器をとります。

「ツー」という音が聞こえます。

2 相手先の電話番号をダイヤルします。

```
0335098571_
```

相手先を呼び出します。番号がディスプレイに表示されるので、間違いがないか確認できます。

▶番号を押し間違えたら

一度受話器を戻し、もう一度ダイヤルしなおしてください。

3 話をします。

```
ツウワジカン    0'35"
```

4 用件が済んだら、受話器を戻します。

相手の声が聞き取りにくいときは（受話音量の調節）

話をしていて、相手の声が小さくて聞き取りにくいときなどは、[音量]ボタンで受話音量(相手の声)を調節できます。話をしながら、[△](大)ボタンを押すと音が大きくなります。[▽](小)ボタンを押すと音が小さくなります。受話音量の設定は、電話を切ってももとに戻りません。
受話音量は、次のように表示されます。

受話音量「小」

```
オンリョウ:- ■■□□□□ +
```

受話音量「標準」

```
オンリョウ:- ■■■■□□ +
```

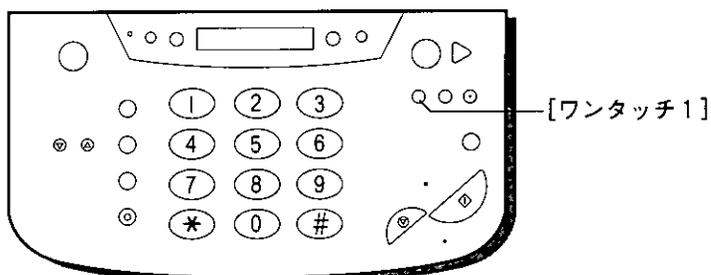
受話音量「大」

```
オンリョウ:- ■■■■■■ +
```

ワンポイント

◎本機の受話器は、補聴器をお使いの方に通話が聞き取りやすい「補聴器対応受話器」(ヒヤリングエイド対応)です。
(お使いいただけるのは、誘導コイルタイプの補聴器の場合です。)

ワンタッチダイヤルで電話をかける

お願い
電話をかける前にワンタッチダイヤルの登録が必要です。ワンタッチダイヤルの登録のしかたはP.90をご覧ください。

1 受話器をとってワンタッチボタンを押します。

ダ゛イヤルチュウ

▲▼

アイテ:エイギ゛ョウ

〈例〉[ワンタッチ1]ボタンでかける場合
[ワンタッチ1]ボタンを押します。

電話をかけたい相手先を登録したワンタッチボタンを押します。相手先を呼び出します。ディスプレイに登録した相手先の名前が表示されるので、間違いがないか確認できます。

ワンポイント
◎受話器をとらずにワンタッチボタンを押して電話をかけることもできます。

お願い
電話番号とファクシミリ番号を別にしている相手先に電話をかけるときは、ワンタッチボタンにどちらの番号を登録しているか注意してください。

▶ ワンタッチボタンを押し間違えたら
一度受話器を戻し、ワンタッチボタンを押しなおしてください。

▶ ワンタッチダイヤルが登録されていないときは
ワンタッチダイヤルが登録されていないワンタッチボタンを押すと、ディスプレイに「デンワバンゴウミトウロク」と表示され、送信できません。ワンタッチダイヤルを登録してから送りなおしてください。

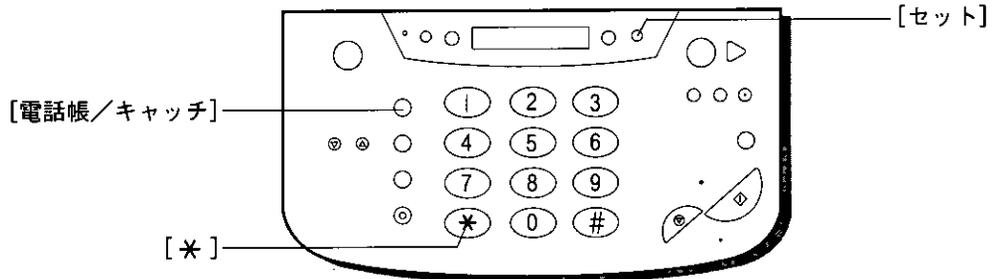
2 話をします。

ツウワジ゛カン　0'35"

3 用件が済んだら受話器を戻します。

第2章 電話のかけかた

電子電話帳（短縮ダイヤル）で電話をかける

お願い
電話をかける前に電子電話帳（短縮ダイヤル）の登録が必要です。電子電話帳（短縮ダイヤル）の登録のしかたはP.90をご覧ください。

1 受話器をとって［電話帳／キャッチ］ボタンを押します。

ｱｲﾃ:ｴｲｷﾞｮｳ

最も若い短縮番号に登録してある相手先の名前が表示されます。

ワンポイント
◎受話器をとらずに［電話機／キャッチ］ボタンを押して電話をかけることもできます。

2 電話をかけたい相手先を［電話帳／キャッチ］ボタン、［＊］ボタンを押して表示させます。

ｱｲﾃ:ｿｳﾑ

［電話帳／キャッチ］ボタンを繰り返して押すと短縮番号順に相手先が表示され、［＊］ボタンを押すとひとつ前の相手先が表示されます。

ワンポイント
◎短縮番号（01～10）をダイヤルボタンで入れて相手先を指定することもできます。01～10以外の番号を入れると、ディスプレイに「シテイ　デキマセン」と表示され、送信できません。また、相手先を登録していない短縮番号を入れると、ディスプレイに「デンワバンゴウミトウロク」と表示され、送信できません。短縮番号を入れたときは、7秒後に自動的にダイヤルされます。短縮番号を間違えたときは、一度受話器を戻し、ダイヤルしなおしてください。
〈例〉短縮番号04にかける場合
　　［0］、［4］ボタンを押します。

ﾀﾝｼｭｸ 04

お願い
電話番号とファクシミリ番号を別にしている相手先にファクシミリを送るときは、短縮ダイヤルにどちらの番号を登録しているか注意してください。

3 ［セット］ボタンを押します。

ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ
▲▼
ｱｲﾃ:ｿｳﾑ

短縮番号を入れたときは［セット］ボタンを押す必要はありません。受話器をとらずに［電話帳／キャッチ］ボタンを押したときは、［セット］ボタンを押してください。

4 話をします。

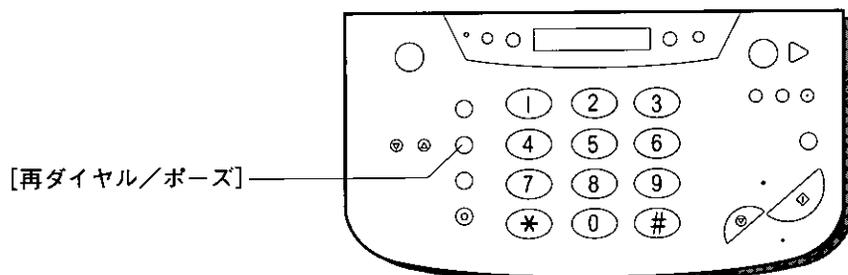
ﾂｳﾜｼﾞｶﾝ　0' 35"

5 用件が済んだら受話器を戻します。

ﾂｳﾜｼﾞｶﾝ　1' 15"
▼
4/30 12:00　0

同じ相手にもう一度かける

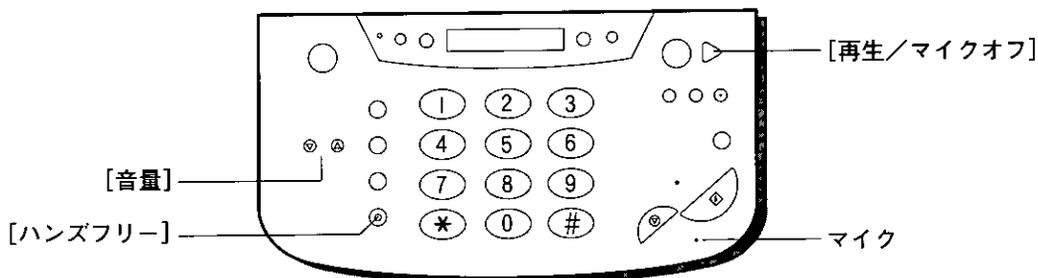
最後にかけた相手先には、ダイヤルしなおさなくても、[再ダイヤル／ポーズ]ボタンを押すだけでかけなおすことができます。話中だった相手にもう一度かけなおすときなどにご利用ください。

お願い

最後にかけた相手先には、ファクシミリを送った相手先も含まれます。この中には、相手先が話中などでファクシミリを送れなかった場合も含まれますのでご注意ください。

ワンポイント

◎再ダイヤルできるのは40桁までです。41桁以上ダイヤルしたときは、最初の40桁分まで再ダイヤルします。

受話器を持たずに話をする（ハンズフリー通話）

受話器を持たずに電話ができます。両手がふさがっているときや、みんなで話をしたいときに便利です。

1 [ハンズフリー] ボタンを押します。

[ハンズフリー] ボタン（赤色）が点灯します。

2 相手先の電話番号をダイヤルします。

0335095538_

相手先を呼び出します。

▶番号を押し間違えたら

[ハンズフリー] ボタンを押し、もう一度ダイヤルしなおしてください。

3 マイクに向かって話をします。

ﾂｳﾜｼﾞｶﾝ　　0' 35"

4 用件が済んだら、[ハンズフリー] ボタンを押します。

```
4/30 12:00    0
```

[ハンズフリー] ボタンが消灯します。

お願い

■ハンズフリー通話は、周囲の雑音のない静かな場所でお使いください。
■話をするときはマイクに手など近づけないようにして、マイクから約50 cm以内の範囲で話をしてください。
■周囲の雑音が大きいときや、話を始めたとき、相手が話をしている間は、こちらの声が小さいと相手に声がきこえにくくなります。このようなときは、マイクに近づいて話をしてください。
■呼出音や相手の声はモニタスピーカから聞こえます。モニタスピーカをふさがないように、壁などから20 cm以上離して設置してください。

ワンポイント

◎ワンタッチダイヤル（P.47）、電子電話帳（短縮ダイヤル）（P.48）、再ダイヤル（P.49）、マイネーム（P.54）も使えます。
◎ハンズフリー通話中にこちらの会話を相手に聞かれたくないときは、[再生／マイクオフ] ボタンを押してください。マイクがオフになっているときは、[ハンズフリー] ボタンが点滅します。こちらから話すときは、もう一度 [再生／マイクオフ] ボタンを押して、マイクをオンにしてから話をしてください。
◎受話器での通話中にハンズフリー通話に切り替えたいときは、[ハンズフリー] ボタンを押してから受話器を戻してください。
◎ハンズフリー通話中に受話器での通話に切り替えたいときは、受話器をとってください。
◎ハンズフリー通話中は、通話録音（P.63）はできません。

相手の声が聞き取りにくいときは（モニタ音量の調節）

モニタスピーカから聞こえる呼出音や相手の声が聞き取りにくいときは、[音量] ボタンで調節できます。モニタスピーカから音が出ているときに、[△]（大）ボタンを押すと音が大きくなり、[▽]（小）ボタンを押すと音が小さくなります。

モニタ音量は6段階に設定でき、左記のように表示されます。

モニタ音量の設定は、電話を切ってももとに戻りません。

モニタ音量

```
オンリョウ:- ■□□□□□ +
    ↓ ↑
オンリョウ:- ■■□□□□ +
    ↓ ↑
オンリョウ:- ■■■□□□ +
    ↓ ↑
オンリョウ:- ■■■■□□ +
    ↓ ↑
オンリョウ:- ■■■■■□ +
    ↓ ↑
オンリョウ:- ■■■■■■ +
```

ワンポイント

◎ベルの音量を調節することができます。⇨（P.42）

異常音（ハウリング音）がしたとき

ハンズフリー通話中に会話以外の「ピー」、「キー」等の異常音（ハウリング音）が聞こえたとき、またはモニタスピーカの音量が不安定になったときには、次のようにしてください。

・[▽]（小）ボタンを押してモニタスピーカの音量を小さくする
・相手が話をしているときは、[再生／マイクオフ] ボタンを押して、マイクをオフにする（こちらの声は相手に聞こえなくなります。こちらから話すときは、もう一度 [再生／マイクオフ] ボタンを押して、マイクをオンにしてから話をしてください。）

また、次のようなときは異常音（ハウリング音）が起こりやすくなりますのでご注意ください。

・モニタスピーカ、マイクに手などを近づけたとき
・反響音が大きい所に設置したとき
・相手から音声以外の信号（保留音、トーン信号等）が入ってきたとき

保留する

話をしている途中で、相手に待っていてほしいときに、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。

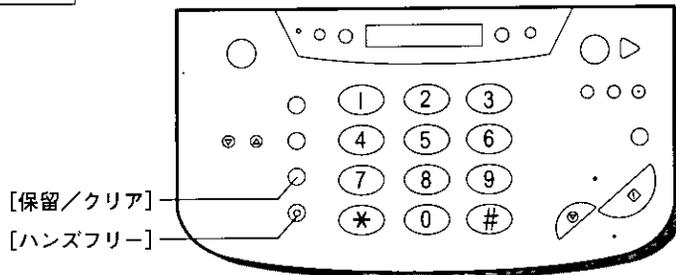
お願い
10分以上保留にしたままでいると、自動的に保留が解除され、電話は切れます。

ワンポイント
◎保留中は受話器を戻しても電話は切れません。

1 相手と話をします。

2 [保留／クリア]ボタンを押します。

ホリュウチュウ ♪♪

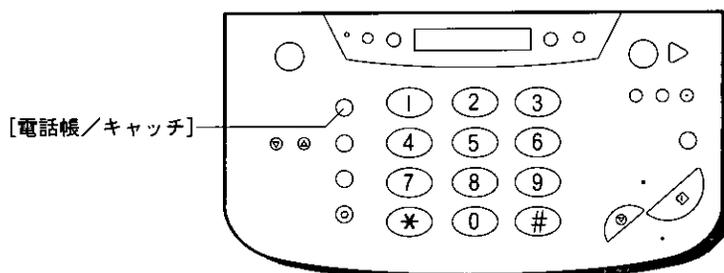
相手にはメロディ音（あなたが欲しい）が流れます。

もう一度話をしたいとき

受話器を戻したときは、受話器をとるとそのまま話ができます。受話器を戻していないときは、もう一度[保留／クリア]ボタンを押してください。
ハンズフリー通話中に保留にしたときは、[ハンズフリー] ボタンを押すと話ができます。

キャッチホンの利用

キャッチホンサービス（通話中着信サービス）は、NTTが行っているサービスのひとつで、電話で話をしているときでも、別の人からかかってきた電話をとることができるサービスのことです。

お願い

■キャッチホンを利用するには当社との契約が必要です。
■ファクシミリの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクシミリの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。
またこの場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホンサービスの異常ではありませんので、ご了承願います。
■キャッチホンⅡサービスをご利用になり、割り込み回数を「0」回に設定していただくと通信中にキャッチホンが入っても異常なく通信できます。
■通話中にキャッチホンサービスにより割り込まれた相手がファクシミリの場合は、そのファクシミリは受けられません。[電話帳／キャッチ]ボタンをもう一度押して先に通話していた方とお話ください。
なお、この場合はファクシミリを送られてきた相手の方は通信エラーとなってしまいます。また続けてファクシミリが送られてくることが考えられますので、早めに通話を終えられることをおすすめします。

1 相手と話をします。

2 キャッチホンの着信音が聞こえたら、[電話帳／キャッチ]ボタンを押します。

話をしているときに、別の人からの電話が入ると「プルルー・プップッ」という音が聞こえます。
[電話帳／キャッチ]ボタンを押すと、あとからかけてきた人と話ができます。初めに話していた人との電話は、保留になります（メロディ音は流れません）。

▶もう一度初めの人と話をしたいときは

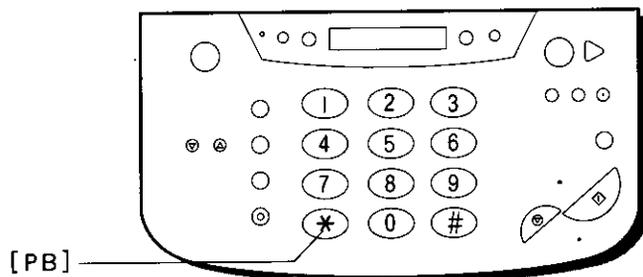
もう一度[電話帳／キャッチ]ボタンを押すと、初めに話していた人と話ができます。あとからかけてきた人の電話は保留になります。

お願い

キャッチホンが入っていないときに[電話帳／キャッチ]ボタンを押すと電話が切れてしまいます。

3 両方の用件が済んだら受話器を戻します。

ダイヤル回線でプッシュ信号を出す

プッシュホンサービスや、FAX情報サービスを利用して情報を取り出すためには、通常プッシュ信号「ピッポッパ」を使用します。
ダイヤル回線でご使用の場合でも、相手を呼び出したあとに[PB]ボタンを押すことにより、プッシュホンサービス(銀行ANSER、クレジット通話サービス、ポケットベルサービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御等)を利用することができます。

1 相手に電話をかけます。

2 [PB]ボタンを押します。

[PB]ボタンを押したあとダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が送られます。

〈例〉「123」の番号をプッシュ信号で送る場合

[PB]ボタンを押したあと、[1]、[2]、[3]ボタンを続けて押します。

お願い

停電時には、[PB]ボタンを押すと約3秒間のポーズ(空白時間)が入り、そのあとプッシュ信号が出せるようになります。
[PB]ボタンに続けて、ポーズ時間中(約3秒間)にダイヤルボタンを押した場合は、ポーズ時間経過後、ポーズ中に押されたダイヤルのプッシュ信号が自動的に出力されます。

自分専用の発信元名を付けて送る（マイネーム送信）

「発信元登録」（P.90）で登録したものとは違う自分専用の名前を付けて、ファクシミリを送ることができます。

［マイネーム］ボタンには、相手先の電話番号と相手先の名前、自分専用の発信元名（マイネーム）を登録することができます。［マイネーム］ボタンに登録した相手先へは、［マイネーム］ボタンを押すだけで、ファクシミリを送信したり、電話をかけたりすることができます。

お願い

■マイネーム送信する前に「マイネーム」の登録が必要です。登録のしかたはP.90をご覧ください。
■［マイネーム］ボタンに登録できる相手先は1カ所だけです。

1 原稿をセットします。

「原稿セットのしかた」⇨（P.27）

2 ［マイネーム］ボタンを押します。

3 ［スタート］ボタンを押します。

ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ

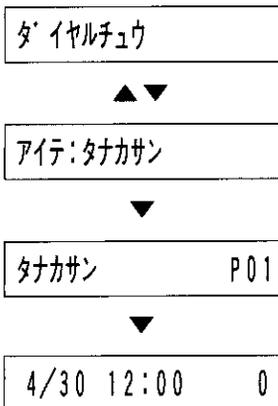
▲▼

ｱｲﾃ:ﾀﾅｶｻﾝ

▼

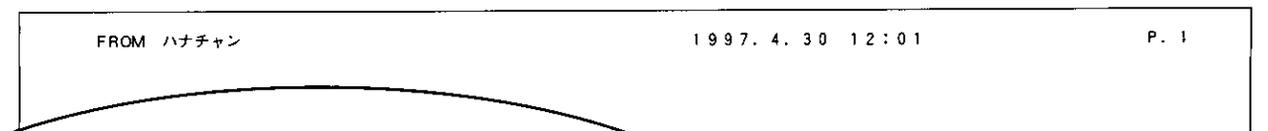
ﾀﾅｶｻﾝ　　P01

▼

4/30 12:00　　0

ワンポイント

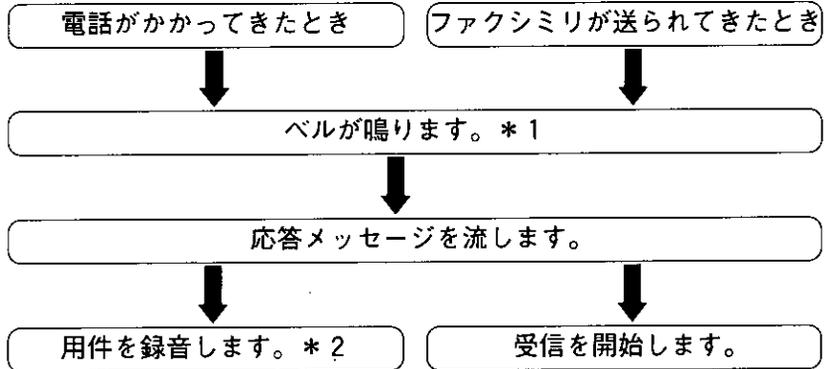
◎［スタート］ボタンを押さなくても、7秒後にダイヤルを始めます。
◎途中で送信をやめたいときは［ストップ］ボタンを押してください。
◎電話をかけるときは、受話器をとって［マイネーム］ボタンを押します。

▶マイネーム送信をしたときの相手先の記録紙のプリント例

（マイネームを「ハナチャン」と登録した場合）

留守番電話を使う

電話に出られないときでも、相手の用件を録音しておくことができます。ファクシミリが入ったときは自動的に受信します。

ワンポイント

◎相手先がファクシミリ信号（ポー・ポー・ポー…という音）を出さないファクシミリの場合は、自動的に受信できません。

＊1：留守番電話に用件が入っていないときは5回、用件が入っているときは2回ベルが鳴ります。（トールセイバ）⇨（P.64）
トールセイバが不要なときは、解除することもできます。⇨（P.68）

＊2：相手が話をしてからファクシミリを送ろうとしているときは、用件を録音したあとに相手が送信の操作をすると、続けてファクシミリを受信できます。

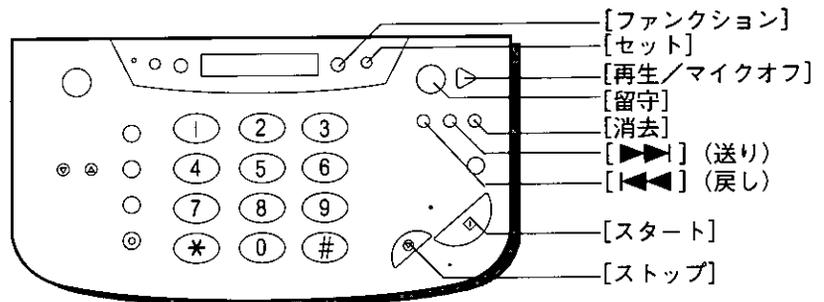
留守番電話のセット

留守番電話をセットすると、留守にしている間にかかってきた電話の用件を録音することができます。

ワンポイント

◎留守番電話には、最大で30件あるいは合計で約15分間（自分で録音した応答メッセージも含む）用件を録音できます。録音した用件の中に無音の時間が少ない場合は、録音時間が15分より短くなることがあります。

◎お好みの応答メッセージ（電話がかかってきたときに相手に流すメッセージ）を録音することができます。「留守番電話の応答メッセージを録音する」（P.58）をご覧ください。

第3章 自分専用の発信元名を付けて送る／留守番電話を使う

留守にするとき

オウトウメッセージ　コテイ

▼

ルスセッテイ　0

オウトウメッセージ　1

オウトウメッセージ　2

1 [留守]ボタンを押します。

留守番電話が設定されます。応答メッセージが流れ[留守]ボタン（赤色）が点灯します。留守番電話に用件が残っているとき、またはリモート取り出し用の文書が残っているときは、[留守]ボタンが点滅します。

▶自分で応答メッセージを録音しているとき

[留守] ボタンを押すと、「オウトウメッセージ　1」と表示され、録音されている応答メッセージが流れます。

応答メッセージを2種類録音しているときは［⏮］ボタン、［⏭］ボタンを押して、応答メッセージを選択します。

応答メッセージの録音のしかたはP.58をご覧ください。

ワンポイント

◎用件が残っているとき、またはリモート取り出し用の文書が残っているときは[留守]ボタンが点滅します。

ヨウケンガ　イッパイデス

◎次のようなときは「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。」と聞こえ、[留守]ボタンを押しても留守番電話の設定ができません。用件を消去してから留守設定してください。⇨ (P.61)
- 録音できる時間の残りが20秒以下のとき
- すでに用件が30件入っているとき

◎次のようなときは、応答メッセージに続き、「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください。」と聞こえ、[留守]ボタンが点滅します。
- 録音できる時間の残りが21秒以上2分以下のとき
- 用件が27件～29件入っているとき

用件録音はできますが、すぐに用件がいっぱいになってしまいます。

▶留守中に電話やファクシミリがあったとき

留守中に電話がかかってくると、相手に「ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方はそのまま送信してください。」というメッセージを流します。ご自分で応答メッセージを録音した場合は、録音されている応答メッセージを流します。電話のときはメッセージが終わると相手の用件を録音します。ファクシミリのときは自動的に受信します。

ワンポイント

◎相手の用件は1件につき3分間録音できます。録音時間が3分になると、相手に「ピー」という音を流し電話を切ります。

▶用件がいっぱいになったとき

用件が30件になったとき、または録音時間の合計が15分以上になったときは、「ただいま留守にしております。ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますがのちほどおかけなおしください。」というメッセージを流します（ご自分で応答メッセージを録音している場合でも、録音された応答メッセージではなく、このメッセージを流します）。この場合、用件の録音はできません。ファクシミリは受信できます。

ワンポイント

◎録音した用件の中に無音の時間が少ない場合は、録音時間が15分より短くても、用件の録音ができなくなることがあります。

◎用件を録音するためのメモリと、受信した文書などを記録するメモリは同じものです。そのためメモリ内に受信文書などが残っていると録音できる用件が少なくなってしまいます。こまめに用済みの用件を消去したり、メモリ内の受信文書をプリントしてください。

応答メッセージ

留守番電話を留守の設定にしてあるときに電話がかかってくると、次のいずれかの応答メッセージを流します。

通常	「ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方はそのまま送信してください。」
	ご自分で応答メッセージを録音しているとき（P.58）は、録音したメッセージ
用件は録音できないが、ファクシミリの受信はできるとき	「ただいま留守にしております。ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますがのちほどおかけなおしください。」
用件は録音できるが、ファクシミリの受信はできないとき	「ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は、恐れ入りますがのちほどおかけなおしください。」
用件の録音も、ファクシミリの受信もできないとき	「ただいま留守にしております。恐れ入りますがのちほどおかけなおしください。」

帰宅したとき

ﾙｽｾｯﾃｲ　5

ワンポイント

◎留守中に用件を録音したときは[留守]ボタンが点滅し、用件件数がディスプレイに表示されます。

1 [留守]ボタンを押します。

留守番電話が解除されます。[留守]ボタンが消灯します。

▶留守中に電話がなかったとき

「用件はありません。」というメッセージが流れます。

▶留守中に電話があったとき

ｻｲｾｲﾁｭｳ　1/ 5
▼
ｻｲｾｲﾁｭｳ　2/ 5
⋮
ｻｲｾｲﾁｭｳ　5/ 5
▼
ｻｲｾｲｼｭｳﾘｮｳ***・・・
▼
4/30 12:00　5

留守設定中に用件を録音したときは[留守]ボタンが点滅し、録音した用件の数をディスプレイに表示します。
[留守]ボタンを押すと「用件は〇〇件です。」というメッセージを流し、かかってきた順に用件を再生します。
1件再生するごとに、用件を録音した(電話がかかってきた)月日および時間を流します(この機能をタイムスタンプといいます)。
用件を全部再生し終わると、「用件は以上です。」というメッセージを流します。

ワンポイント

◎用件は新しいものから順に再生するように設定することもできます。「用件の再生順序の設定」（P.62）をご覧ください。

お願い

タイムスタンプ機能で正確な時間を記録するために、時刻を正しくセットしておいてください。「日付／時刻」の登録のしかたはP.92をご覧ください。

留守番電話の応答メッセージを録音する

電話をかけてきた相手に自分の声で応答メッセージを流したいときは応答メッセージを録音します。応答メッセージは2種類まで録音でき、何度でも録音しなおすことができます。

ワンポイント

◎留守設定中でも応答メッセージの録音、消去ができます。

応答メッセージを録音する

キノウセンタク シテクダ゛サイ
▼
ルスデ゛ンキノウ

1 [ファンクション]ボタンを押してから[5]ボタンを押します。

留守電機能モードになります。

お願い
ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。

ヨウケン ショウキョ

2 [セット]ボタンを押します。

オウトウメッセージ゛ ロクオン

3 [ファンクション]ボタンを押します。

応答メッセージ録音になります。

オウトウメッセージ゛ 1

4 [セット]ボタンを押します。

オウトウメッセージ゛ 2
▼
スタート ヲ オシテクダ゛サイ

5 応答メッセージを［⏮］ボタン、［⏭］ボタンで選び、［セット］ボタンを押します。

ロクオンチュウ 20"

6 [スタート]ボタンを押して応答メッセージを録音します。

マイクに向かって応答メッセージを吹き込みます。最大20秒まで録音できます。残りの録音可能時間(20"、19"…0")を表示します。

〈例〉 応答メッセージの例

「はい○○です。ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとに、お名前とご用件をお話ください。約3分間録音できます。ファクシミリの方は送信してください。」

ワンポイント

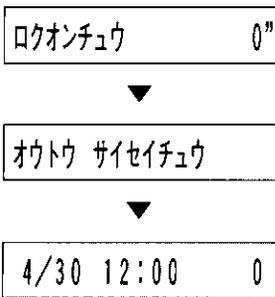
◎マイクは本機前面の右寄りにあります。ほかの音を入れないようにして、20cm程度に近づいてお話ください。最大20秒まで録音できます（ディスプレイに残りの秒数が表示されます)。メモリの残量が少なくて20秒まで録音できないときは、「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。」と聞こえ、ディスプレイに「ヨウケンガ イッパイデス」と表示され、録音できません。不要な用件を消去してから録音してください。⇨ (P.61)

◎受話器から録音することはできません。

お願い

■「ファクシミリの方は送信してください。」等、ファクシミリを受信できることを知らせるメッセージも録音しておいてください。

■マイクは、人間の声の音域に合わせた設定になっています。メッセージといっしょに音楽を録音することはおすすめできません。

ﾛｸｵﾝﾁｭｳ　　0"
▼
ｵｳﾄｳ ｻｲｾｲﾁｭｳ
▼
4/30 12:00　　0

7 応答メッセージを録音し終わったら［ストップ］ボタンを押します。

「ピー」という音がして録音が止まります。録音した応答メッセージを再生します。再生が終わると「ピー」という音がします。これで応答メッセージの録音は終わりです。

お願い
録音中に電話がかかってきたときは録音を中断します。この場合やりかけの録音は無効になりますので、もう一度はじめからやりなおしてください。

ワンポイント
◎［ストップ］ボタンを押さなくても20秒経過すると録音が止まります。メッセージを短くしてはじめから録音しなおしてください。
◎再生の途中で［ストップ］ボタンを押すと再生が止まります。
◎録音しなおすときはもう一度はじめからやりなおしてください。
録音しなおすと、前に録音した応答メッセージは消去されます。

応答メッセージを消去する

録音した応答メッセージを消去します。

ワンポイント
◎本機にはじめから用意されている応答メッセージを消すことはできません。

ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
▼
ﾙｽﾃﾞﾝｷﾉｳ

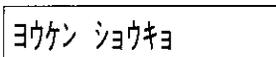
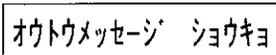
1 ［ファンクション］ボタンを押してから［5］ボタンを押します。

留守電機能モードになります。

お願い
ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。

ﾖｳｹﾝ ｼｮｳｷｮ

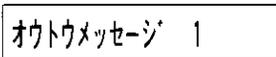
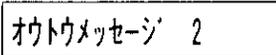
2 ［セット］ボタンを押します。

ｵｳﾄｳﾒｯｾｰｼﾞ ｼｮｳｷｮ

3 ［ファンクション］ボタンを2回押します。

応答メッセージ消去になります。

ｵｳﾄｳﾒｯｾｰｼﾞ 1

4 ［セット］ボタンを押します。

ｵｳﾄｳﾒｯｾｰｼﾞ 2
▼
4/30 12:00　　0

5 応答メッセージを［⏮］ボタン、［⏭］ボタンで選び、［セット］ボタンを押します。

「消去しました。」と聞こえます。これで応答メッセージの消去は終わりです。

ワンポイント
◎途中で消去をやめたいときは、［ストップ］ボタンを押してください。

第3章 留守番電話を使う

用件の再生

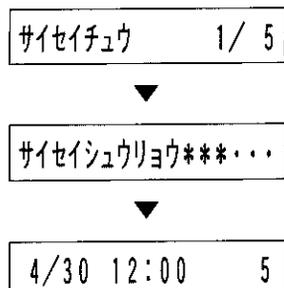
録音した用件は、何回でも繰り返し聞くことができます。

サイセイチュウ　1/ 5

▼

サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

▼

4/30 12:00　5

1 [再生／マイクオフ]ボタンを押します。

録音されている用件の数をディスプレイに表示します。[再生／マイクオフ] ボタンを押すと「用件は○○件です。」というメッセージを流します。メッセージを流したあとに、再生順序の設定による順に用件を再生します。用件を全部再生し終わると、「用件は以上です。」というメッセージを流します。

ワンポイント

◎留守番電話を設定している場合でもそのまま再生できます。

再生中の操作

用件をとばして再生したり、再生中の用件を初めから聞きなおしたりできます。

ボタン	留守番電話の動き
再生／マイクオフ	用件を再生します。 再生中に押すと、高速で再生します。 高速再生中に押すと、通常の再生速度に戻ります。
▶▶| (送り)	再生中に１回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
|◀◀ (戻し)	再生中に１回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて２回押すと、１つ前の用件を再生します。
ストップ	再生を止めます。[ストップ]ボタンを押してから、もう一度[再生／マイクオフ]ボタンを押すと、１件目から再生します。

用件の消去

録音した用件は消去しない限り残っています。用済みになった用件は消去してください。用件は一度にすべて消すことも、特定の用件だけを選んで消すこともできます。

用件をすべて聞いてから消去する

```
サイセイチュウ      1/ 5
```

⋮

```
サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・
```

```
4/30 12:00      0
```

1 用件を再生します。

用件の再生が終わると、「用件は以上です」というメッセージが聞こえたあと、「サイセイシュウリョウ＊＊＊…」と6秒間表示します（1秒ごとに＊の表示が増えていきます）。

2 [消去]ボタンを押します。

「サイセイシュウリョウ＊＊＊…」と表示されている間に[消去]ボタンを押します。再生済みの用件をすべて消去します。「再生済みの用件を消去しました。」というメッセージが流れます。

お願い

- ■[▶▶|]（送り）ボタンでとばしてしまい、一度も再生されなかった用件は消去されません（最後まで聞き終わらなくても、少しでも再生した用件は消去されます）。すべての用件を聞いてから消去してください。
- ■一度も再生していない用件もすべて消去したいときはこのあとの「全用件消去」をご覧ください。

特定の用件を消去する

```
サイセイチュウ      1/ 5
```

▼

```
サイセイチュウ      2/ 5
```

```
4/30 12:00      4
```

1 用件を再生します。

2 [消去]ボタンを押します。

消去したい用件を再生している間に、[消去]ボタンを押します。その用件を再生し終わると、「消去しました。」と聞こえ、その用件だけを消去します。

全用件消去

録音されている用件をすべて一度に消去できます。

```
キノウセンタク シテクダ゛サイ
```

▼

```
ルスデ゛ンキノウ
```

1 [ファンクション]ボタンを押してから[5]ボタンを押します。

留守電機能モードになります。

お願い

ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。

ﾖｳｹﾝ ｼｮｳｷｮ
▼
4/30 12:00 0

2 [セット]ボタンを2回押します。

「消去しました。」と聞こえます。

ワンポイント
◎途中で消去をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

用件の再生順序の設定

留守番電話に録音された用件を録音した順に再生するか、新しいものから順に再生するかを設定できます。留守番電話の用件を外出先から聞く（P.64）ときなどは新しいものから順に再生するように設定すると、同じ用件を繰り返し聞かなくて済みます。お買い求めいただいたときは、録音した順に再生するように設定されています。

ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
▼
ﾙｽﾃﾞﾝｷﾉｳ

1 [ファンクション]ボタンを押してから[5]ボタンを押します。

留守電機能モードになります。

お願い
ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。

ﾖｳｹﾝ ｼｮｳｷｮ

2 [セット]ボタンを押します。

ｻｲｾｲ OLD → NEW

3 [ファンクション]ボタンを3回押します。

再生順序の設定になります。

ｻｲｾｲ NEW → OLD
▼
ｶﾝﾘｮｳ
▼
4/30 12:00 0

4 再生順序を[⏮]ボタン、[⏭]ボタンで選び、[セット]ボタンを押します。

これで再生順序の設定は終わりです。

▶録音した順に再生したいとき
「OLD→NEW」を選び[セット]ボタンを押します。

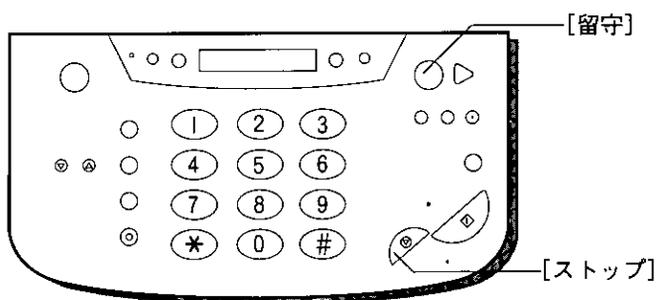
▶新しいものから順に再生したいとき
「NEW→OLD」を選び[セット]ボタンを押します。

ワンポイント
◎途中で消去をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

通話中の会話を録音する(通話録音)

通話中の会話を録音することができます。通話中にちょっとメモをとりたいときなどにご利用ください。

◎1件ごとの録音可能時間に制限はありません。メモリがいっぱいになるまで、または30件まで録音できます。
◎留守番電話の用件が30件録音されているとき、または残りの録音可能時間が20秒以下のときは、通話録音できません。
◎通話録音するメモリと留守番電話の用件、ハンドスキャナ使用時の送信文書および受信した文書などを記録するメモリは同じものです。そのためメモリ内に受信文書などが残っていると録音できる時間が少なくなってしまいます。こまめに用済みの用件を消去したり、メモリ内の受信文書をプリントしてください。

お願い
ハンズフリー通話中(P.49)は、通話録音をすることはできません。

ﾂｳﾜ ﾛｸｵﾝ ﾁｭｳ

1 相手と話をしている途中で[留守]ボタンを押します。

「ピー」という音がして、録音を開始します。

ワンポイント
◎相手にも「ピー」という音が聞こえます。

ﾂｳﾜｼﾞｶﾝ　　0' 35"

2 録音をやめるときは、[ストップ]ボタンを押します。

4/30 12:00　　1

3 用件が済んだら、受話器を戻します。

▶録音の途中でメモリがいっぱいになったとき
録音の途中でメモリがいっぱいになると、「メモリがいっぱいです。」というメッセージが流れ、ディスプレイに「メモリガ　イッパイデス」と表示されます。メモリがいっぱいになると録音を中断します。

通話録音した会話の再生と消去

通話録音した内容は、留守番電話に録音した用件と同じように何度でも繰り返し聞き直したり消去したりすることができます。再生や消去のしかたは留守番電話の用件のときと同じです。
「用件の再生」(P.60)、「用件の消去」(P.61)をご覧ください。

外出先の電話機やファクシミリから操作する

外出先の電話機から留守番電話に録音された用件などを聞いたり、留守中に受信した文書を外出先のファクシミリで取り出したりすることができます。

トールセイバ機能について

外出先から電話をかけ、呼出音の回数で留守番電話に用件が入っているかを確認することができます。
用件が1件も入っていないときは、呼出音が5回鳴ってから応答メッセージが流れます。用件が入っているとき、またはリモート取り出し文書が受信されているときは、呼出音が2回鳴ると応答メッセージが流れます。
呼出音が3回鳴ったときは、用件が入っていませんので3回目の呼出音を聞いてから電話を切れば通話料金がかかりません。
トールセイバが不要なときは、解除することもできます。⇨ (P.68)

お願い

- ■留守番電話を留守設定にしていないときはこの機能は使えません。
- ■確認するための呼出音の回数は変更できません。
- ■プッシュホンまたはプッシュ信号「ピッポッパ」の出せる電話機からかけてください。

外出先から留守番電話の用件を聞く（リモート操作）

お願い

リモート操作するには、あらかじめ設定とリモートパスワードの登録が必要です。⇨ (P.92)

1 [留守]ボタンを押してから外出します。

[留守] ボタンが点灯します。

2 外出先から電話をかけます。

電話がつながると応答メッセージが流れます。

3 [#]ボタンを押します。

応答メッセージが止まることを確認します。

4 リモートパスワード(4桁)を入れ、[#] ボタンを押します。

〈例〉 パスワードが6231の場合
[#]、[6]、[2]、[3]、[1]、[#]ボタンを押します。

「パスワードが一致しました。」と聞こえ、続けて以下のメッセージが聞こえます。

用件も受信文書もないとき　　：「用件はありません。」
用件があり受信文書はないとき：「用件は○件です。」
用件はなく受信文書があるとき：「受信文書は○件です。」
用件も受信文書もあるとき　　：「用件は○件です。受信文書は○件です。」

お願い

■パスワードは応答メッセージが終わったあと、7秒以内に入れてください。
■「パスワードを入れなおしてください。」と聞こえたときはパスワードを入れなおしてください。3回入力しても正しいパスワードであると判定されなかったときは、電話が切れます。

▶留守設定しないで外出したときは

ファクシミリが着信し、「お呼び出しいたしますのでしばらくお待ちください。」のメッセージが流れている間にパスワードを入れてください(お買い求めいただいたときはベルが6回鳴った後に流れます)。パスワードが一致すると留守設定となり「留守設定をしました。」と聞こえます。

5 操作コードをダイヤルボタンで入れます。

〈例〉 用件の再生の場合

[#]、[2]、[#] ボタンを押します。

本機は操作コードに対応した動作をします。操作コードについては「リモート操作コード表」(P.67)をご覧ください。

お願い

■用件が録音されている場合は、操作コードを入れなくてもパスワードを入れたあと2秒経つと用件の古い順に自動的に再生します。再生以外の操作をしたいときは、パスワードを入れてから2秒以内に操作コードを入れてください。
■再生終了後何もしないで20秒経過すると電話が自動的に切れます。

ワンポイント

◎リモート操作コード表にない操作コードを入れると、「操作コードを入れなおしてください。」と聞こえます。正しい操作コードを入れなおしてください。
◎新しいものから順に用件を再生することもできます。「用件の再生順序の設定」(P.62)をご覧ください。
◎リモート操作で用件を聞いても、留守番電話の用件は消去されません。

6 用件が済んだら、電話を切ります。

これでリモート操作は終わりです。

外出先のファクシミリで受信文書を取り出す(リモート取り出し)

お願い

■リモート取り出しするには、あらかじめ設定とリモートパスワードの登録が必要です。⇨ (P.92)
■リモート取り出しをするように設定すると、留守設定中に入ったファクシミリは、プリントせずにメモリに記憶されます。
■プッシュホンまたはプッシュ信号「ピッポッパ」の出せるファクシミリからかけてください。

1 [留守]ボタンを押してから外出します。

[留守]ボタンが点灯します。

2 外出先のファクシミリから電話をかけます。

電話がつながると応答メッセージが流れます。

3 [#]ボタンを押します。

応答メッセージが止まることを確認します。

4 リモートパスワード（4桁）を入れ、[#] ボタンを押します。

〈例〉パスワードが6231の場合
[#]、[6]、[2]、[3]、[1]、[#]ボタンを押します。

「パスワードが一致しました。」と聞こえ、続けて以下のメッセージが聞こえます。

用件も受信文書もないとき　　：「用件はありません。」
用件があり受信文書はないとき：「用件は○件です。」
用件はなく受信文書があるとき：「受信文書は○件です。」
用件も受信文書もあるとき　　：「用件は○件です。受信文書は○件です。」

お願い

■パスワードは応答メッセージが終わったあと、7秒以内に入れてください。
■「パスワードを入れなおしてください。」と聞こえたときはパスワードを入れなおしてください。3回入力しても正しいパスワードであると判定されなかったときは、電話が切れます。

▶ 留守設定しないで外出したときは

ファクシミリが着信し、「お呼び出しいたしますのでしばらくお待ちください。」のメッセージが流れている間にパスワードを入れてください（お買い求めいただいたときは、ベルが6回鳴った後に流れます)。
パスワードが一致すると留守設定となり「留守設定をしました。」と聞こえます。

5 [#]、[0]、[#]ボタンを押します。

「送信します。スタートボタンを押してください。」と聞こえます。
受信文書がない場合は、「送信する文書がありません。」と聞こえます。

▶ 「リモート取り出しする」に設定していないときは

[#]、[0]、[#] ボタンを押すと「リモート取り出しする」に設定されます。
設定されると、「リモート取り出しを設定しました。」と聞こえます。

ワンポイント

◎リモート取り出しするに設定しないで外出（留守設定）した場合、留守中に入ったファクシミリはプリントされ、あとからリモート取り出しすることはできません。

6 外出先のファクシミリの通信スタートボタンを押し、受話器を戻します。

受信を開始します。これでリモート取り出しは終わりです。

ワンポイント

◎外出先で受信文書を取り出すと、メモリ内の受信文書は消去されます。

リモート操作コード表

「リモート操作」(P.64)の手順4の操作で次の表のコードを入力すると、操作コードに対応した動作をします。外出時には、付録の「リモート操作カード」をご利用ください。

ワンポイント

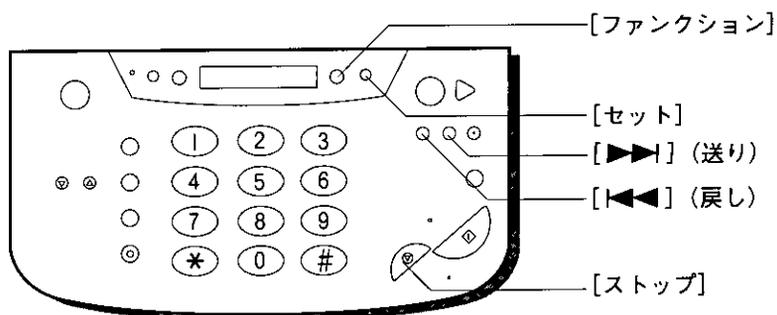
◎再生を中止するときは、[#] ボタンを押します。

項目	操作コード	本体の動き
用件再生	＃２＃	用件を再生します。 再生中に[＃]、[２]、[＃]を押すと、高速で再生します。 高速再生中に[＃]、[２]、[＃]を押すと、通常の再生速度になります。
戻し	＃１＃	１つ前の用件を再生します。
送り	＃３＃	次の用件を再生します。続けて [＃]、[３]、[＃] を押すと、さらに次の用件を再生します。
用件消去	＃８＃	再生中に[＃]、[８]、[＃]を押すと、「消去しました。」というメッセージを流し、その用件だけを消去します。 すべての用件を再生し「用件は以上です。」と聞こえたあと、「ピッピッピッピッピッピッピッ」という音がしている間に[＃]、[８]、[＃]を押すと、「再生済みの用件を消去しました。」というメッセージを流し、再生済みの用件を全部消去します。
用件転送設定	＃６１＃	「用件転送を設定しました。転送先は×××です。」というメッセージを流し、用件転送を設定します。転送先を登録していないときは「用件転送は使用できません。」というメッセージを流します。この場合、用件転送の設定はできません。
用件転送解除	＃６２＃	「用件転送を解除しました。」というメッセージを流し、用件転送を解除します。
留守設定	＃７＃	「留守設定をしました。」というメッセージを流し、留守設定します。
留守設定解除	＃９＃	「留守設定を解除しました。」というメッセージを流し、留守設定を解除します。
リモート取り出し	＃０＃	リモート取り出しの設定をしてあるときは、「送信します。スタートボタンを押してください。」というメッセージを流します。ここで外出先のファクシミリの通信スタートボタンを押すと送信を開始します。 リモート取り出しの設定をしていないときは「リモート取り出しを設定しました。」というメッセージを流し、リモート取り出しを設定します。

トールセイバの設定

トールセイバをするかしないかを設定することができます。お買い求めいたただいたときは、「トールセイバする」に設定されています。

ワンポイント

◎「手動受信モード」に設定されているときは、「トールセイバしない」に設定すると留守設定しても留守番電話が着信しません。「手動受信モード」で使うときは、「トールセイバする」に設定してください。
◎「トールセイバしない」に設定すると、相手先のファクシミリが自動送信の場合、着信ベルの回数を10回以上に設定すると、自動的にファクシミリを受信できないことがあります。
◎「トールセイバしない」に設定すると、用件の有無に関係なく、「着信ベル回数」（P.94）で設定した回数（お買い求めいただいたときは6回）ベルが鳴ります。
◎「無鳴動着信」（P.94）を「する」に設定しているときは、ベル6回で着信します。

キノウセンタク シテクダ゛サイ

1 [ファンクション]ボタンを押します。

お願い
ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。

ルスデ゛ンキノウ

2 [5]ボタンを押します。

ヨウケン ショウキョ

3 [セット]ボタンを押します。

トールセイバ゛ O<u>X</u>

4 [ファンクション]ボタンを4回押します。

カンリョウ
▼
4/30 12:00 0

5 トールセイバする(○)、しない(×)を[|◀◀]ボタン、[▶▶|]ボタンで選び、[セット]ボタンを押します。

ワンポイント

◎途中で設定をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

電話やファクシミリを外出先に転送する（用件転送／受信文書転送）

留守番電話に録音された用件や留守中に送られてきたファクシミリを外出先の電話機やファクシミリに転送し、外出先で転送された用件を聞いたり（用件転送）、ファクシミリを受信したり（受信文書転送）することができます。また、用件を聞いたあと続けてファクシミリを受信することもできます。

お願い

■留守番電話に録音された用件を転送するには、あらかじめ転送先の登録（P.92）およびリモート操作の設定／リモートパスワードの登録（P.92）が必要です。電話のときだけ転送したいときは、リモート取り出し（P.92）を「しない」に設定してください。

■受信文書を転送するには、あらかじめ転送先の登録（P.92）およびリモート操作／リモート取り出しの設定／リモートパスワードの登録（P.92）が必要です。ファクシミリのときだけ転送することはできません。

■プッシュホンまたは、プッシュ信号「ピッポッパ」の出せる電話機に転送してください。

■ダイヤル回線の電話機またはファクシミリに転送した場合は、プッシュ信号が出せるように操作してください。

■録音された用件が6秒より短いときは、用件を転送しません。

ﾙｽｾｯﾃｲ & ﾃﾝｿｳ　0

1 [留守]ボタンを押してから外出します。

[留守]ボタンが点灯します。

2 転送先として登録した電話機のベルが鳴ったら受話器をとります。

「用件転送をします。パスワードを入れてください。」と繰り返し聞こえます（メッセージが途中から聞こえることがあります）。

ワンポイント

◎「用件転送をします。パスワードを入れてください。」とメッセージを流している間に、パスワードが入らないときは自動的に電話を切ります（最大6回までメッセージを流します）。

◎用件が録音されてから転送するまでの間に、停電等で本機の電源が切れた場合は用件転送を行いません。

▶転送先が話中のときは

3分間隔で2回まで自動的にかけなおします。2回かけなおしてもつながらなかったときは、用件転送を行いません。

ワンポイント

◎転送先が話中で、自動的にかけなおそうとして待機している間に別の用件を録音したときは、最初に録音した用件の残りの回数分だけ用件転送を行います。この場合、転送先とつながると、録音済みのすべての用件を転送します。

3 [#]ボタンを押します。

メッセージが止まることを確認します。

4 リモートパスワード(4桁)を入れ、[#] ボタンを押します。

〈例〉パスワードが6231の場合
[#]、[6]、[2]、[3]、[1]、[#]ボタンを押します。

▶用件転送のとき

「パスワードが一致しました。用件は○件です。」と聞こえたあと録音された用件を再生します。再生済みの用件も再生されます。用件を聞きなおしたいときは、続けてリモート操作をしてください。リモート操作コードについては、「リモート操作コード表」(P.67)をご覧ください。

▶受信文書転送のとき

「パスワードが一致しました。受信文書は○件です。」と聞こえます。相手が用件を録音してからファクシミリを送信した場合は、「パスワードが一致しました。用件は○件です。受信文書は○件です。」と聞こえたあと録音された用件を再生します。用件再生が終わると「用件は以上です。」と聞こえます。

お願い

■パスワードは「用件転送をします。パスワードを入れてください。」というメッセージが終わったあと、3秒以内に入れてください。
■「パスワードを入れなおしてください」と聞こえたときはパスワードを入れなおしてください。3回入力しても正しいパスワードであると判定されなかったときは、電話が切れます。

5 用件転送のとき（用件だけを聞くとき）は、電話を切ります。受信文書転送のときは、[#]、[0]、[#] ボタンを押します。

「送信します。スタートボタンを押してください。」と聞こえます。

6 外出先のファクシミリの通信スタートボタンを押し、受話器を戻します。

受信を開始します。これで受信文書転送は終わりです。

ワンポイント

◎文書転送が終了すると、その文書はメモリから消去されます。
◎帰宅したときに、転送されていない文書が残っているときは、留守設定を解除すると自動的にプリントします。
◎留守設定を解除すると、転送の設定も自動的に解除されます。

▶ポケットベルを呼び出すには

ご自分のポケットベルの番号を転送先として登録しておくと、留守中に電話やファクシミリがあったことをポケットベルで知ることができます。

お願い

■ポケットベルを呼び出すには、あらかじめ転送先の登録が必要です。⇨ (P.92)
■ポケットベルを呼び出したいときは、留守番電話を留守設定にしておいてください。
■ディスプレイ付のポケットベルを転送先として登録して、メッセージ(ダイヤル番号)を表示させることもできます。⇨ (P.92)

おやすみモードを利用する

電話やファクシミリが入ったときのベルを鳴らしたくないときや、ファクシミリの動作音が気になるときはおやすみモードを利用します。おやすみモードにすると、留守番電話が留守設定になります。ファクシミリが入るとメモリに記憶します。おやすみモードはタイマで時間設定すること（おやすみモードタイマ切替）もできます。

お願い
- ■おやすみモードにしていると、相手が電話であってもファクシミリであっても、ベルを鳴らさずに着信します。このため緊急の用件で電話があった場合も、こちらではわかりませんのでご注意ください。
- ■メモリ容量が残り少ないときに、メモリ残量を超える文書が送られてくると、受信できないことがあります。更にメモリ容量が残り少なくなると、メモリに記憶しないでプリントします。

ワンポイント
◎おやすみモードにするとモニタスピーカからは着信ベル、留守電着信時のモニタ、受信終了時の「ピー」という音などが聞こえなくなります。

おやすみモードにする

ﾙｽｾｯﾃｲ　　0

1 [おやすみ]ボタンを押します。

[おやすみ] ボタン (緑色) と [留守] ボタン (赤色) が点灯します。

ワンポイント
◎電話がかかってくるとベルが鳴らないで、[おやすみ]ボタンが点滅します。
◎ファクシミリを受信すると、メモリランプ(緑色)が点灯します。

おやすみモードの解除

1 [おやすみ]ボタンを押します。

おやすみモードが解除され、[おやすみ] ボタンが消灯します。用件が録音されているときは用件を再生します。ファクシミリが入っているときは、メモリ内の受信文書をプリントします。留守設定したあとに、おやすみモードにしたときは、おやすみモードを解除しても、留守設定は解除されません。

▶ [留守]ボタンが点滅しているときは

[留守] ボタンを押して留守設定を解除してください。用件を再生します。

ワンポイント
◎[留守]ボタンを押すとおやすみモードと留守番電話の両方の設定が解除されます。

おやすみモードタイマ切替の利用

おやすみモードにする時間帯を登録しておく (P.90) と、自動的に毎日同じ時間帯におやすみモードに切り替えることができます。おやすみモード開始と終了の時刻を別々に登録できます。開始の時刻だけを登録したときは、[おやすみ] ボタンを押して、おやすみモードを解除してください。

ワンポイント
◎お買い求めいただいたときは、おやすみモードタイマ切替は行わない設定になっています。
◎おやすみモードのタイマ設定をすると、留守設定中でも時間になるとおやすみモードに切り替わります。
◎あらかじめ留守設定されていたときは、おやすみモードが解除されても留守設定は解除されません。
◎次のような場合は、おやすみモードをタイマで解除すると留守番電話が留守設定になります。
- ・留守設定してからおやすみモードにしたとき
- ・おやすみモード中に用件を録音したとき
- ・リモート取り出し用の文書をメモリに受信したとき

ハンドスキャナを使う

本などの綴じられた原稿や厚すぎて原稿挿入口にセットできない原稿でも、ハンドスキャナを使ってコピーや送信をすることができます。
原稿の読み取りは、コピー（送信）したい部分をなぞるようにハンドスキャナを手で移動して行います。
原稿のサイズに合わせて読み取り幅を変更したり、コピー（送信）の倍率を変更したりすることができます。

お願い

法律によりコピーが禁じられているものもあります。以下のようなもののコピーには注意してください。

■法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）
貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙等（以上外国で発行されたものを含む）

■著作権のあるもの
書籍、楽譜、絵画、版画、地図、図面、映画、写真等

■その他注意を要するもの
民間発行の有価証券、パスポート、免許証、身分証明書、食券、定期券、回数券等

ハンドスキャナを外す、戻す

ハンドスキャナを本機から外す

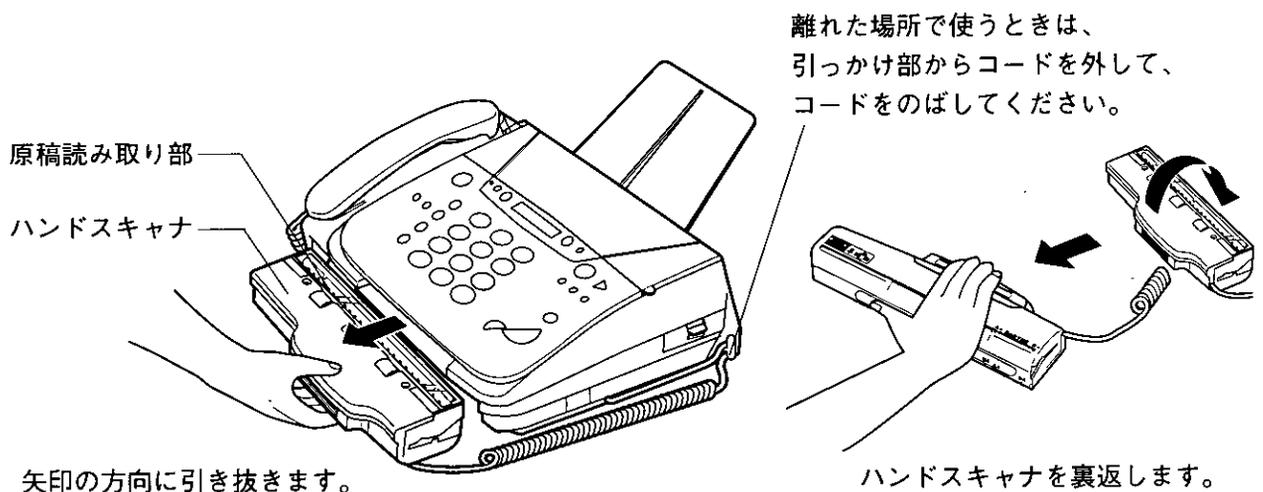
図の矢印の方向に引き抜いてください。

お願い

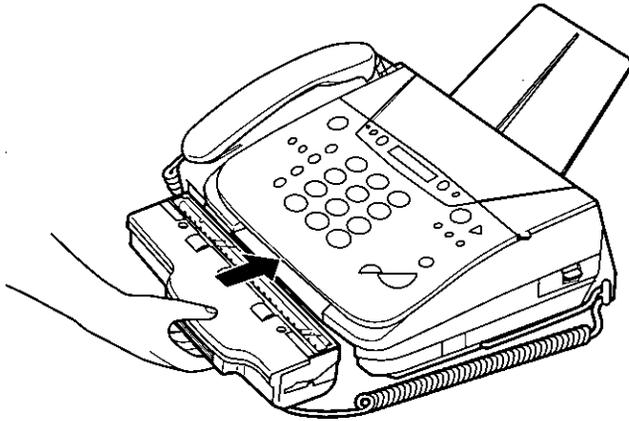
■ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないように注意してください。
■ハンドスキャナは、本機に装着されているときは、本機の原稿読み取り部としてはたらきます。使用しないときはハンドスキャナを本機に戻してください。
■ハンドスキャナの裏側には原稿読み取り部があります。原稿読み取り部には手を触れないようにしてください。
■原稿読み取り部はいつもきれいにしておいてください。詳しくは「ハンドスキャナ（原稿読み取り部とローラ）の清掃」（P.18）をご覧ください。

矢印の方向に引き抜きます。

離れた場所で使うときは、引っかけ部からコードを外して、コードをのばしてください。

ハンドスキャナを裏返します。

ハンドスキャナを本機に戻す

矢印の方向にカチッと音がするまで押し込んでください。

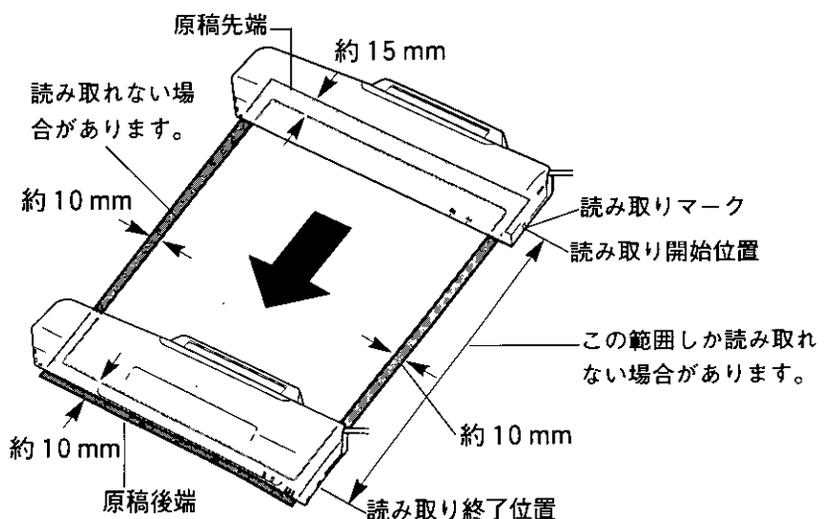
お願い
ハンドスキャナを本機に戻すときは、ハンドスキャナのコードをはさまないように注意してください。断線の原因になることがあります。

ハンドスキャナで原稿を読み取るときの注意

▶ハンドスキャナで読み取れる原稿のサイズ

	コピー	送信
最大読み取り幅	250 mm（B4 サイズ）	250 mm（B4 サイズ）
最大読み取り長さ	無制限	370 mm（標準的な原稿）（原稿の色や文字の量、文字の大きさの指定によって変わります。）

お願い
送信するときに、メモリ内に留守番電話の用件や受信文書があると、読み取れる長さが短くなります。

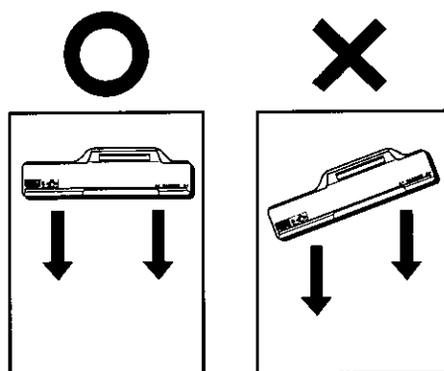
▶原稿の読み取り

原稿の先端から後端までハンドスキャナを動かした場合、原稿の読み取り開始約 15 mmと、読み取り終了および原稿の左右約 10 mmは読み取れない場合があります。

第3章 ハンドスキャナを使う

▶ 読み取り方向(ハンドスキャナを動かす方向)

ハンドスキャナは読み取り方向にまっすぐ動かしてください。斜めに動かすとうまく読み取れません。

ワンポイント

◎ハンドスキャナを通常の読み取り方向と逆に動かすと、鏡に写したときのように左右が逆になったものがコピーされます。

▶ 読み取りをおすすめできない原稿

ハンドスキャナを使うと色々なものをコピーしたり送信したりできますが、次のような原稿には使わないようにしてください。読み取り結果や装置に不具合が発生することがあります。

・表面に凹凸のある原稿
・コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
・インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿
・表面が汚れている原稿

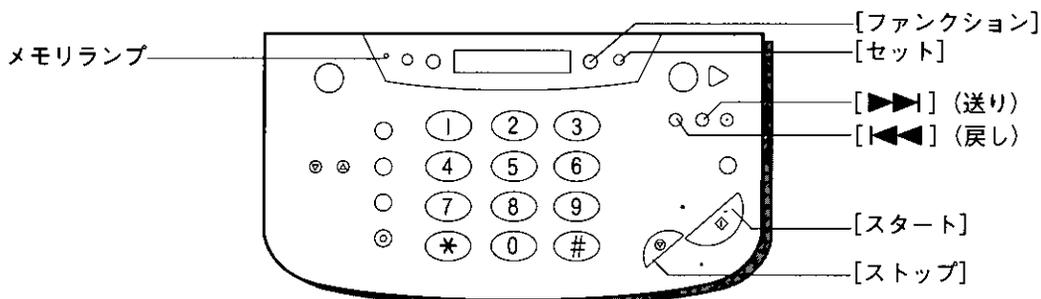
▶ 読み取りに注意が必要な原稿

フィルムやトレーシングペーパーのように透明な原稿は、原稿を白い紙の上に置くか、キャリアシートに入れてから読み取るようにしてください。

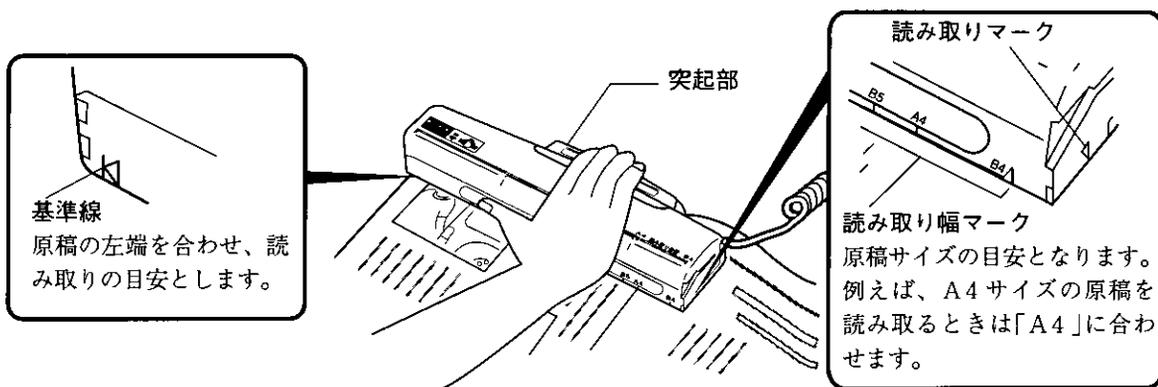
▶ 文字の大きさの選択

文字の小さい原稿や写真をコピーしたり送ったりするときは、読み取りを始める前に[画質]ボタンで選択してください。詳しくは、「写真や小さい文字の原稿を送る」(P.24)をご覧ください。ハンドスキャナを使って送信するときは、「ジドウ」、「チイサイ」、「シャシン」の中から選びます。

ハンドスキャナでコピーする

ﾊﾝﾄﾞ ｽｷｬﾅ B4 ﾁｲｻｲ

1 ハンドスキャナを本機から外します。

2 ハンドスキャナの読み取りマークを原稿の読み取り開始位置に合わせます。

原稿の左端をハンドスキャナの基準線に合わせ、ハンドスキャナの突起部のある面を後ろにして、読み取る部分の上端にハンドスキャナの読み取りマークを合わせます。

ｺﾋﾟｰﾁｭｳ B4 ﾁｲｻｲ

3 [スタート]ボタンを押します。

ハンドスキャナの原稿読み取り部のランプが点灯します。

お願い

- ■光源自体は無害ですが、強い光が出ますのでハンドスキャナの読み取り部を顔に向けないでください。
- ■ファクシミリを受信したときも、原稿読み取り部のランプが点灯しますので、ご注意ください。

4 ハンドスキャナをゆっくり動かして原稿を読み取ります。

コピーした文書がプリントされます。

お願い

動かしかたが速すぎると「ピッピッピッ…」または「ピー」という音がします。そのまま読み取りを続けると、コピーに線が入ったり、画像が欠落することがあります。ゆっくりと動かしてください。コピーをしなおすときは、[ストップ]ボタンを押して、手順2から操作をやりなおしてください。

ﾊﾝﾄﾞ ｽｷｬﾅ B4 ﾁｲｻｲ

5 読み取りを終了する位置に来たら [ストップ]ボタンを押します。

[ストップ]ボタンを押したあとも、読み取った原稿をプリントし終わるまでプリントを続けます。プリントが終わると、記録紙がカットされ原稿読み取り部のランプが消灯します。

ワンポイント

◎ハンドスキャナを動かさずに30秒以上経過すると、読み取りを中断し、記録紙をカットします。

4/30 12:00 0

6 ハンドスキャナを本機に戻します。

これでコピーの操作は終わりです。

ハンドスキャナで送信する

ﾊﾝﾄﾞ ｽｷｬﾅ B4 ﾁｲｻｲ

1 ハンドスキャナを本機から外します。

0335095538_

2 相手先の電話(ファクシミリ)番号をダイヤルします。

お願い

ハンドスキャナを使う場合、電話で話をしてから送ることはできません。受話器をおいたままダイヤルしてください。

3 ハンドスキャナの読み取りマークを原稿の読み取り開始位置に合わせます。

ｺﾋﾟｰﾁｭｳ B4 ﾁｲｻｲ

4 [スタート]ボタンを押します。

ハンドスキャナの原稿読み取り部のランプと、メモリランプ(緑色)が点灯します。

お願い

■光源自体は無害ですが、強い光が出ますのでハンドスキャナの読み取り部を顔に向けないでください。

■ファクシミリを受信したときも、原稿読み取り部のランプが点灯しますので、ご注意ください。

5 ハンドスキャナをゆっくり動かして原稿を読み取ります。

読み取った原稿は、メモリに記憶しながら同時にプリントします。

お願い

動かしかたが速すぎると「ピッピッピッ…」または「ピー」という音がします。そのまま読み取りを続けると送信内容に線が入ったり、画像が欠落したりすることがあります。ゆっくりと動かしてください。

1:ソウシン 2:ショウキョ

6 読み取りを終了する位置に来たら[ストップ]ボタンを押します。

[ストップ]ボタンを押したあとも、読み取った原稿をプリントし終わるまでプリントを続けます。プリントが終わると、記録紙がカットされ原稿読み取り部のランプが消灯します。読み取りの結果を確認してください。

▶メモリがいっぱいになったとき

メモリフル

読み取りの途中でメモリがいっぱいになると「ピーピーピーピーピー」という音がして、読み取りを中断し、読み取ったところまでをプリントします。そのまま読み取ったところまでを送信することもできます。

ワンポイント

◎メモリには、メモリに何も入っていない場合で29cm程度の長さの原稿まで読み取れます(原稿の色や文字の量により、読み取れる長さが変わります)。

◎留守番電話に用件が入っているときやメモリ内に受信文書が入っているときは、読み取れる長さが短くなります。用件を消去したり、メモリ内の文書をプリントしたりすると読み取れる長さが長くなります。

◎ハンドスキャナを動かさずに30秒以上経過すると、読み取りを中断します。

ダイヤルチュウ

▼▲

アイテ:0335095538

▼

0335095538

▼

0335095538　P01

▼

ハンドスキャナ B4 チイサイ

7 [1]ボタンを押します。

送信を開始します。

ワンポイント

◎送信が終わるとメモリの内容は消去されます。

◎[1]ボタンを押したあと、送信を中断したいときは[ストップ]ボタンを押してください。

▶もう一度読み取りなおしたいときは

① [2]ボタンを押します。→「データ　ヲ　ショウキョシマシタ」と表示されます。

② 「ヨミトリマチ　B4　チイサイ」と表示されたら、手順3からやりなおします。

▶送信をやめたいとき

① [2]ボタンを押します。→「データ　ヲ　ショウキョシマシタ」と表示されます。

② [ストップ]ボタンを押します。

お願い

送信中に通信異常のアラームが表示された場合、メモリの内容は消去されます。

4/30 12:00　0

8 ハンドスキャナを本機に戻します。

ハンドスキャナを戻しても送信は中断されません。
これで送信の操作は終わりです。

▶相手先が話中のとき

3分間隔で2回までかけなおします。2回かけなおしても送信できないときは、メモリに記憶した文書を消去し、不達レポートをプリントします。

ハンドスキャナの設定(拡大・縮小コピー)

読み取り幅とプリント(記録)幅を設定すると自動的に拡大や縮小して送信やコピーができます。

ﾊﾝﾄﾞ ｽｷｬﾅ B4 ﾁｲｻｲ

1 ハンドスキャナを本機から外します。

ﾖﾐﾄﾘｷﾛｸﾊﾊﾞ B4→B4

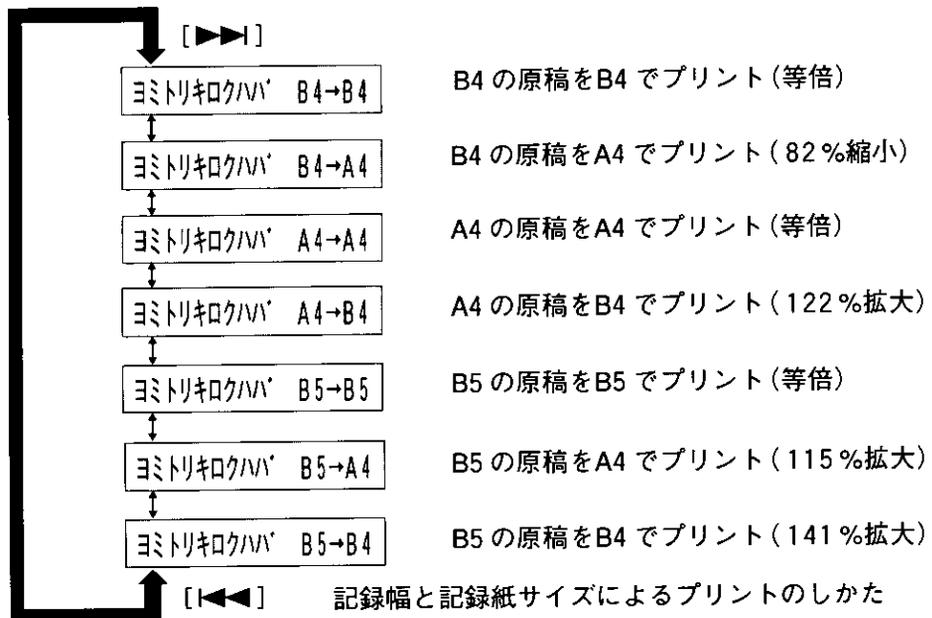
2 [ファンクション]ボタンを押します。

3 読み取り幅と記録幅の組み合わせを[|◀◀]ボタン、[▶▶|]ボタンで選び[セット]ボタンを押します。

ディスプレイのサイズ表示は次のように変わります。矢印の左側が読み取り幅、右側が記録幅です。

〈例〉A4 サイズの原稿をB4 サイズに拡大する場合

「ヨミトリキロクハバ　A4→B4」に設定します。

記録幅と記録紙サイズによるプリントのしかた

記録幅	本機の記録紙(コピー時)		相手先の記録紙	
	A4	B4	A4	B4
A4	A4 幅	A4 幅	A4 幅	A4 幅
B4	A4 幅＊1	B4 幅	A4 幅＊1	＊2
B5	B5 幅	B5 幅	B5 幅	B5 幅

＊1　はみ出す部分(原稿の右側)は、コピー(送信)できません。

＊2　本機の記録紙がA4 のときはA4 幅、B4 のときはB4 幅でプリントします。

ワンポイント

◎設定した状態は次に変更するまでそのままです。

◎途中で設定をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

外付け電話機の利用

外付け電話機を使って電話をかけたり受けたりすることができます。

ワンポイント

◎外付け電話機の使用中は本機のディスプレイに「デンワ　シヨウチュウ」と表示され、本機の使用はできません。
◎外付け電話機と本機の間で話をすることはできません。外付け電話機の使用中に本機の受話器をとると、何も聞こえません。
また、本機の使用中に外付け電話機の受話器をとったときも、何も聞こえません。
◎本機から外付け電話機へ電話を転送するときや、外付け電話機から本機へ電話を転送するときは、P.14〜15をご覧ください。

外付け電話機の操作でファクシミリを受信する（リモート受信）

外付け電話機で電話をとり、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたときは、リモート受信起動番号（P.96）を入れるだけで受信できます。

お願い
こちらから電話をかけたときは、リモート受信はできません。本機の［スタート］ボタンを押して受信してください。

▶ プッシュ回線でお使いのとき

1 外付け電話機の受話器をとります。

2 「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら、［3］、［*］ボタンを押してから受話器を戻します。
これでリモート受信は終わりです。

▶ ダイヤル回線でお使いのとき

1 外付け電話機の受話器をとります。

2 「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら、［3］ボタンを押します。

3 「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえなくなったら、受話器を戻します。
これでリモート受信は終わりです。

ワンポイント

◎「親切受信」の設定（P.96）を「する」にしている場合は、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたあと何も聞こえなくなったときは、受話器を戻すだけで受信できます。⇨（P.44）
◎プッシュ回線でお使いのときはリモート受信起動番号は変更できます。⇨（P.96）
◎構内交換機（PBX）のダイヤル回線をお使いの場合は、［3］ボタンを押すとフッキングした状態になり、受信できないことがあります。このような場合は次のように操作してください。
・プッシュ信号送出機能がある場合
受話器をとったあと、プッシュ信号送出ボタンを押してから［3］、［*］ボタンを押します。
・プッシュ信号送出機能がない場合
受話器をとって［3］ボタンを押したあと、5秒以内にフックスイッチを押し、すぐに離してフッキング状態を解除します。フックボタンがある場合は、［3］ボタンを押したあと5秒以内にフックボタンを押してください。
◎次のようなときは、リモート受信はできません。
・コピー中
・レポート出力中
・登録中

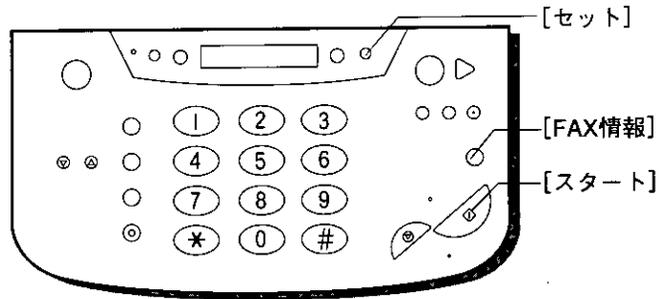
いろいろなファクシミリ情報サービスの利用

[FAX情報]ボタンを使って、各種のファクシミリ情報サービスを簡単な操作でご利用になれます。

[FAX情報]ボタンの使いかた

いろいろなファクシミリ情報サービスを利用するときは、[FAX情報]ボタンを使用します。
ファクシミリ情報サービスの利用のしかたには、ポーリング方式、ガイダンス方式、Fネット方式がありま す。本機では[FAX情報]ボタンにより、いずれの方式の場合でも簡単にファクシミリ情報を取り出すことができます。また、これらの方式をワンタッチボタンに登録すると、さらに簡単な操作でファクシミリ情報を取り出すことができます。

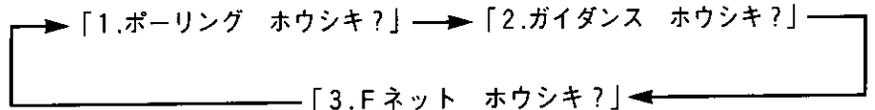
ワンポイント

◎受話器を上げて[FAX情報]ボタンを押すと、「ピピピー」とアラーム音がして「ハンドセット オイテクダサイ」と表示されます。受話器(ハンドセット)を戻してから[FAX情報]ボタンを押してください。

ダイヤルするだけで情報が取り出せるとき(ポーリング方式)

`1.ポ-リング ホウシキ?`

1 [FAX情報]ボタンを押します。

ワンポイント

◎[FAX情報]ボタンを続けて押すと、ディスプレイの表示は次のように変わります。また、ダイヤルボタン(1～3)を押して選ぶこともできます。

→「1.ポーリング　ホウシキ?」→「2.ガイダンス　ホウシキ?」→「3.Fネット　ホウシキ?」→(「1.ポーリング　ホウシキ?」に戻る)

`アイテ=_`

2 [セット]ボタンを押します。

`アイテ=03P35095538_`

3 相手先のファクシミリ番号を入れます。

ワンポイント

◎ダイヤルボタンと[再ダイヤル/ポーズ]ボタンで入力できます。[再ダイヤル/ポーズ]ボタンを押すと「P」と表示されます。

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾁｭｳ

▼▲

ｱｲﾃ:03P35095538

4 [スタート]ボタンを押します。

相手先へダイヤルし、受信を開始します。これで操作は終わりです。

ガイダンスに従って情報を取り出すとき(ガイダンス方式)

1.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾎｳｼｷ?

▼

2.ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ﾎｳｼｷ?

1 [FAX情報]ボタンを2回押します。

ｱｲﾃ=_

2 [セット]ボタンを押します。

ｱｲﾃ=03P35095538_

3 相手先のファクシミリ番号を入れます。

ワンポイント

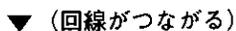
◎ダイヤルボタンと[再ダイヤル/ポーズ]ボタンで入力できます。[再ダイヤル/ポーズ]ボタンを押すと「P」と表示されます。

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾁｭｳ

▼▲

ｱｲﾃ:03P35095538

▼(回線がつながる)

ｼｼﾞﾆ ｼﾀｶﾞｯﾃｸﾀﾞｻｲ

4 [スタート]ボタンを押します。

相手先へのダイヤルを開始します。

ｺｰﾄﾞ=12#34#_

5 スピーカから聞こえる指示に従って操作します。

ワンポイント

◎ボックス番号等の入力はダイヤルボタン、[#]ボタンで行います。
◎受話器をとると、受話器から音が聞こえます。受話器をとって操作することもできます。
◎ダイヤル回線でお使いの場合でも、プッシュ(トーン)信号が送出されます。[PB]ボタンを押す必要はありません。
◎手順4以降で操作をやめたいときは、[ハンズフリー]ボタンを押してください。

ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ

6 [スタート]ボタンを押します。

受信を開始します。これで操作は終わりです。必要な場合は、さらにガイダンスに従ってください。

Ｆネットを利用してFAX情報を取り出すとき（Ｆネット方式）

Ｆネットのご利用については利用契約が必要ですので、ＮＴＴ窓口等へお問い合わせください。

1.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾎｳｼｷ?
▼
2.ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ﾎｳｼｷ?
▼
3.Fﾈｯﾄ ﾎｳｼｷ?

1 [FAX情報]ボタンを3回押します。

ｺｰﾄﾞ=162#284
［ファンクション］▼▲［ファンクション］
ｺｰﾄﾞ=162#287

2 [セット]ボタンを押します。

Ｆネットのファクシミリコードが表示されます。［ファンクション］ボタンを押すごとに２種類のコードが交互に表示されます。いずれかを選んでください。

ｱｲﾃ=162#28403P3_

3 相手先のファクシミリ番号を入れます。

ワンポイント

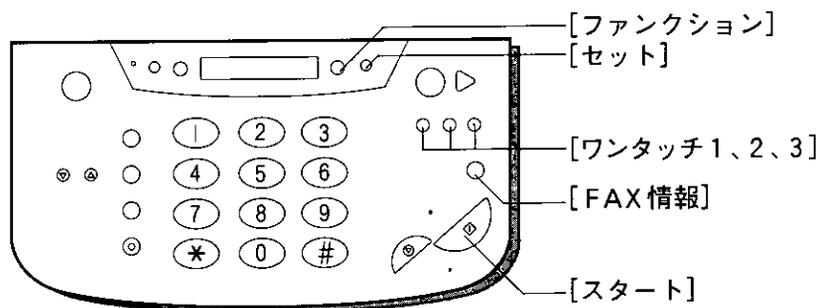
◎ダイヤルボタンと［再ダイヤル／ポーズ］ボタンで入力できます。［再ダイヤル／ポーズ］ボタンを押すと「P」と表示されます。

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾁｭｳ
▼▲
ｱｲﾃ:162#28403P35
▼
4/30 12:00 0

4 [スタート]ボタンを押します。

Ｆネットへのダイヤルを開始します。これで操作は終わりです。Ｆネットが受付をすると一旦回線が切れます。
Ｆネットからのファクシミリの送信があると受信を開始します。

ワンタッチボタンでファクシミリ情報を取り出すとき

ワンタッチボタンにファクシミリ情報サービスの電話番号と取り出し方式をあらかじめ登録しておくと、簡単な操作で、ファクシミリ情報を取り出すことができます。通常のワンタッチボタンの操作は、この機能とは別にご利用いただけます。

ファクシミリ情報を取り出す相手先のワンタッチボタンへの登録

キノウセンタク シテクダ゛サイ
▼
1.トウロク?

1 [ファンクション]ボタンを押してから[FAX情報]ボタンを押します。

ワンタッチシテイ=_

2 [セット]ボタンを押します。

ワンポイント

◎3つのワンタッチボタンがすべて登録されているときは、「スベテ　トウロクズミ　デス」と表示されます。

ワンタッチシテイ=1

3 登録するワンタッチボタンを押します。

〈例〉[ワンタッチ1]に登録する場合
[ワンタッチ1]ボタンを押します。

ナマエ=_

4 [セット]ボタンを押します。

ワンポイント

◎すでに登録してある番号を指定すると「トウロクズミ　デス」と表示されます。

ナマエ=NTTエイギ゛ョウ_
▼
1.ホ゜ーリング゛ ホウシキ?

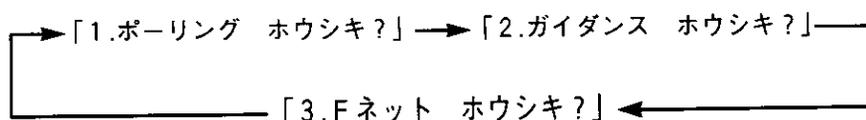
5 相手先の名前を入力し、[セット]ボタンを押します。

文字の入力はダイヤルボタンで行います。⇨(P.100)

6 [FAX情報]ボタンを押して、利用方式を選びます。

ワンポイント

◎[FAX情報]ボタンを続けて押すと、ディスプレイの表示は次のように変わります。また、ダイヤルボタン(1～3)を押して選ぶこともできます。

→「1.ポーリング　ホウシキ?」→「2.ガイダンス　ホウシキ?」→「3.Fネット　ホウシキ?」→(1に戻る)

▶ポーリング方式で登録するとき

アイテ=_

① 手順6で「1. ポーリング　ホウシキ?」を選び、[セット]ボタンを押します。

アイテ=03P35095538_

② 相手先のファクシミリ番号を入れます。

ワンポイント

◎ダイヤルボタンと[再ダイヤル/ポーズ]ボタンで入力できます。[再ダイヤル/ポーズ]ボタンを押すと「P」と表示されます。

カンリョウ
▼
4/30 12:00 0

③ [セット]ボタンを押します。

これでポーリング方式での登録の操作は終わりです。

▶ガイダンス方式で登録するとき

お願い

この登録では、登録の操作中にガイダンスの指示に従って実際の操作を行っていただき、その手順を記憶します。そのための通話料がかかりますのでご了承ください。

2.ガイダンス ホウシキ?
▼
アイテ=_

① 手順6で「2. ガイダンス　ホウシキ?」を選び、[セット]ボタンを押します。

アイテ=03P35095538_

② 相手先のファクシミリ番号を入れ[セット]ボタンを押します。

相手先へのダイヤルを開始します。

ダイヤル チュウ
▼▲
アイテ:NTTエイギョウ
▼（回線がつながる）

ワンポイント

◎ダイヤルボタンと[再ダイヤル/ポーズ]ボタンで入力できます。[再ダイヤル/ポーズ]ボタンを押すと「P」と表示されます。

シジニ シタガッテクダサイ

コード=12#34#_

③ モニタスピーカから聞こえる指示に従って操作します。

ワンポイント

◎ボックス番号等の入力はダイヤルボタン、[#]ボタンで行います。

▶コードを間違えたときは

電話を切って登録手順の最初からやりなおしてください。

④ [スタート]ボタンを押します。

受信を開始します。これでガイダンス方式での登録操作は終わりです。

▶受信をせずに登録のみを行うときは

トウロク シマスカ

手順④で［ハンズフリー］ボタンを押します。
［スタート］ボタンを押すと登録のみが行われます。
［ストップ］ボタンを押すと登録操作が中断されます。

カンリョウ
▼
4/30 12:00 0

ワンポイント

◎ファクシミリ情報サービスによっては、うまく登録できなかったり、登録したワンタッチボタンを使っても正常に情報を取り出せないことがあります。この場合は、その都度ガイダンスに従って手動で操作してください。⇨（P.81）

▶ Fネット方式で登録するとき

Fネットのご利用については利用契約が必要ですので、NTT窓口等へお問い合わせください。

3. Fﾈｯﾄ ﾎｳｼｷ?

▼

ｺｰﾄﾞ=162#284

[ファンクション] ▼▲ [ファンクション]

ｺｰﾄﾞ=162#287

① **手順6で「3．Fネット　ホウシキ？」を選び、[セット]ボタンを押します。**

Fネットのファクシミリコードが表示されます。[ファンクション]ボタンを押すごとに2種類のコードが交互に表示されます。

ｺｰﾄﾞ=162#28403P_

② **ファクシミリコードを選んで相手先のファクシミリ番号を入れます。**

ワンポイント

◎ダイヤルボタンと[再ダイヤル／ポーズ]ボタンで入力できます。[再ダイヤル／ポーズ]ボタンを押すと「P」と表示されます。

ｶﾝﾘｮｳ

▼

4/30 12:00 0

③ **[セット]ボタンを押します。**

登録を削除するとき

ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

▼

1. ﾄｳﾛｸ?

1 **[ファンクション]ボタンを押してから[FAX情報]ボタンを押します。**

2. ｻｸｼﾞｮ?

▼

ﾜﾝﾀｯﾁｼﾃｲ=_

2 **[ファンクション]ボタンを押して「2.サクジョ」を選び、[セット]ボタンを押します。**

[ファンクション]ボタンを押すごとに「登録」と「削除」を交互に表示します。ダイヤルボタン（1、2）を押して選ぶこともできます。

ﾜﾝﾀｯﾁｼﾃｲ=1

3 **削除するワンタッチボタンを押します。**

〈例〉［ワンタッチ1］を削除する場合
　　［ワンタッチ1］ボタンを押します。

ﾅﾏｴ=NTTｴｲｷﾞｮｳ

4 **[セット]ボタンを押します。**

ワンポイント

◎未登録の番号を指定すると「トウロクサレテイマセン」と表示されます。

ｻｸｼﾞｮ ｼﾏｼﾀ

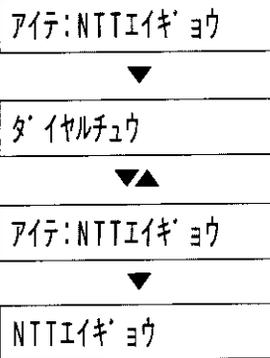
▼

4/30 12:00 0

5 **[セット]ボタンを押します。**

これで削除の操作は終わりです。

ポーリング方式で登録したワンタッチボタンで情報を取り出すとき

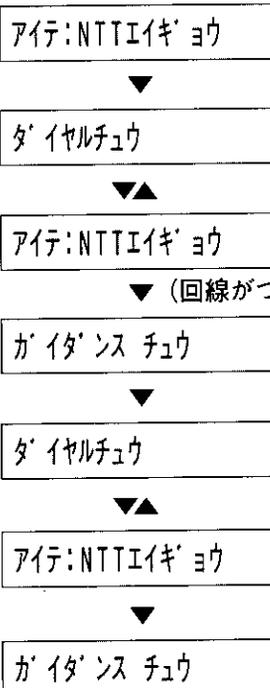
ｱｲﾃ:NTTｴｲｷﾞｮｳ
▼
ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ
▼▲
ｱｲﾃ:NTTｴｲｷﾞｮｳ
▼
NTTｴｲｷﾞｮｳ

1 [FAX情報]ボタンを押し、続けて登録してあるワンタッチボタンを押します。

これで操作は終わりです。7秒後にダイヤルを開始し、回線がつながると受信を開始します。

ワンポイント

◎[スタート]ボタンを押すとすぐにダイヤルを始めます。
◎途中で受信の操作をやめたいときは[ストップ]ボタンを押してください。ただし、受信を開始したあとは、受信をやめることはできません。

ガイダンス方式で登録したワンタッチボタンで情報を取り出すとき

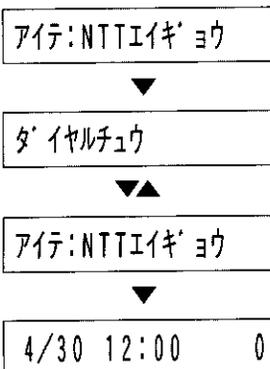
ｱｲﾃ:NTTｴｲｷﾞｮｳ
▼
ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ
▼▲
ｱｲﾃ:NTTｴｲｷﾞｮｳ
▼（回線がつながる）
ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ﾁｭｳ
▼
ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ
▼▲
ｱｲﾃ:NTTｴｲｷﾞｮｳ
▼
ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ ﾁｭｳ

1 [FAX情報]ボタンを押し、続けて登録してあるワンタッチボタンを押します。

これで操作は終わりです。7秒後にダイヤルを開始し、回線がつながると自動的にコードを送り、受信を開始します。

ワンポイント

◎[スタート]ボタンを押すとすぐにダイヤルを始めます。
◎途中で受信の操作をやめたいときは[ストップ]ボタンを押してください。ただし、受信を開始したあとは、受信をやめることはできません。

Ｆネット方式で登録したワンタッチボタンで情報を取り出すとき

ｱｲﾃ:NTTｴｲｷﾞｮｳ
▼
ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ
▼▲
ｱｲﾃ:NTTｴｲｷﾞｮｳ
▼
4/30 12:00 0

1 [FAX情報]ボタンを押し、続けて登録してあるワンタッチボタンを押します。

これで操作は終わりです。
7秒後にＦネットへのダイヤルを開始し、回線がつながります。自動的にコードを送り、Ｆネットが自動的に受付をすると一旦回線が切れます。
Ｆネットからのファクシミリの送信があると受信を開始します。

ワンポイント

◎[スタート]ボタンを押すとすぐにダイヤルを始めます。
◎途中で操作をやめたいときは[ストップ]ボタンを押してください。ただし、受信を開始したあとは、受信をやめることはできません。

Fネットとは…

NTTのファクシミリ専用ネットワークです。一旦文書をFネット内に蓄積してから送信するシステムにより、さまざまなサービスが実現できます。スピーディーで確実なファクシミリ通信をさらに経済的かつ効率的にお使いいただけます。

▶明確な2段階制料金
Fネットなら、送信に時間のかかる文字の細かい文書でもB4版1ページ25円（夜間・100㎞以内）で日本国内どこへでも送れます。昼間でも40円とお得です。さらに100㎞を越える場合は夜間30円、昼間は50円と低価格の一定料金です。（標準モードの場合）

▶Fネット月極割引
毎月定額料をお支払いいただくことにより、Fネット通信料の1カ月分を請求時に割引させていただくサービスです。

サービスプラン名	サービスプラン内容（1回線ごとに）
Fネット月極割引・10	月々550円の定額料のお支払いで、 Fネット通信料が10%割引
Fネット月極割引・15	月々1,550円の定額料のお支払いで、 Fネット通信料が15%割引

▶無鳴動自動受信
Fネットで送ると相手のファクスのベルを鳴らさずに受信させることができます。受信側では電話と間違えて受話器をとる手間がありません。また夜でも静かにファクスを受けることができます。

▶再コール
相手先がお話し中の場合、Fネットが2分間隔で5回、自動的に再コールします。

▶不達通知
再コールしても送信できなかった場合、送信できなかった理由と送信内容の一部をFネットよりお知らせします。

▶ファクシミリ案内サービス
Fネットを契約していると、ホットな情報が簡単に取り出せます。しかも、料金がFネットの通信料のみと低価格で明確化していますので安心です。このサービスには、レジャー・スポーツ・観光・金融・くらしに係わるさまざまな情報がいっぱいです。

ファクス番号　162・・・（プップップ）　#284－〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇（情報提供者番号）－△△#（情報案内番号）

（取り出し方法）

① 電話する感覚で受話器を上げ、162をダイヤルします。
② プップップと聞こえたら（ダイヤル回線の場合はプップップの後にトーンボタン・PBボタン等を押してプッシュ信号に切りかえてから次の操作をしてください。）
③ #284（または#287）－〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇－△△#とダイヤルします。
④ 「サービスを受け付けました」とアナウンスが聞こえます。
⑤ 受話器を戻し、しばらく待つと情報が送られてきます。

▶ Fネット親展通信

暗証番号を使って通信するサービスです。暗証番号を知っている人以外には原稿が取り出せないので、重要な書類も安心してやりとりできます。

▶ ファクシミリボックス

Fネットから送信された原稿を、Fネット側で一時お預かりするサービスです。ファクスや電話を長時間使っていても、ファクシミリボックスに蓄積された原稿を後で受け取ることができます。(※)

▶ 一斉同報通信

1回のダイヤル操作で、10カ所までの宛先に同一原稿を同時に送信できます。サークルやクラブなどの連絡に便利です。Fネット短縮ダイヤルを利用すれば、簡単な操作で最大10 000カ所までの同報通信が行えます。

▶ 夜間配送指定通信

昼間Fネットへ原稿を送信し、夜間の割引時間帯(午後7時～翌朝8時まで)にFネットから相手先へ送信させることができます。約40％の割引になります。

☆短縮ダイヤルや(※)印のサービスには別途ご契約が必要です。

Fネットのご利用については利用契約が必要ですので、NTT窓口等へお問い合わせください。
なお、記載しているサービス内容及び料金については1997年3月現在のものです。

ダイヤルインを利用する

NTTのダイヤルインサービスをご契約になると、1本の電話回線でファクシミリ用と電話機用の2つの電話番号を使い分けることができます。ただし、1本の電話回線なので、ファクシミリと電話を同時に使用することはできません。

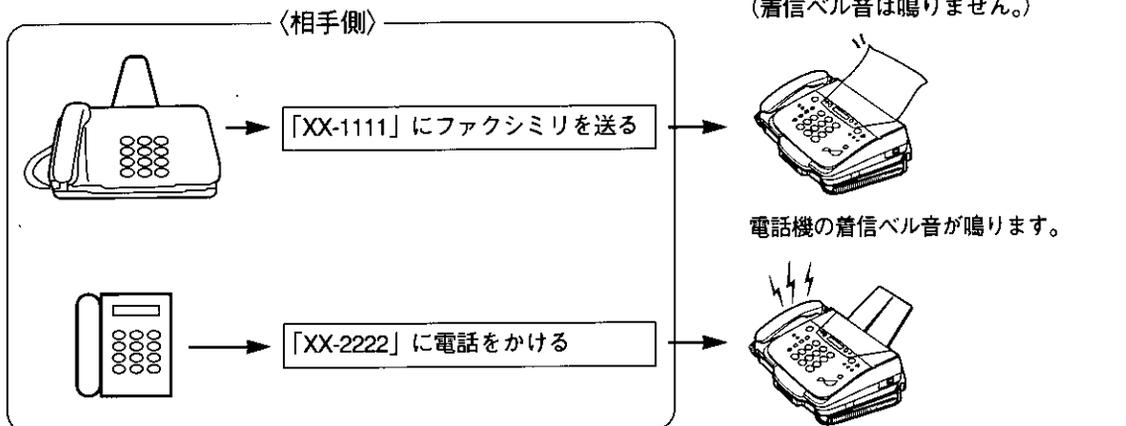
お願い

■ダイヤルインサービスをご利用になるには、NTTとのご契約およびダイヤルインの登録（P.92）が必要です。
■ダイヤルインサービスをご契約いただく際は、「2つの番号は4桁（送出番号）」とご指定ください。
■ダイヤルインを利用するために、特別な装置を接続する必要はありません。
■一部の地域ではダイヤルインサービスをご利用になれない場合があります。詳しくはNTT窓口等へお問い合わせください。
■ダイヤルインサービスをご契約いただいた場合は、次のNTTサービスはご利用になれません。
・キャッチホン　・トリオホン　・転送電話　・電話会議　・トーキ案内
■ダイヤルインサービスが開始される前にダイヤルインの登録をしてしまうと、電話が使用できなくなってしまいます。ご契約時にダイヤルインサービスの開始日時を確認し、必ずダイヤルインサービスが利用可能になってからダイヤルインの登録を行ってください。

〈例〉
ファクシミリ：XX-1111
電話機：XX-2222に登録した場合

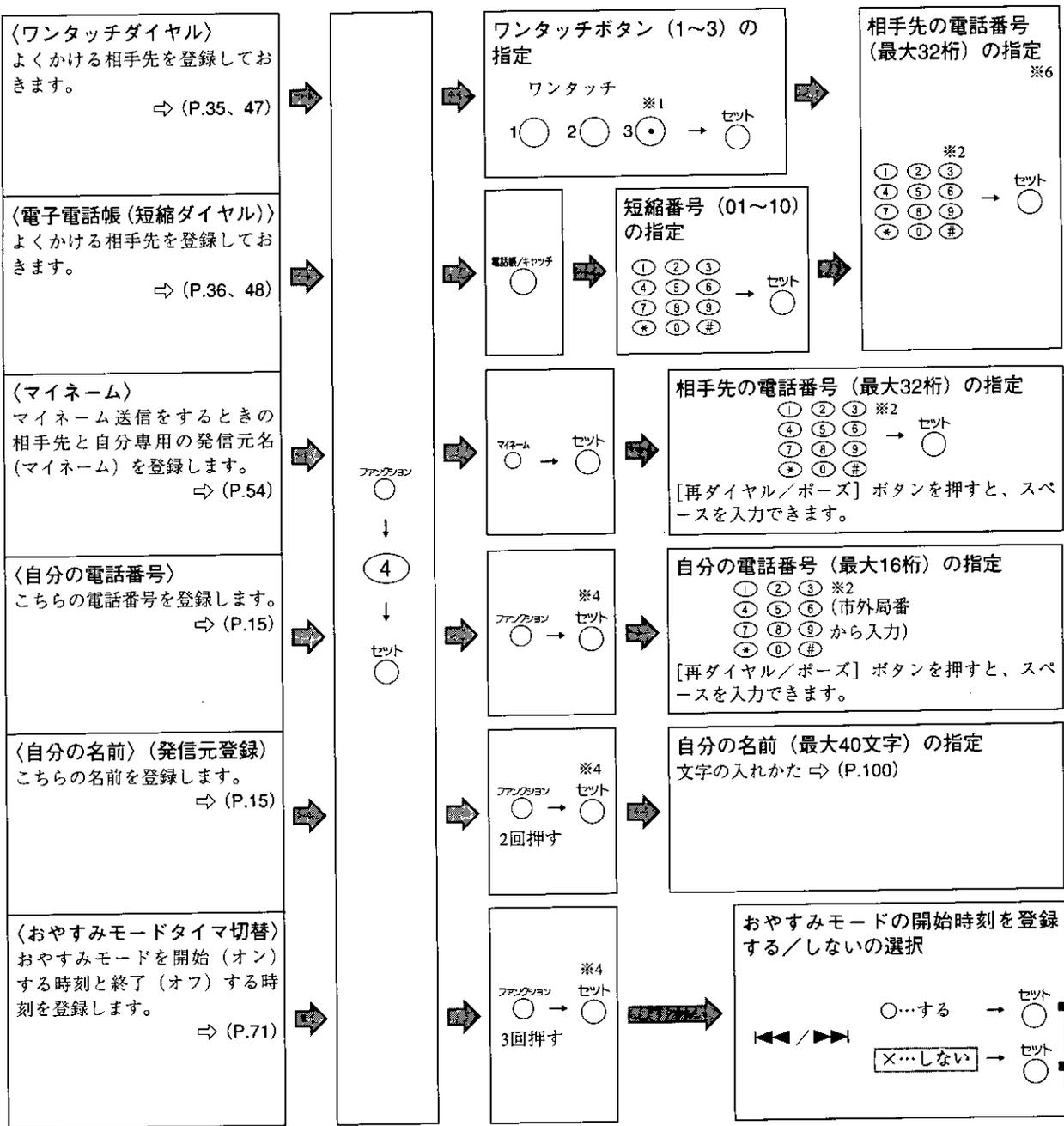
〈相手側〉

「XX-1111」にファクシミリを送る → 自動的にファクシミリを受信します。（着信ベル音は鳴りません。）

「XX-2222」に電話をかける → 電話機の着信ベル音が鳴ります。

ワンポイント

◎ 電話用の番号にファクシミリが送られてきたとき（「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたとき）は、[スタート] ボタンを押してください。
◎ ファクシミリ用の番号に電話がかかってきたときは、通話できません。
◎ 留守番電話を留守設定にした場合は、電話用の番号に電話がかかってきたときに限り、留守番電話が用件を録音します。ファクシミリ用の番号にファクシミリが送られてきたときは、自動的に受信します。留守番電話の応答メッセージに「ファクシミリの方は、ファクシミリ用の番号におかけなおしください。」等のメッセージを入れておいてください。
◎ 停電時に電話を受けるときは、次の方法で行ってください。
①ベルが2回だけ鳴ります。
②ベルが鳴り終わる前に、受話器をとってください。
③「ピポパポ」という音が聞こえます。音が鳴り終わったら、受話器を戻します。
④1～2秒待ってから、もう一度受話器をとって話をします。

登録モード

登録・設定をする際は、ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。途中で登録・設定をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。登録した内容を変更したいときは、同じ手順で登録しなおします。すでに登録されている内容が表示されたときは、[保留／クリア] ボタンを押して登録しなおします。お買い求めのときは、□に設定されています。

※1 ワンタッチダイヤル1～3は、電子電話帳（短縮ダイヤル）の短縮番号が01～03と同じものになります。[ワンタッチ1] ボタンに登録すると、短縮番号01に自動的に登録されます（その逆も同様です）。

※2 入力を間違えたときは、[◀◀] ボタン、[▶▶] ボタンで間違えた桁にカーソルを移動して入れなおします。最初から入力しなおすときは、[保留／クリア] ボタンを押します。

※3 続いてほかの登録をするときは、[セット] ボタンの代わりに [ファンクション] ボタンを押します。

※4 [セット] ボタンを押さなくても、約3秒後に次の画面が表示されます。

※5 〈例〉午後10時05分を指定する場合
②②⓪⑤を押します。

表記の説明

①②…：ダイヤルボタンを順に押します。

ファンクション セット：各ボタンを順に押します。

⏮/⏭：[⏮]ボタンまたは[⏭]ボタンを押します。

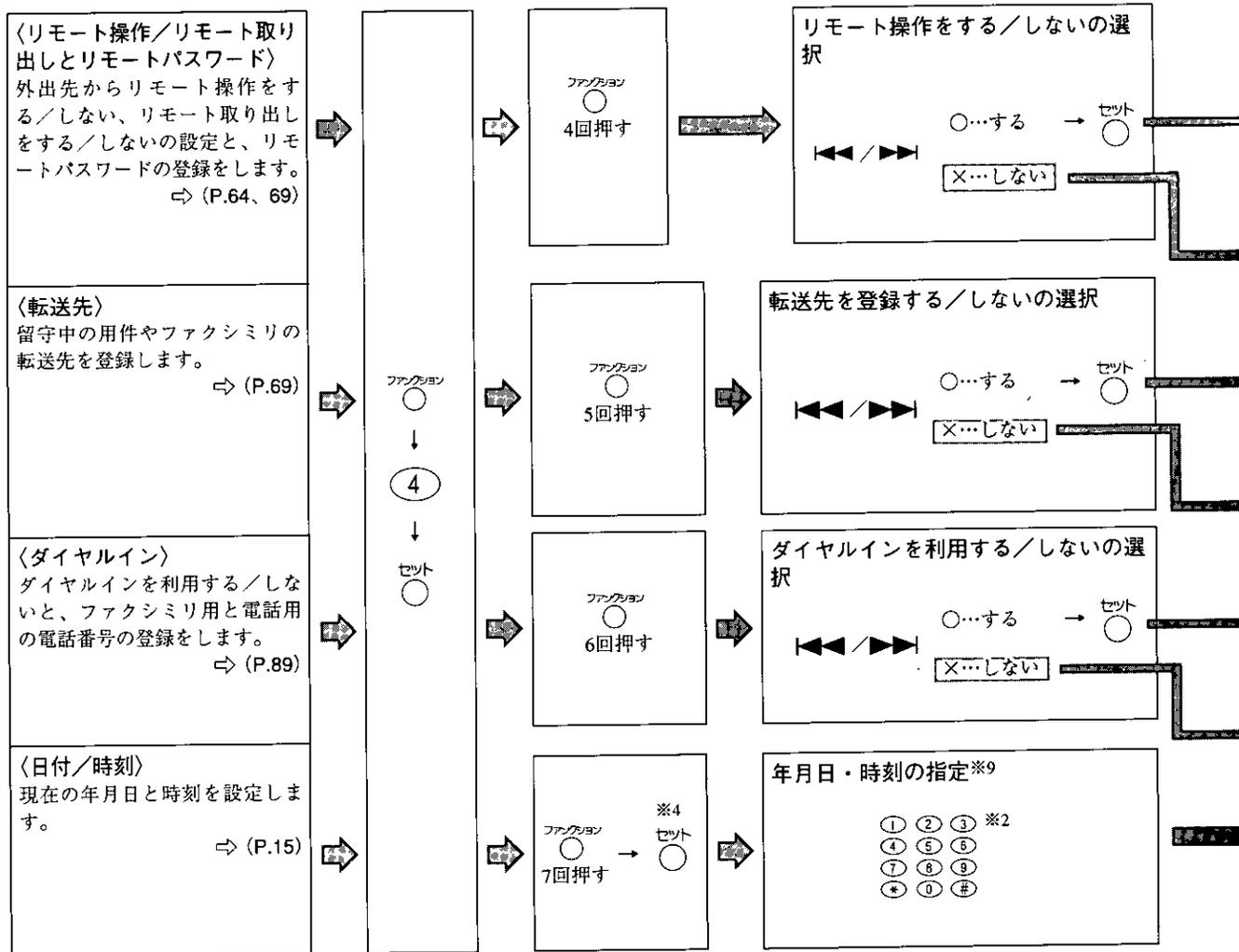
お願い

■間違い電話や誤送信を防ぐために、ワンタッチダイヤルや電子電話帳（短縮ダイヤル）に番号を登録する際には、間違いのないようディスプレイの表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後には電話番号リスト（P.98）で正しく登録されていることを確認してください。

■本機に一般電話の電話番号を誤って登録すると、自動再ダイヤル機能により、相手様を何度も呼び出し、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。

※6
- ［再ダイヤル／ポーズ］ボタンを押すと「P」と表示され、ダイヤルするときに約3秒間の間隔が入ります。
- プッシュ回線でお使いの場合は「＊」や「#」も登録できます。ただし、プッシュ回線からダイヤル回線に変更した場合は、「＊」や「#」を入力する前に［PB］ボタンを押して登録しなおしてください。［PB］ボタンを押すと「T」と表示され、「T」のあとに登録した番号がプッシュ信号でダイヤルされます。
- 登録できる相手先の電話番号は、「P」や「T」も含めて最大32桁です。

※7 続いてほかの登録をするときは、［セット］ボタンの代わりに［ファンクション］ボタンを押します（1つ前の手順で「しない（×）」を選んだとき以外）。

登録・設定をする際は、ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。途中で登録・設定をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。登録した内容を変更したいときは、同じ手順で登録しなおします。すでに登録されている内容が表示されたときは、[保留／クリア] ボタンを押して登録しなおします。お買い求めのときは、[　　　] に設定されています。

※2 入力を間違えたときは、[|◀◀] ボタン、[▶▶|] ボタンで間違えた桁にカーソルを移動して入れなおします。最初から入力しなおすときは [保留／クリア] ボタンを押します。
※3 続いてほかの登録をするときは、[セット] ボタンの代わりに [ファンクション] ボタンを押します。
※4 [セット] ボタンを押さなくても、約3秒後に次の画面が表示されます。
※7 続いてほかの登録をするときは、[セット] ボタンの代わりに [ファンクション] ボタンを押します (1つ前の手順で「しない (×)」を選んだとき以外)。
※8 • [再ダイヤル／ポーズ] ボタンを押すと、ポーズ「P」を入力できます。

• 転送先にポケットベルの番号を登録すると、留守中に電話やファクシミリが入ったときにポケットベルを呼び出します。ディスプレイ付のポケットベルにメッセージ (ダイヤル番号) を表示させたいときは、次のように入力してください。
〈NTT DoCoMoの場合〉
「転送先の電話番号＋ [ポーズ] 10回＋表示させる番号＋##」(ダイヤル回線でお使いの場合は、表示させる番号を入力する前に [PB] ボタンを押してください。)
NTT DoCoMo以外のポケットベルへ転送するときは操作が異なることがありますので、詳しくは転送するポケットベルの取扱説明書をご覧ください。

表記の説明

①②…：ダイヤルボタンを順に押します。

ファンクション セット：各ボタンを順に押します。

⏮／⏭：［⏮］ボタンまたは［⏭］ボタンを押します。

お願い

■ダイヤルインサービスが開始される前にダイヤルインの登録をしてしまうと、電話が使用できなくなってしまいます。ご契約時にダイヤルインサービスの開始日時を確認し、必ずダイヤルインサービスが利用可能になってから、ダイヤルインの登録を行ってください。

■ファクシミリ用と電話用の電話番号は、送出番号（局番なしの下4桁）をそれぞれ登録してください。

■電話用の電話番号には、ファクシミリ用と異なる番号を登録してください。同じ番号を登録しようとすると、ディスプレイに「FAXニトウロクズミデス」と表示されるので、もう一度登録しなおしてください。

※9
- 年は、西暦で下2桁を入力してください。「90」～「99」を入力すると1990～1999年、「00」～「89」を入力すると2000～2089年となります。
- 時刻は、24時間制で入力してください。
  〈例〉1997年4月30日午後2:00に設定する場合
  ⑨⑦⓪④③⓪①④⓪⓪
  と押します。

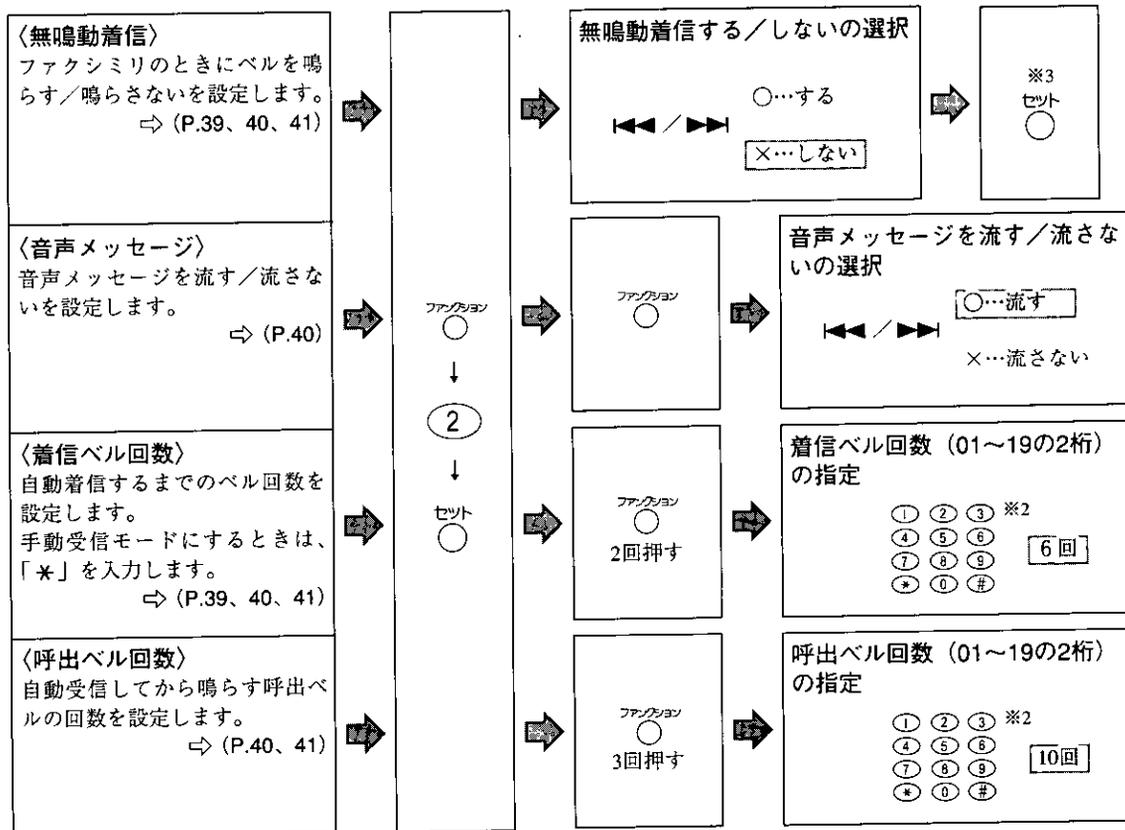
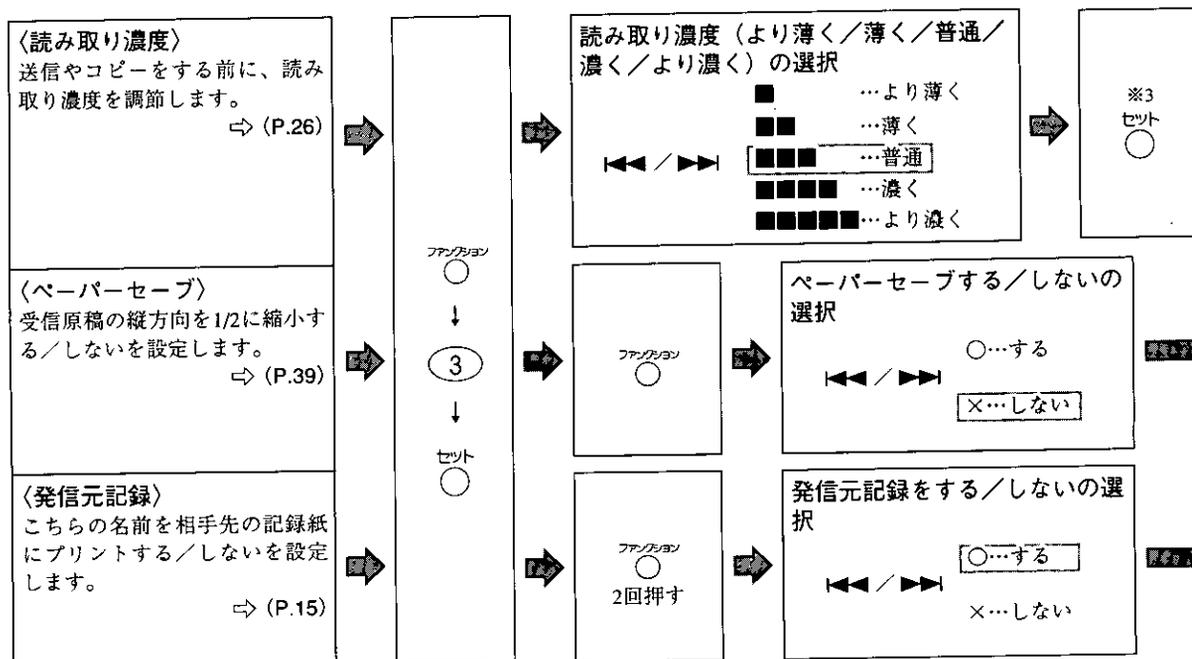
受信設定

登録・設定をする際は、ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。途中で登録・設定をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。登録した内容を変更したいときは、同じ手順で登録しなおします。すでに登録されている内容が表示されたときは、[保留／クリア] ボタンを押して登録しなおします。お買い求めのときは、［　　　］に設定されています。

〈無鳴動着信〉
ファクシミリのときにベルを鳴らす／鳴らさないを設定します。
⇨（P.39、40、41）
→ ファンクション → 2 → セット → 無鳴動着信する／しないの選択 ⏮／⏭ ○…する ［×…しない］ → ※3 セット

〈音声メッセージ〉
音声メッセージを流す／流さないを設定します。
⇨（P.40）
→ ファンクション → 2 → セット → ファンクション → 音声メッセージを流す／流さないの選択 ⏮／⏭ ［○…流す］ ×…流さない

〈着信ベル回数〉
自動着信するまでのベル回数を設定します。
手動受信モードにするときは、「＊」を入力します。
⇨（P.39、40、41）
→ ファンクション → 2 → セット → ファンクション 2回押す → 着信ベル回数（01〜19の2桁）の指定 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨＊0＃ ※2 ［6回］

〈呼出ベル回数〉
自動受信してから鳴らす呼出ベルの回数を設定します。
⇨（P.40、41）
→ ファンクション → 2 → セット → ファンクション 3回押す → 呼出ベル回数（01〜19の2桁）の指定 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨＊0＃ ※2 ［10回］

設定モード

※2 入力を間違えたときは、[⏮] ボタン、[⏭] ボタンで間違えた桁にカーソルを移動して入れなおします。
最初から入力しなおすときは [保留／クリア] ボタンを押します。

表記の説明

①②…：ダイヤルボタンを順に押します。

ファンクション セット ○○：各ボタンを順に押します。

⏮/⏭：[⏮]ボタンまたは[⏭]ボタンを押します。

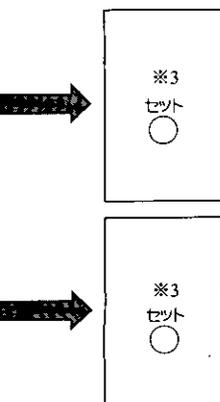
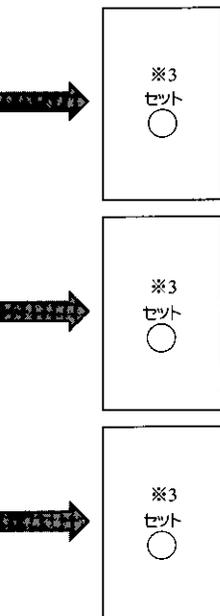
お願い

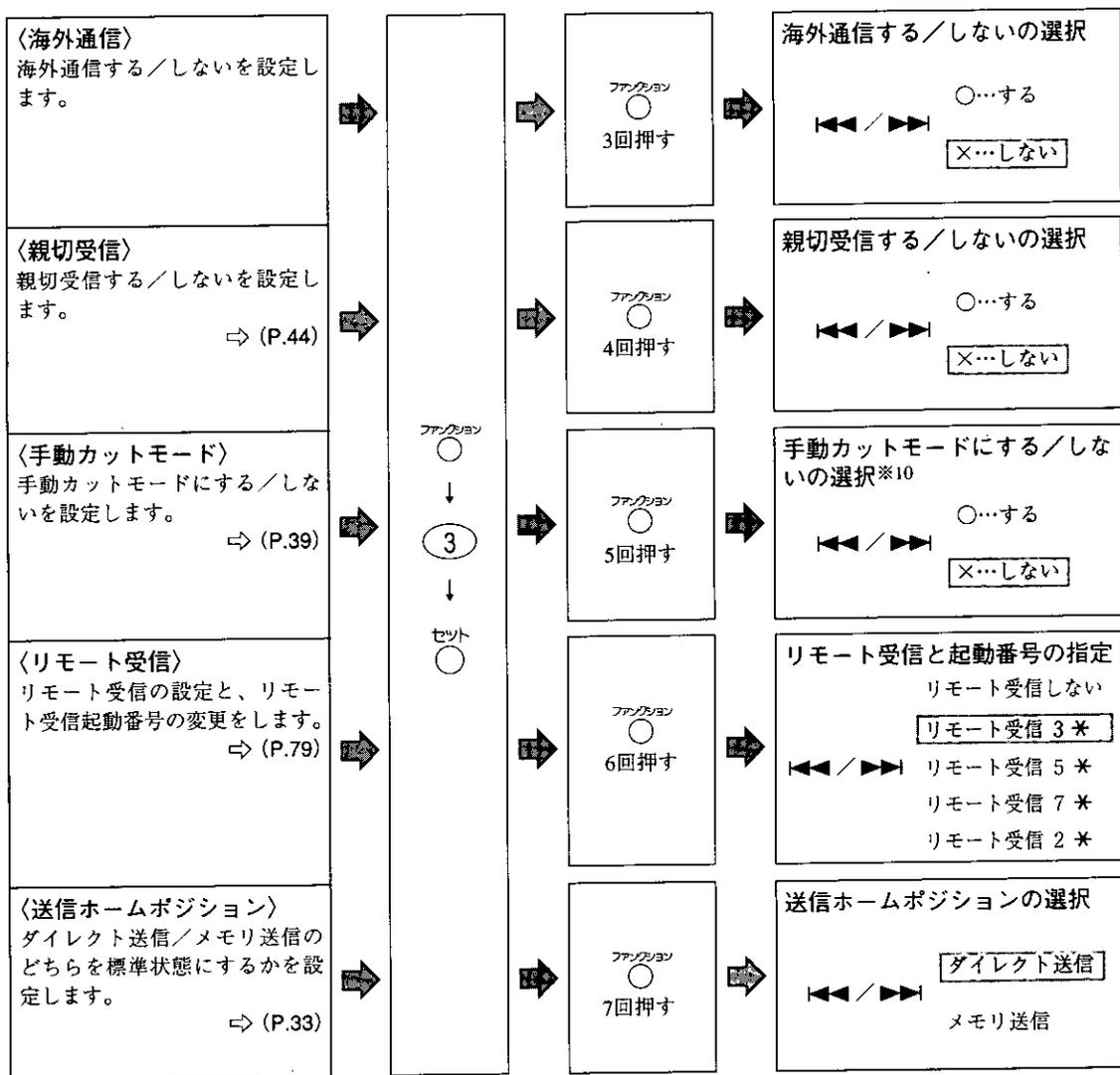
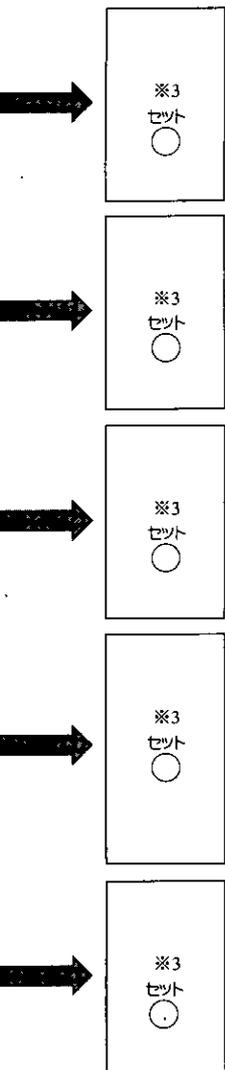
「無鳴動着信する」に設定すると、着信ベル回数の設定に関係なく、ファクス受信時には着信ベルが鳴らなくなります。また、電話の着信でベルがなったときには、電話に出なくても常に相手の方に通話料金がかかります。

お願い

音声メッセージを「流さない（×）」に設定した場合は、自動受信したあと、相手先への課金が始まっているにもかかわらず、呼出音「プルルルル…」が聞こえるだけになりますので、ご注意ください。

お願い

- 「無鳴動着信する」に設定している場合には、着信ベル回数の設定に関係なく、無鳴動着信の設定が優先されます。
- 着信ベル回数を10回以上に設定すると、相手のファクシミリが自動送信の場合に自動的に受信できないことがあります。
  手動受信モード（着信ベル回数無制限）にするには、ベル回数の設定値として「＊」を入力してください。

※3 続いてほかの登録をするときは、[セット] ボタンの代わりに [ファンクション] ボタンを押します（一つ前の手順で「しない（×）」を選んだとき以外）。

登録・設定をする際は、ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。途中で登録・設定をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。登録した内容を変更したいときは、同じ手順で登録しなおします。お買い求めのときは、[　　] に設定されています。

※3 続いてほかの登録をするときは、[セット] ボタンの代わりに [ファンクション] ボタンを押します。
※10 手動カットモードを「する (○)」に設定した場合は、コピーした記録紙も、受信したときと同様に自動カットされなくなります。手動カットをするときは、[ストップ] ボタンを押すと、最後のページの終わりをカットすることができます。

表記の説明

①②…：ダイヤルボタンを順に押します。

ファンクション セット：各ボタンを順に押します。

⏮/⏭：[⏮]ボタンまたは[⏭]ボタンを押します。

お願い

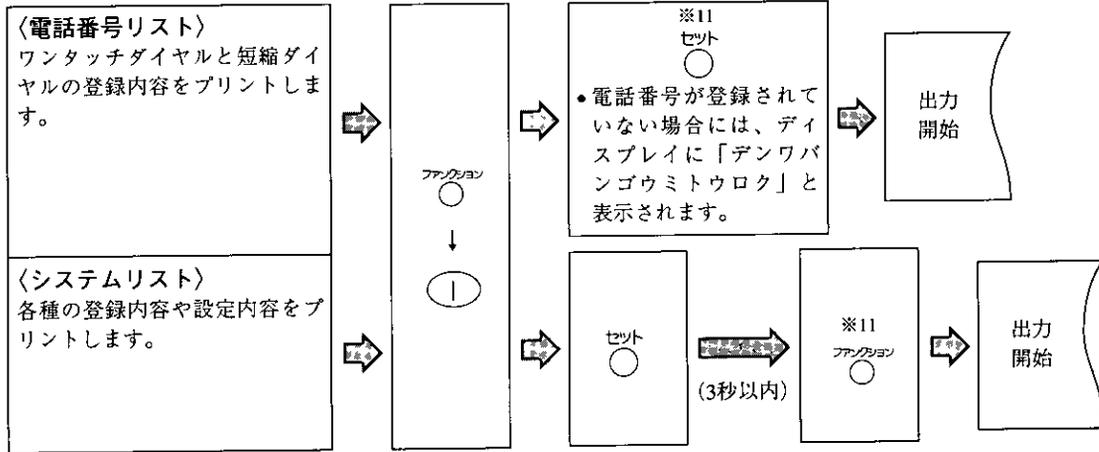
■国際ダイヤル通信を利用して海外にファクシミリを送る場合、国際電話番号（001、0061、0041）をダイヤル後、そのまま国番号と相手先電話番号をダイヤルしても途中で話し中になり、通信できないことがあります。このようなときは、国際電話番号のあとに［再ダイヤル／ポーズ］ボタンを2回押し（約6秒間の空白時間が入ります）、残りの電話番号をダイヤルしてください。それでも通信できない場合は、受話器をとって回線の接続具合を確認しながらダイヤルしてください。

■国内の相手に送るときは、「海外通信しない」に設定してください。

お願い

ダイヤル回線（DP）の設定でお使いの場合は、リモート受信起動番号の変更はできません。
「5＊」「7＊」「2＊」に設定しても、リモート受信起動番号は「3＊」のままです。

リストプリント

登録・設定をする際は、ハンドスキャナが外れていないことを確認してください。途中で登録・設定をやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

電話番号リストのプリント例

デ゛ンワ バ゛ンコ゛ウ リスト

1997. 4. 30 12:06

トウキョウ シシャ

ワンタッチ	タンシュク	アイテサキ	デ゛ンワバ゛ンコ゛ウ
1	01	エイギ゛ョウ	0335095538
2	02	カイハツ	0335094202
3	03	トウキョウ シシャ	0337407951
	04	トウカイ シシャ	0522641434
	05	ホクリク シシャ	0762446785
	06	シコク シシャ	0899362136
	07	キュウシュウ シシャ	0963212121
	08	ホッカイト゛ウ シシャ	0112124413
	09	サイタマ シシャ	0488826645
	10	イバ゛ラキ シシャ	0292311049

※11 約3秒後にプリントを開始します。[セット] ボタンを押すと、すぐにプリントを開始します。
途中でプリントをやめたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。

表記の説明

①②…：ダイヤルボタンを順に押します。

ファンクション セット
○ ○ ：各ボタンを順に押します。

お願い

システムリストを出力するときは、［セット］ボタンを押したあと3秒以内に［ファンクション］ボタンを押してください。3秒以上経過すると、電話番号リストがプリントされます。

システムリストのプリント例

システム リスト

1997. 4. 30 12：06

エイギ゛ョウ

コ ウ モ ク	ナ イ ヨ ウ
キロクシサイズ゛	B4
ムメイト゛ウ チャクシン	シナイ
オンセイ メッセージ゛	ナガ゛ス
チャクシンベ゛ル カイスウ	6 カイ
ヨビ゛ダ゛シベ゛ル カイスウ	10 カイ
ヨミトリ ノウド゛	フツウ
ペ゛ーバ゛ーセーブ゛	シナイ
ハッシンモト キロク	スル
カイガ゛イツウシン モード゛	シナイ
シンセツ ジ゛ュシン	シナイ
シュド゛ウ カット	シナイ
リモート ジ゛ュシン	スル ダ゛イヤル セッテイ ＝ 3（*）
ソウシン ホームポ゛ジ゛ション	ダ゛イレクト ソウシン
カイセン シュベ゛ツ	PB
マイネーム デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ アイテサキ マイネーム	 03 1234 5678 タナカサン ハナチャンヨリ
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ	0335095538
ハッシンモト	エイギ゛ョウ
オヤスミ オン ジ゛コク オヤスミ オフ ジ゛コク	22：00 6：00
リモート ソウサ リモート トリダ゛シ	スル スル リモート バ゛スワード゛ ＝ 3210
ヨウケン テンソウ テンソウサキ	スル 0337407951
ダ゛イヤルイン	シナイ
サイセイ ジ゛ュンジ゛ョ	OLD —— NEW
トールセイバ゛	スル
FAX ジ゛ョウホウ ワンタッチ1 ナマエ ホウシキ アイテ コード゛ ワンタッチ2 ナマエ ホウシキ アイテ コード゛ ワンタッチ3 ナマエ ホウシキ アイテ コード゛	 NTTカイハツ ポ゛ーリング゛ ホウシキ 0335094202 NTTトウキョウ ガ゛イダ゛ンス ホウシキ 0337407951 01#PP02# NTTトウカイ Fネット ホウシキ 162#2840522641 43401#

文字の入れかた

発信元（自分の名前）を登録するときや、ワンタッチダイヤルや電子電話帳（短縮ダイヤル）に相手先の名前を登録するときなどの文字の入れかたを説明します。⇨（P.90）

ワンポイント

◎カタカナ、数字、アルファベット、記号が入力できます。

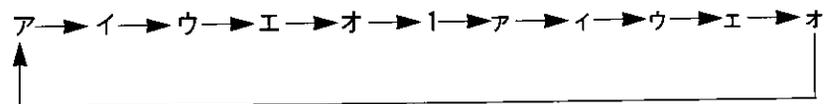
文字の選びかた

文字は、ダイヤルボタンで選びます。どのボタンを何回押すと、どの文字が表示されるのかは、下記の表をご覧ください。

ボタン	押した回数と表示する文字														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1	ア	イ	ウ	エ	オ	1	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ				
2	カ	キ	ク	ケ	コ	2	A	B	C						
3	サ	シ	ス	セ	ソ	3	D	E	F						
4	タ	チ	ツ	テ	ト	4	G	H	I	ッ					
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	5	J	K	L						
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	6	M	N	O						
7	マ	ミ	ム	メ	モ	7	P	Q	R	S					
8	ヤ	ユ	ヨ	8	T	U	V	ャ	ュ	ョ					
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	9	W	X	Y	Z		
0	ﾞ	ﾟ	ー	.	空白	0	(	)	・	'	*	#	&	、	。

ワンポイント

◎［0］ボタンを5回押して「空白」を選ぶと1文字分間が空きます。

ダイヤルボタンを押すごとに、上の表に示す順に文字を表示します。例えば、［1］ボタンを押すごとに、次のような順で文字を表示します。

文字の入力のしかた

〈例〉発信元登録で「エイキ゛ョウ」と登録する場合

表示	操作
エ	**1** [1]ボタンを4回押します。 「エ」を表示します。
エ_	**2** [▶▶|]ボタンを押します。 「エ」が入力されます。
エイ	**3** [1]ボタンを2回押します。 「イ」を表示します。
エイ_	**4** [▶▶|]ボタンを押します。 「イ」が入力されます。
エイキ	**5** [2]ボタンを2回押します。 「キ」を表示します。
エイキ_	**6** [▶▶|]ボタンを押します。 「キ」が入力されます。
エイキ゛	**7** [0]ボタンを1回押します。 「゛」を表示します。
エイキ゛_	**8** [▶▶|]ボタンを押します。 「゛」が入力されます。
エイキ゛ヨ	**9** [8]ボタンを10回押します。 「ョ」を表示します。
エイキ゛ヨ_	**10** [▶▶|]ボタンを押します。 「ョ」が入力されます。
エイキ゛ヨウ (カーソル)	**11** [1]ボタンを3回押します。 「ウ」を表示します。
カンリョウ	**12** [セット]ボタンを押します。 「エイギョウ」が入力されます。

▶ 文字を間違えたときは

[|◀◀] ボタン、[▶▶|] ボタンで間違えた所にカーソルを移動して訂正します。最初から入れなおすときは、[保留／クリア] ボタンを押します。

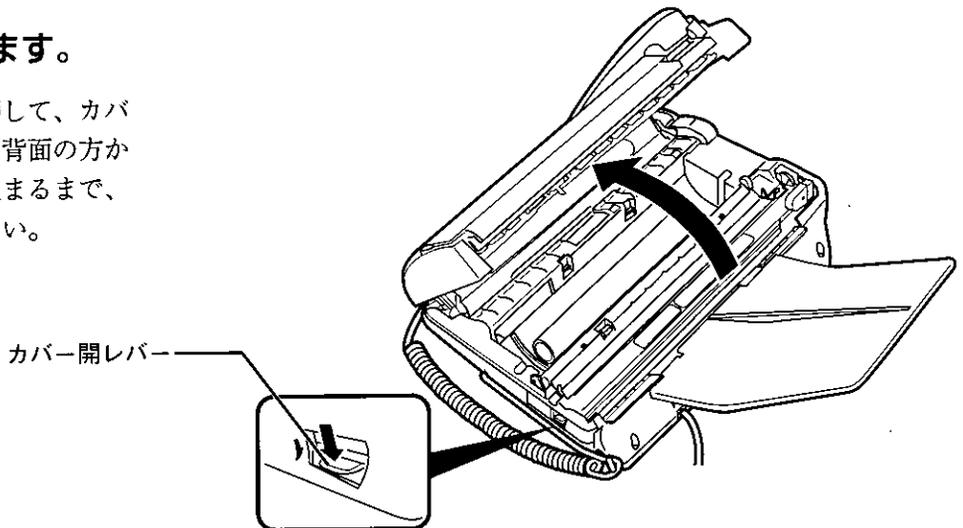
記録紙を交換するとき

記録紙がなくなると、ディスプレイに「カバー／キロクシ　カクニン」と表示され、アラームランプ(赤色)が点灯します。
受信している途中で記録紙がなくなると、「ピーピーピーピーピー」という音がして、受信を中断します。記録紙がなくなると、次に受信した文書からはメモリに記憶され、新しい記録紙を入れると自動的にプリントします。

ワンポイント
◎記録紙の端に赤い帯が見えはじめたら、記録紙を交換してください。

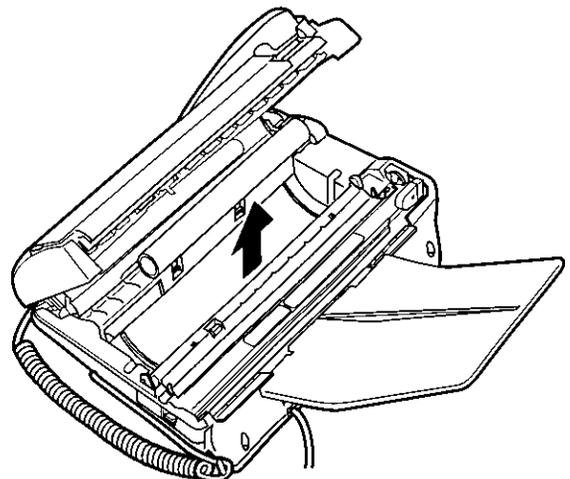
お願い
■記録紙の交換は、電源を入れたまま行ってください。
■記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をお勧めします。
⇨ (P.116)

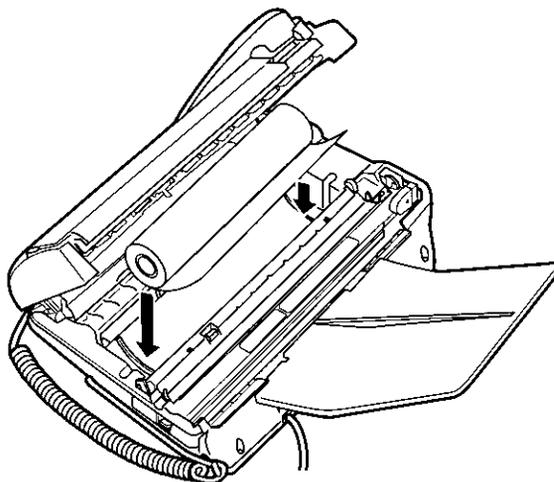
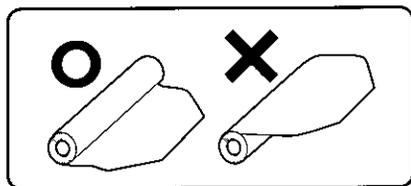
1 カバーを開けます。

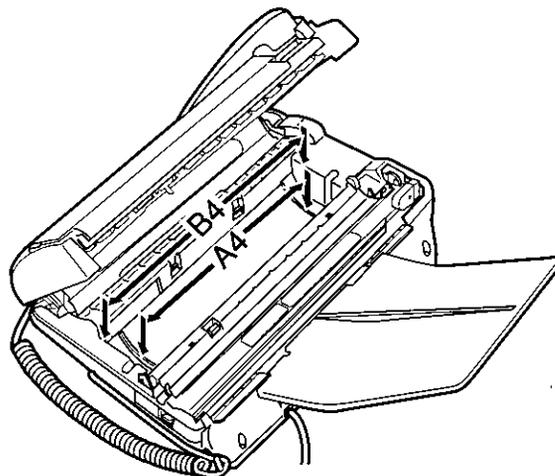
カバー開レバーを下に押して、カバーを開けます。カバーは背面の方から開きます。カバーは止まるまで、いっぱいに開けてください。

⚠ 注意

●このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

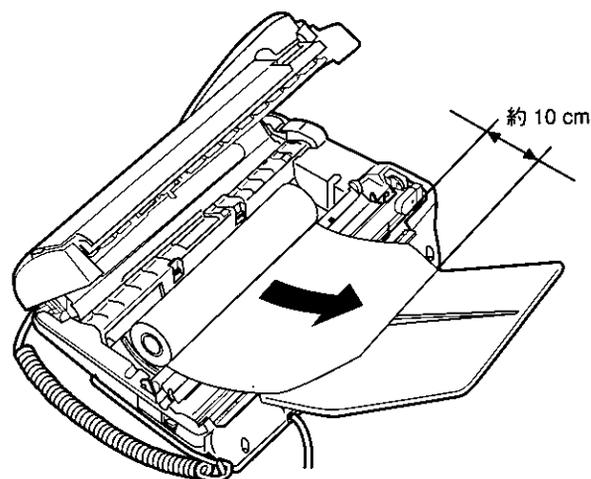
●サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

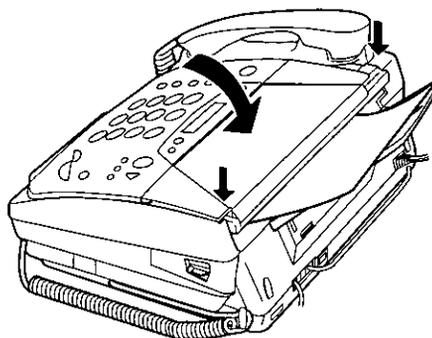
2 古い記録紙の巻芯を取り除きます。

3 新しい記録紙を入れます。

新しい記録紙を包装紙から出し、本機の中に入れます。

お願い
記録紙の向きを間違えないように注意してください。向きを間違えるとプリントされず、白紙が出てきます。

▶ A4サイズの記録紙を入れるときは
記録紙受け部の段差の中に入れてください。

4 記録紙を引き出します。

記録紙の先端を本機より10 cm位引き出します。

第5章 記録紙を交換するとき

5 カバーを閉めます。

記録紙をはさむように、カバーを閉めます。カバーの両端を押して、確実に閉めてください。

6 記録紙のサイズを選びます。

[1]、[2]または[⏮]、[⏭]ボタンで記録紙サイズを選びます。

```
ｷﾛｸｼﾊ? 1:B4 2:A4
```

〈例〉 B4の記録紙をセットした場合
[1]ボタンを押します。

7 [セット]ボタンを押します。

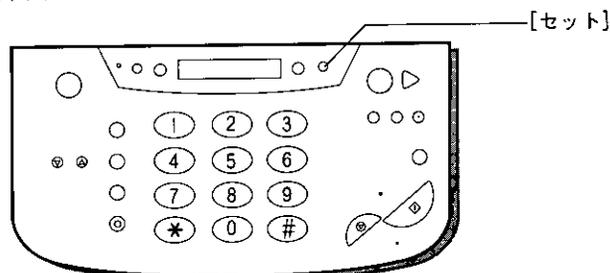
記録紙サイズが設定されます。
しばらくすると(約5秒)、自動的に記録紙がカットされます。これで記録紙の交換は終わりです。

```
ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ B4 ﾆｼﾏｼﾀ
```

▼

```
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
```

▼

```
4/30 12:00      0
```

ワンポイント

◎［セット］ボタンを押さなくても、30秒経つと選んだ記録紙サイズが設定されます。
◎「キロクシサイズB4　ニシマシタ」と表示されている間に、もう一度［セット］ボタンを押すと、すぐに記録紙をカットします。

お願い

■記録紙サイズは、正しく設定してください。

記録紙サイズ	設定値	受信したサイズ	
		A 4	B 4
A 4	A 4	A4幅にプリント	A4縮小してプリント
	B 4	A4幅にプリント＊	A4幅原寸　＊
B 4	A 4	A4幅にプリント	A4縮小してプリント
	B 4	A4幅にプリント	B4幅原寸

＊はみ出した部分はプリントされません。

■記録紙を交換したら、コピーをとって記録紙が正しくセットできたか確認してください。記録紙の表裏を逆さに入れると、プリントされず白紙が出てきます。

記録紙を交換してもメモリ内の受信文書がプリント出力されないときは

メモリ内にB4サイズの受信文書が入っているときに、B4サイズの記録紙からA4サイズの記録紙に交換すると、記録紙を交換してもディスプレイに「B4キロクシヲイレテクダサイ」と表示され、メモリ内の受信文書がプリントされません。このようなときは、B4の記録紙を入れてください。B4の記録紙がないときは、一度カバーを開け、記録紙を引き出してから、もう一度カバーを閉じてください。ディスプレイに「キロクシハ？1：B4　2：A4」と表示されますので、「B4」を選んでください。メモリ内の文書がプリントされます。ただし、この場合記録紙からはみ出した部分はプリントされません。

ワンポイント

◎メモリ内の受信文書をプリントしたら、もう一度カバーを開け、記録紙を引き出してからカバーを閉じ、記録紙サイズを「A4」にセットしなおしてください。

お願い

記録紙の保存方法

■高温、多湿、直射日光を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。

■青焼紙等と重ねて保管しないでください。記録紙が変色します。

受信した記録紙の取り扱い

●ハイグレード感熱記録紙をご使用の場合

普通の感熱紙にくらべ、長期間の保存に適しています。さらに、普通紙のように鉛筆で書き込みができ、朱肉やマーカーペンを使っても、変色しにくくなっています。

●普通の感熱記録紙をご使用の場合

消しゴム、粘着テープ、ボンド、スティックのりなどを使うと、変色することがあります。硬い物で押さえたり、重い物をのせたりした場合も変色することがあります。

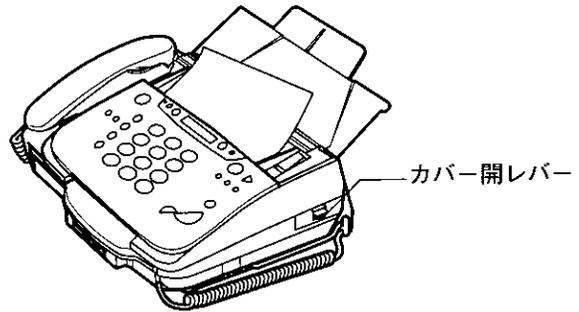
長期間保存したい場合は、普通紙にコピーするか、「ハイグレード感熱記録紙」をご使用ください。

紙づまりのとき

原稿がつまったとき

原稿が正しくセットされていなかったり、そのままでは送れない原稿をセットしたりすると、読み取り中に原稿がつまってしまうことがあります。
原稿がつまると、ディスプレイに「ゲンコウ　カクニン」と表示され、アラームランプ（赤色）が点灯します。
送信の途中で原稿がつまると、「ピーピーピーピーピー」という音がして送信を中断します。

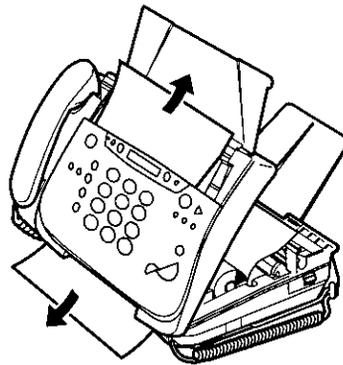
1 カバーを開けます。

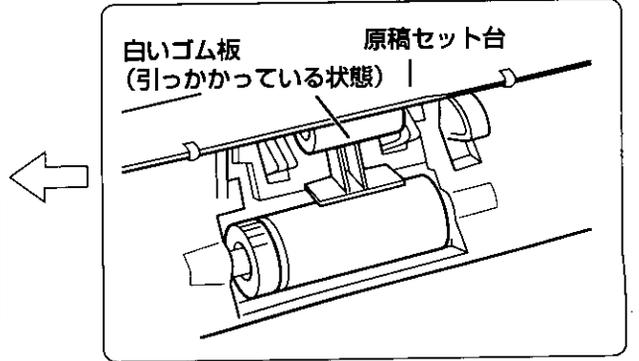
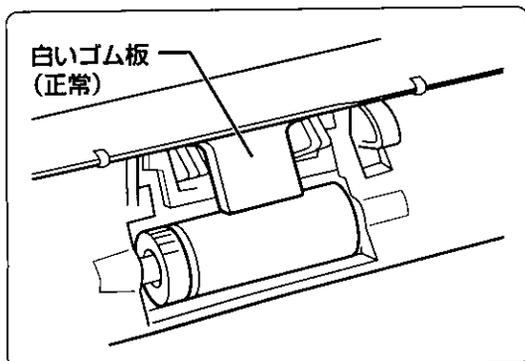
カバー開レバーを下に押して、カバーを開けます。カバーは背面の方から開きます。カバーは止まるまで、いっぱいに開けてください。原稿が軽く動かせるようになります。

⚠ 注意

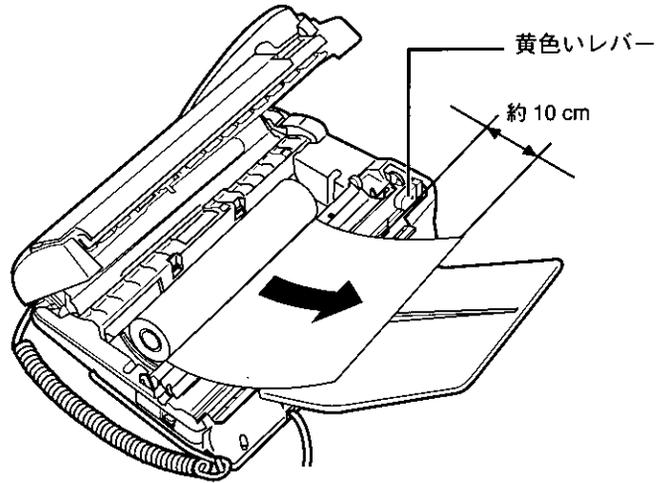
●このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

2 原稿を取り除きます。

原稿をセットする側か、排出される側のどちらか取りやすいほうから、ゆっくりと引き抜いてください。原稿挿入口に原稿が残っているときは、残っている原稿を取ってから、つまっている原稿を取り除いてください。

ご注意

●つまった原稿をセットする側から取り除いたときは、必ず取り除いたあとに、開けたカバーの内側中央部の白いゴム板が原稿セット台に引っかかっていないことを確認してください。
引っかかっていた場合は、左下の図のように元に戻してください。
白いゴム板が引っかかったままでいると、原稿が送り込まれていかないことがあります。

3 記録紙を引き出します。

記録紙の先端を本機より 10 cm位引き出します。

お願い

黄色いレバーが図の位置にないときは、手で押して図の位置に戻してください。レバーが正しい位置にないままカバーを閉めると、記録紙づまりの原因となることがあります。

4 カバーを閉め、[セット]ボタンを押します。

記録紙をはさむように、カバーを閉めます。カバーの両端を押して、確実に閉めてください。
しばらくすると(約5秒)、自動的に記録紙がカットされます。

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

▼

4/30 12:00 　　0

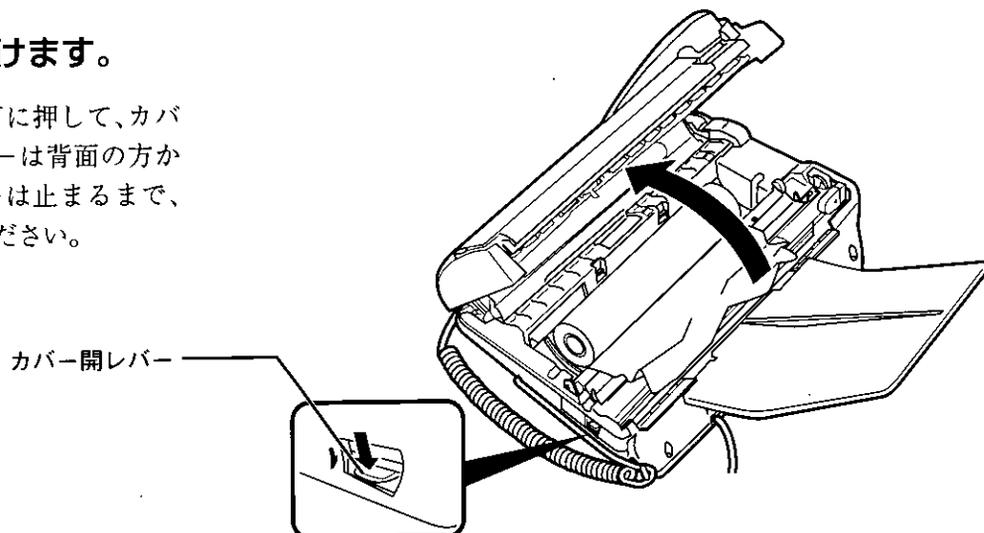
ワンポイント

◎「キロクシサイズB 4　ニシマシタ」と表示されている間に、もう一度［セット］ボタンを押すと、すぐに記録紙をカットします。

第5章 紙づまりのとき

記録紙がつまったとき

記録紙がつまると、ディスプレイに「カバー／キロクシ　カクニン」と表示され、アラームランプ（赤色）が点灯します。
受信の途中で記録紙がつまると、「ピーピーピーピーピー」という音がして受信を中断します。

1 カバーを開けます。

カバー開レバーを下に押して、カバーを開けます。カバーは背面の方から開きます。カバーは止まるまで、いっぱいに開けてください。

注意

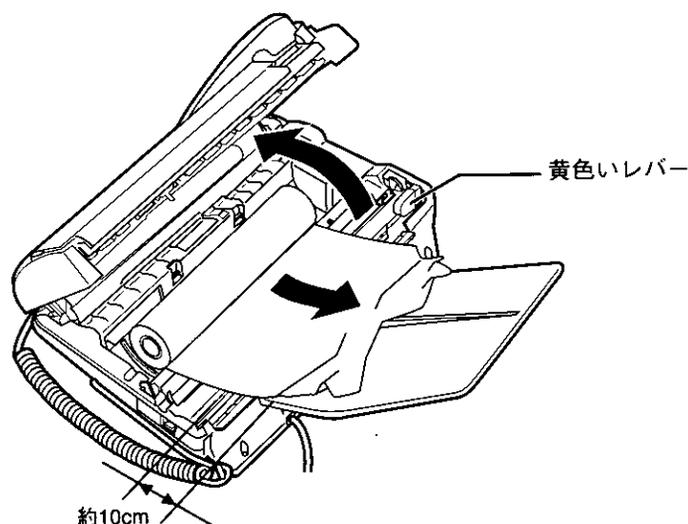
- このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

お願い

- ■記録紙スタッカに記録紙が残っているときは、記録紙を取り除いてから、カバーを開けてください。
- ■記録紙がつまったときの処置は、電源を入れたままで行ってください。

2 記録紙を引き出します。

記録紙のしわになった部分から、本機より 10 cm位長く引き出します。

お願い

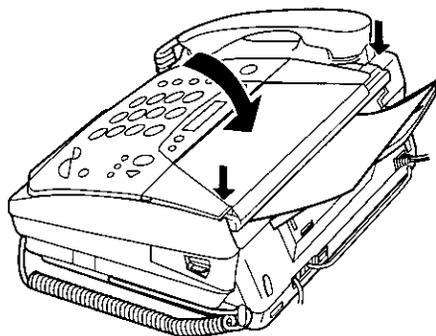
- ■黄色いレバーが図の位置にないときは、手で押して図の位置に戻してください。レバーが正しい位置にないままカバーを閉めると、記録紙づまりの原因となることがあります。
- ■記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で用紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さずにすべて取り除いてください。

3 カバーを閉め、[セット]ボタンを押します。

記録紙をはさむように、カバーを閉めます。カバーの両端を押して、確実に閉めてください。
しばらくすると(約5秒)、自動的に記録紙がカットされます。

シバ゛ラク オマチクダ゛サイ
▼
4/30 12:00 0

ワンポイント

◎「キロクシサイズB4 ニシマシタ」と表示されている間に、もう一度[セット]ボタンを押すと、すぐに記録紙をカットします。

停電がおきたときは

停電がおきた場合や電源プラグをコンセントから抜いた場合は、次のようになります。

できること
電話をかけたり受けたりできます。(ダイヤルボタンでダイヤルした場合のみ、電話をかけられます。)

できないこと
ファクシミリの機能・動作が停止し、ファクシミリを送ることも、受けることもできません。
保留、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルおよび再ダイヤルは使用できません。

停電のあとには
消えてしまう情報と消えない情報があります。

消えてしまう情報	・ハンドスキャナを使って読み込んだ原稿 ・メモリ送信でメモリに読み込んだ送信原稿 ・再ダイヤルに記憶された電話番号
消えない情報	・時刻(36時間を超えない停電のとき) ・留守番電話に録音した応答メッセージ ・留守番電話に録音された相手先の用件 ・メモリに記憶されている受信文書 ・登録した電話番号、発信元、ワンタッチダイヤル、電子電話帳、パスワードなど ・自動的にファクシミリを受けるまでのベルの回数や、ペーパーセーブなどの設定

ワンポイント
◎36時間以上の停電が続いた場合は、時刻の情報は消えてしまいます。停電復旧後に、時刻を合わせてください。
◎消えてしまった情報は、メモリクリアレポートで知ることができます。メモリクリアレポートは、停電が復旧すると自動的に出力されます。

メモリクリアレポートの例

メモリクリア　レポ゜ート

NTTエイキ゛ョウ

イカノ　ナイヨウカ゛、テイテ゛ンニヨリ　クリア　サレマシタ。

メモリ　ソウシン　フ゛ンショ

ウケツケ　ニチシ゛	ツウシン　シ゛カン	ア　イ　テ　サ　キ	モート゛	マイスウ	ツウシン　ケッカ
4. 30　13:00	0' 07"	0335094202	ECM	1	テイテ゛ン

故障かなと思ったら

故障かなと思ったときは、局番なしの113番に連絡する前に下記のことを確認してみてください。

送信のとき

こんなときは	対処方法
原稿をセットしたのに「ゲンコウ　ガ　アリマセン」の表示が出た。 原稿が送り込まれていかない。	・原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。(P.28) ・原稿が小さすぎます。ハンドスキャナ(P.76)または別売のキャリアシート(P.23)を使って送信してください。
原稿が斜めに入った。	・原稿を取り除き、もう一度送りなおしてください。(P.106) ・原稿ガイドを原稿の幅に合わせてください。(P.28) ・ローラを清掃してください。(P.18、19)
原稿の読み取り中に「ピーピーピーピーピー」という音がして止まってしまい、「ゲンコウ　カクニン」と表示が出た。	・原稿を取り除き、もう一度送りなおしてください。(P.106) ・原稿が厚すぎます。ハンドスキャナを使って送信してください。(P.76) ・原稿が薄すぎます。ハンドスキャナ(P.76)または別売のキャリアシート(P.23)を使って送信してください。 ・原稿が小さすぎます。ハンドスキャナ(P.76)または別売のキャリアシート(P.23)を使って送信してください。 ・ローラを清掃してください。(P.18、19) ・中央部の白いゴム板が原稿セット台に引っかかっていないか確認してください。引っかかっている場合は、元に戻してください。(P.106)
原稿が送られず、「アイテサキ　ムオウトウ」と表示が出た。	・相手先が電話にでません。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。 ・相手先のファクシミリが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度かけなおしてください。 ・回線種別を正しく設定してください。(P.13) ・電話回線が正しく接続されていません。電話回線接続コードを接続してください。電話回線接続コードを正しく接続しても、受話器をとって「ツー」という音がしないときには、他の電話回線で局番なしの113番にご連絡ください。
送信中に「ピーピーピー」という音が鳴り出した。	・相手のファクシミリに記録紙切れ等が起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。
原稿が送られず、「アイテサキ　ハナシチュウ」と表示が出た。	・相手先が話中(ファクシミリの使用中)です。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。 ・回線が混み合っています。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。
原稿が送られず、「ツウシン　イジョウ××」と表示が出た。	・エラー番号表(P.115)を参照して、処理してください。(××はエラー番号を表示します)
相手側での受信の状態が鮮明でない。	・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り部を清掃してください。(P.18)コピーが鮮明なときは、回線または相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。 ・キャッチホンが入った可能性があります。もう一度送りなおしてください。 ・「画質」を合わせてください。(P.24) ・「読み取り濃度」を調節してください。(P.26)
送信した原稿が相手先で白紙になる。	・相手先の記録紙が表裏逆になっている可能性があります。相手先に確認してもう一度送りなおしてください。 ・原稿を反対向きにセットした可能性があります。原稿を裏向きにセットして、もう一度送りなおしてください。(P.27)
相手先で受信した原稿に黒いすじが入る。	・本機でコピーをとってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り部を清掃してください。(P.18)コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。
相手先で受信した原稿がかすれた。 相手先で受信した原稿が薄い。	・読み取り濃度を濃くして、もう一度送りなおしてください。(P.26)
送信に時間がかかる。	・画質の設定を「コマカイ」や「シャシン」にしたときは、「フツウ」や「チイサイ」にしたときに比べ、送信に時間がかかります。(P.24) ・画質の設定を「ジドウ」にしたときは、原稿の内容により送信時間が長くなることがあります。(P.24) ・原稿に黒い部分が多いときは、送信に時間がかかります。 ・回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。

受信のとき

こんなときは	対処方法
ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない。	・記録紙を交換してください。(P.102) ・コピー中や登録中のときは、[ストップ]ボタンを押して、コピーや登録を止めてください。 ・手動受信モードになっていないか確認してください。(P.94) ・相手先がファクシミリ信号を出さないタイプである可能性があります。受話器をとって受信の操作をしてください。(P.38)
受信した記録紙に黒いすじが入る。	・本機でコピーをとってください。コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送りなおしてもらってください。コピーにも黒いすじが入るときは、局番なしの113番にご連絡ください。
「シバラク　オマチクダサイ」と表示が出たままになった。	・電源を入れたまま、しばらくご使用を控えてください。
「ツウシン　イジョウ　　××」と表示が出た。	・エラー番号表(P.115)を参照して、処理してください。(××はエラー番号を表示します)
「カバー／キロクシ　カクニン」と表示が出た。	・記録紙がつまりました。取り除いてください。(P.108) ・新しい記録紙を入れてください。(P.102) ・カバーを閉めてください。
受信中に「ピーピーピー」という音が鳴りだした。	・相手のファクシミリに原稿づまり等が起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてもらってください。
受信中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した。	・[ストップ]ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。 ・記録紙がつまりました。取り除いてください。(P.108) ・記録紙がなくなりました。新しい記録紙を入れてください。(P.102) ・相手先に原因がある可能性があります。相手先に確認してください。
受信した原稿が白紙になる。	・記録紙が表裏逆になっています。記録紙を入れなおしてください。(P.11) ・相手先の原稿が表裏逆になっていないか確認してください。
受信した画像が鮮明でない。	・キャッチホンが入った可能性があります。もう一度送りなおしてもらってください。 ・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送りなおしてもらってください。 ・当社推奨品の記録紙を使用してください。
親切受信できない。	・親切受信するように設定されているか確認してください。(P.96)

コピーのとき

こんなときは	対処方法
コピーが鮮明でない。	・原稿読み取り部を清掃してください。(P.18) ・当社推奨品の記録紙を使用してください。
コピーが白紙になる。	・原稿を裏向きにセットして、もう一度コピーをとってください。 ・記録紙が表裏逆になっています。記録紙を入れなおしてください。(P.11)
コピーがかすれた。 コピーが薄い。	・読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーをとってください。(P.26)
コピー中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した。	・[ストップ]ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。 ・記録紙がつまりました。取り除いてください。(P.108) ・記録紙がなくなりました。新しい記録紙を入れてください。(P.102)

待機中のとき

こんなときは	対処方法
ディスプレイに何も表示されない。	・電源プラグを確認してください。(P.9)
「カバー／キロクシ　カクニン」と表示が出た。	・新しい記録紙を入れてください。(P.102) ・カバーを閉めてください。

電話のとき

こんなときは	対処方法
電話がかけられない	・回線種別の設定がご使用の回線の種別に合っているか確認してください。(P.13)
受話器から何も聞こえない。	・本機のカールコードが受話器に接続されているか確認してください。(P.8) ・回線が接続されているか確認してください。(P.9)
電話をとったが何も聞こえない。	・相手がファクシミリである可能性があります。[スタート]ボタンを押してください。
相手の声が聞き取りにくい。 ダイヤルしても呼出音が受話口から聞こえない。	・受話音量を調節してください。(P.46)
ダイヤルしても呼出音がモニタスピーカから聞こえない。 ハンズフリー通話のとき、相手の声が聞き取りにくい。	・モニタ音量を調節してください。(P.29、50)
電話の呼出ベルの音が小さい(大きい)。	・呼出ベルの音量を調節してください。(P.42)

留守番電話のとき

こんなときは	対処方法
留守設定できない。 「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください。」と聞こえた。	・用件がいっぱいです。用件を消去してください。(P.61)
リモート操作ができない。	・パスワードを登録してください。(P.92) ・プッシュホンまたはプッシュ信号の出せる電話機から電話をかけてください。(P.64) ・「リモート操作する」に設定してください。(P.92)

ハンドスキャナのとき

こんなときは	対処方法
「ハンドスキャナ　カクニン」と表示が出た。	・ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。(P.72)
ハンドスキャナで読み取ると、拡大コピーになる。 ハンドスキャナで読み取ると、縮小コピーになる。	・拡大・縮小コピーの設定を確認してください。(P.78)

メモリランプが点灯したとき

メモリランプが点灯しているときは、次のそれぞれの場合の処置に従い、メモリ内の文書をプリントしてください。

▶「カバー／キロクシ　カクニン」と表示されているとき

●記録紙がなくなっています。記録紙を交換してください。(P.102)
●記録紙がつまっています。つまった部分を取り除いてください。(P.108)

▶　[おやすみ] ボタンが点灯しているとき

おやすみボタンを押して、おやすみモードを解除してください。(P.71)

▶　[留守] ボタンが点滅しているとき

リモート取り出し、受信文書転送の設定をしてあるときは、受信文書がメモリに記憶されています。[留守] ボタンを押して、留守設定を解除してください。(P.64、69)

メモリの容量について

メモリには、「フツウ」モードで送られてきた、A4判に700字程度の文字が書かれた原稿で、最大20枚程度記憶することができます。ただし、受信文書を記憶するメモリは、留守番電話の用件を録音するメモリと同じものなので、留守番電話の用件がたくさん入っていると記憶できる文書が少なくなってしまいます。用済みの用件は、こまめに消去するようにしてください。

主なエラー番号

ファクシミリの送信中や受信中に異常があると、ディスプレイに「ツウシン　イジョウ　　　××」と表示されたり、不達レポートのツウシンケッカ欄に「××」とプリントされます。「××」は、２桁の英数字で異常の内容を示しています。この２桁の番号をエラー番号と呼びます。
エラー番号が出たときは、ここで説明している処置を行ってください。

ワンポイント
◎ここに示した以外のエラー番号が出たときは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。

エラー番号	内容と対処方法
00 72 74 77 78 92 97 98	●原稿が正しくセットされていないため、送信できませんでした。原稿を正しくセットして、もう一度送りなおしてください。 ●受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿がつまった可能性があります。相手先に確認してください。 ●相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手機の電源が入っていない可能性があります。相手先に確認してください。 ●送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手機の記録紙がなくなった、もしくは、記録紙がつまった可能性があります。相手先に確認してください。
40	●記録紙がなくなりました。記録紙を交換してください。
41	●記録紙がつまりました。取り除いてください。
46	●原稿がつまりました。セットしなおしてください。
47	●カバーが開いています。カバーを閉じてください。
71	●相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認してください。

消耗品の購入について

感熱記録紙

A4サイズ　(210 mm×30 m)
B4サイズ　(257 mm×30 m)
(ロール紙：外径62 mm以下、巻き芯内径25 mm(約1インチ))

ハイグレード感熱記録紙

A4サイズ　(210 mm×20 m)
B4サイズ　(257 mm×20 m)
(ロール紙：外径62 mm以下、巻き芯内径25 mm(約1インチ))

※記録紙にハイグレード感熱記録紙を使うと、受け取ったファクシミリに書き込みがしやすくなります。

●感熱記録紙は記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をお勧めします。当社指定の記録紙については、テルウェルファックス受注センタへお申しつけください。

※なお、当社指定の記録紙の他に、日本電気製感熱記録紙（20mまたは30m）の使用も可能です。

キャリアシート

A4サイズ
B4サイズ

●NTTの窓口等にお申しつけください。

登録・設定の一覧

登録したり設定したりできる項目のすべてを次に示します。
音量の調節やプッシュ信号の出力、画質の調節など、ボタンひとつで操作できる項目については本文をご覧ください。

本体の登録・設定

ワンポイント
◎お買い求めいただいたときは、アンダーラインで示した設定になっています。

送信設定

	設定内容		参照ページ
メモリ送信選択	○ する	× しない	P.33

受信設定(在宅時のための設定)

	設定内容		参照ページ
無鳴動着信	○ する	× しない	P.94
音声メッセージ	○ 流す	× 流さない	P.94
着信ベル	1～19回(6回)、無制限		P.94
呼出ベル	1～19回(10回)		P.94

設定モード

	設定内容			参照ページ
読み取り濃度 (送信時/コピー時)	■□□□□ ～ 薄くプリント	■■■■■ 濃くプリント	(■■■□□)	P.26、94
ペーパーセーブ (受信時)	○ する	× しない		P.94
発信元記録 (送信時)	○ する	× しない		P.94
海外通信 (送受信時)	○ する	× しない		P.96
親切受信 (受信時)	○ する	× しない		P.96
手動カットモード (受信時)	○ する	× しない		P.96
リモート受信	しない 3＊ 5＊ 7＊ 2＊			P.96
送信ホームポジション	ダイレクト送信	メモリ送信		P.96

登録モード

	登録内容				参照ページ
宛先	ワンタッチダイヤル/電子電話帳（短縮ダイヤル）の相手先の名前と電話番号				P.90
マイネーム	自分専用の発信元名（マイネーム）				P.90
電話番号	自分の電話番号				P.90
発信元	自分の名前または会社名 （自分の電話番号）				P.90
おやすみモードタイマ切替	オン	○ する	× しない	時刻	P.90
	オフ	○ する	× しない	時刻	
リモート操作	リモート操作	○ する	× しない		P.92
	リモート取り出し	○ する	× しない		
	リモートパスワード				
転送先	用件転送（転送先登録）	○ する	× しない		P.92
	転送先				
ダイヤルイン	○ する	× しない	ファクシミリ番号と電話番号		P.92
時刻	日付、時刻				P.92

機能選択早見表

機能	操作	変化
メモリ送信選択	[ファンクション]+[ファンクション] (P.33)	
リストプリント	[ファンクション]+[1]+[セット]	[ファンクション]を押すごとに次のように変化します。 →電話番号リストプリント(P.98)→システムリストプリント(P.98)→
受信設定	[ファンクション]+[2]+[セット]	[ファンクション]を押すごとに次のように変化します。 →無鳴動着信(P.94)→音声メッセージ(P.94)→着信ベル回数(P.94)→呼出ベル回数(P.94)→
設定モード	[ファンクション]+[3]+[セット]	[ファンクション]を押すごとに次のように変化します。 →読み取り濃度(P.26)→ペーパーセーブ(P.94)→発信元記録(P.94)→海外通信(P.96)→親切受信(P.96)→手動カットモード(P.96)→リモート受信(P.96)→送信ホームポジション(P.96)→
登録モード	[ファンクション]+[4]+[セット]	[ファンクション]を押すごとに次のように変化します。 →宛先登録(ワンタッチ、電子電話帳、マイネーム登録)(P.90)→電話番号登録(P.90)→発信元登録(P.90)→おやすみモードタイマ切替登録(P.90)→リモート操作登録(P.92)→転送先登録(P.92)→ダイヤルイン登録(P.92)→日付/時刻セット(P.92)→
留守番電話機能	[ファンクション]+[5]+[セット]	[ファンクション]を押すごとに次のように変化します。 →全用件消去(P.61)→応答メッセージ録音(P.58)→応答メッセージ消去(P.59)→用件再生順序(P.62)→トールセイバ(P.68)→
FAX情報登録	[ファンクション]+[FAX情報]	[ファンクション]を押すごとに次のように変化します。 →登録(P.83)→削除(P.85)→

索引

アルファベット

五十音

【ア行】

【カ行】

【サ行】

【マ行】

【ヤ行】

【ラ行】

【ワ行】

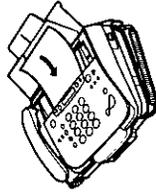
NTTFAX T-240 操作ガイド

NTT

※電源は常に入れておいてください。

※詳しくは取扱説明書をご覧ください。

送信のしかた　(P.29)

ダストカバーを開き、原稿をセットします。

※原稿は送る面を下にしてください。

自動送信

受話器を置いたまま相手先の電話番号をダイヤルします。

手動送信

受話器をとり、相手先の電話番号をダイヤルします。

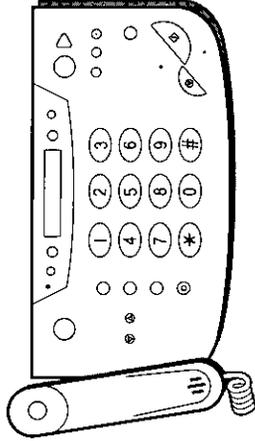
相手と話をします。受信の操作をしてもらいます。

[スタート]ボタンを押します。

（手動送信）受話器を戻します。

送信が終わると「ピーッ」という音がします。
ダストカバーを閉じてください。

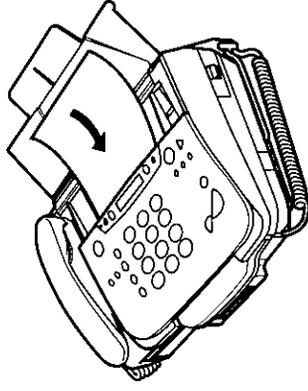
受信のしかた　(P.38)

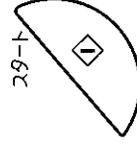
ベルが鳴ったら受話器をとります。
(「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえます。
声が聞こえたときは電話です。)

[スタート]ボタンを押してから受話器を戻します。
(「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」と聞こえたときは、そのまま受話器を戻します。)

受信を開始します。

受信が終わると「ピーッ」という音がします。

コピーのしかた　(P.45)

ダストカバーを開き、原稿をセットします。

※原稿はコピーする面を下にしてください。

[スタート]ボタンを押します。

コピーを開始します。

コピーが終わると「ピーッ」という音がします。
ダストカバーを閉じてください。

NTTFAX T-240　操作ガイド

NTT

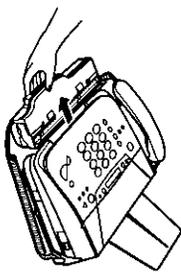
※電源は常に入れておいてください。

※詳しくは取扱説明書をご覧ください。

ハンドスキャナの使いかた

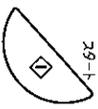
(P.72)

送信

1. ハンドスキャナを外します。

2. 相手先の電話番号をダイヤルします。

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
＊ ⓪ ＃

3. ハンドスキャナの読み取りマークを原稿の読み取り開始位置に合わせ、[スタート]ボタンを押します。

スタート

ゆっくりとハンドスキャナを動かします。

読み取りマーク

4. 読み取りを終了する位置にきたら[ストップ]ボタンを押します。

ストップ

5. [1]ボタンを押します。

1:ソウシン 2:ショウキョ

① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
＊ ⓪ ＃

送信を開始します。

ハンドスキャナを戻します。

コピー

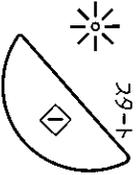
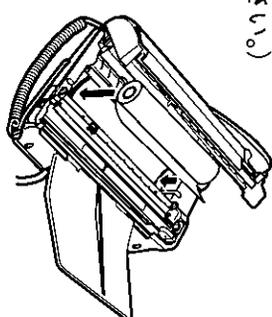
（コピーの場合は、1. から 3. に進み、4. の後はハンドスキャナを戻します。）

記録紙交換のしかた

(P.102)

次のような表示が出たときは記録紙を交換します。（電源を切らずに交換してください。）

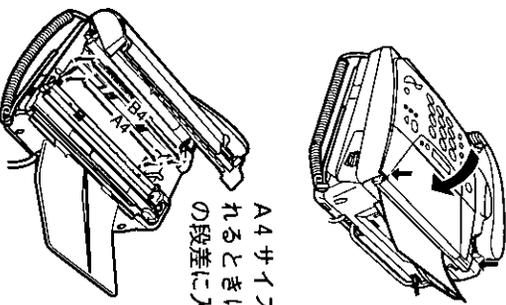
カバ゛ー/キロクシ カクニン

スタート

1. カバーを開けて古い記録紙の巻芯を取り除き、新しい記録紙を入れます。（紙の方向を間違えないようにしてください。）

○　×

⚠ 注意

●このマークの貼ってある所には手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

2. 記録紙の先端を10cmくらい引き出してからカバーを閉めます。

A4サイズの記録紙を入れるときは記録紙受け部の段差に入れてください。

B4
A4

記録紙は当社指定の感熱記録紙をご使用ください。

3. 記録紙のサイズを選びます。

(例)
B4の記録紙をセットした場合は[1]ボタンを押します。

キロクシハ? 1:B4 2:A4

4. [セット]ボタンを押します。

ファンクション　セット

リモート操作コード表

#2#	用件の再生　再生中の入力で高速再生
#1#	用件再生中に、1つ前の用件を再生
#3#	用件再生中に、次の用件を再生
#8#	用件の消去
#61#	用件転送の設定
#62#	用件転送の解除
#7#	留守設定
#9#	留守設定解除
#0#	リモート取り出しの開始／設定

リモート操作コード表

#2#	用件の再生　再生中の入力で高速再生
#1#	用件再生中に、1つ前の用件を再生
#3#	用件再生中に、次の用件を再生
#8#	用件の消去
#61#	用件転送の設定
#62#	用件転送の解除
#7#	留守設定
#9#	留守設定解除
#0#	リモート取り出しの開始／設定

リモート操作コード表

#2#	用件の再生　再生中の入力で高速再生
#1#	用件再生中に、1つ前の用件を再生
#3#	用件再生中に、次の用件を再生
#8#	用件の消去
#61#	用件転送の設定
#62#	用件転送の解除
#7#	留守設定
#9#	留守設定解除
#0#	リモート取り出しの開始／設定

リモート操作コード表

#2#	用件の再生　再生中の入力で高速再生
#1#	用件再生中に、1つ前の用件を再生
#3#	用件再生中に、次の用件を再生
#8#	用件の消去
#61#	用件転送の設定
#62#	用件転送の解除
#7#	留守設定
#9#	留守設定解除
#0#	リモート取り出しの開始／設定

主な仕様

ファクシミリ

項目	仕様
原稿サイズ	最大：257（幅）×1 000（長さ）mm 最小：128（幅）×100（長さ）mm
記録紙サイズ	感熱記録紙：257 mm×30 mまたは210 mm×30 m ハイグレード感熱記録紙：257 mm×20 mまたは210 mm×20 m （ロール紙：外径62 mm以下、巻き芯内径25 mm（約1インチ））
有効読取幅	250 mm（B4）　205 mm（A4）
有効記録幅	252 mm（B4）　208 mm（A4）
走査方法	送信：CCDによる原稿移動型平面走査または CCD内蔵ハンドスキャナ移動による平面走査 受信：感熱記録ヘッドによる平面走査
走査線密度	主走査：8画素/mm 副走査：15.4本/mm（細かい）、 7.7本/mm（小さい）、3.85本/mm（普通）
通信モード	G3/ECM
通信速度	14 400/12 000/9 600/7 200/4 800/2 400 bit/s
電送時間*1	G3約15秒、ECM約6秒（メモリ送信時）
記録方式	感熱記録
適用回線	一般電話回線、ファクシミリ通信網（G3サービス）、 ダイヤルイン回線、NCC回線
自動受信	有（FAX/電話自動切替機能内蔵）
電源	AC　100±10 V　50/60 Hz
消費電力	待機時：約　8 W 最大時：約140 W 送信時：約　20 W（標準的原稿） 受信時：約　35 W（標準的原稿）
直流抵抗	285 Ω（20 mA）
外形寸法	333（横幅）×270（奥行き）×116（高さ）mm （突起部を除く）
重量	約4.2 kg（記録紙を除く）
使用環境	温度：5～35 ℃、湿度：45～85 %

*1　電送時間は、A4判700字程度の原稿を標準的画質（8画素×3.85本/mm）で高速モード（14 400 bit/s）で送った場合の速さです。これは画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は、原稿の内容、相手の機種、回線状態により異なります。

■外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

留守番電話

項目	仕様
録音方式	DSP方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約15分（標準音声）
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作：2、固定：1

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：0120－109217（トークニイーナ）

日本電信電話株式会社
〒163-19　東京都新宿区西新宿3-19-2

本1696-3（97.9）
EOI-800337-J.3

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。